

防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事

設計図

沖縄県企画部 情報基盤整備課

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事			工事年度	
工事場所	多良間村			図面名称	表紙
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮尺	
換	要			図面番号	
検印	照査	設計	製図	施工者	

図 面 目 録

図面番号	図面名称	縮 尺	備 考
T-01	図面目録	NoScale	
T-02	特記仕様書(1)	NoScale	
T-03	特記仕様書(2)	NoScale	
T-04	特記仕様書(3)	NoScale	
T-05	特記仕様書(4)	NoScale	
T-06	一般事項	NoScale	
T-07	案内図	図示	
T-08	避雷設備	S=1:30, 200, 300	
T-09	鉄塔構造図(1)	S=1:20, 30, 60	
T-10	鉄塔構造図(2) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-11	鉄塔構造図(3) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-12	鉄塔構造図(4) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-13	鉄塔構造図(5) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-14	鉄塔構造図(6) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-15	鉄塔構造図(7) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-16	鉄塔構造図(8) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-17	鉄塔構造図(9) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-18	鉄塔構造図(10) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-19	鉄塔構造図(11) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-20	鉄塔構造図(12) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-21	鉄塔構造図(13) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-22	鉄塔構造図(14) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-23	鉄塔構造図(15) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-24	鉄塔構造図(16) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-25	鉄塔構造図(17) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-26	鉄塔構造図(18) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-27	鉄塔構造図(19) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-28	鉄塔構造図(20) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-29	鉄塔構造図(21) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-30	鉄塔構造図(22) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-31	鉄塔構造図(23) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-32	鉄塔構造図(24) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-33	鉄塔構造図(25) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-34	鉄塔構造図(26) B柱/A柱	S=1:20, 30	
T-35	鉄塔構造図(27) C柱/B柱	S=1:20, 30	
T-36	鉄塔構造図(28) D柱/C柱	S=1:20, 30	
T-37	鉄塔構造図(29) A柱/D柱	S=1:20, 30	
T-38	鉄塔構造図(30) C/F面水平材	S=1:30	
T-39	鉄塔構造図(31) G/H面水平材	S=1:30	
T-40	鉄塔構造図(32) I/J面水平材	S=1:30	
T-41	鉄塔構造図(33) K/L面水平材	S=1:30	
T-42	鉄塔構造図(34) M/N面水平材	S=1:30	
T-43	鉄塔構造図(35) O/P面水平材	S=1:30	
T-44	鉄塔構造図(36) Q面水平材	S=1:30	
T-45	鉄塔構造図(37) R面水平材	S=1:30	
T-46	鉄塔構造図(38) A面リング廻り	S=1:30, 600	
T-47	鉄塔構造図(39) B面リング廻り	S=1:30	
T-48	鉄塔構造図(40) D面リング廻り	S=1:30, 600	
T-49	鉄塔構造図(41) E面リング廻り	S=1:30	
T-50	手摺正面図	S=1:20, 25, 30	
T-51	階段構造図(1)	S=1:20, 30	
T-52	階段構造図(2)	S=1:20, 30	
T-53	階段構造図(3)	S=1:20, 30	
T-54	階段構造図(4)	S=1:20, 30	
T-55	梯子構造図	S=1:10, 30	
T-56	垂直ラック構造図	S=1:10, 15, 30	
T-57	水平ラック構造図	S=1:5, 15, 30	
T-58	鉄塔 仮設足場概略図(参考図)	S=1:200	
T-59	塗装概要図	S=1:200	
T-60	局舎全体図(多良間)	S=1:150	
T-61	局舎改修図(1)(多良間)	S=1:50	
T-62	局舎改修図(2)(多良間)	S=1:50	
T-63	局舎改修図(3)(多良間)	S=1:30	
T-64	フェンス改修図(多良間)	S=1:150	
E-01	航空障害灯改修図(多良間)	S=1:300	

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	図 面 目 録
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	NoScale
摘 要		図面番号	T-1
検 印	管理建築士 設 計 製 図	施 工 者	

建築改修工事特記仕様書 [建築工事編] 沖縄県土木建築部			
令和6年7月改定版			
1 工事概要			
(1) 工 事 名 : 防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事			
(2) 工 事 場 所 : 宮古郡多良間村字仲筋680番地 (地域地区等:)			
(3) 敷 地 面 積 : m ²			
(4) 工 事 種 目 :			
ア 建築物			
建築物の名称			
主要用途			
構造及び階数			
工事種別			
建築面積	m ²	m ²	m ²
延べ面積	m ²	m ²	m ²
イ 工作物及び立木			
工作物等の名称	多良間中継局		
数量	1基		
2 本工事の設計時期			
本工事の設計書は、令和 7年 3月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。			
3 建築工事仕様			
(1) 標準仕様			
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) [令和4年版] (以下「標準仕様書」という。))による。			
(2) 特記仕様			
ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。			
イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。			
「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。			
「・」と「※」に○印がつかない場合は共に適用する。			
ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) [平成31年版] 巻末の各部配筋参考図の当該項目を示す。			
4 その他			
(1) 公共事業労務費調査に対する協力			
ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。			
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。			
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。			
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。			
(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策			
受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)」に基づき、次にに関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。			
ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。			
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと			
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと			
(3) ウィークリースタンスの実施			
工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者に共有すること。当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。 https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html			
(4) 工事監理業務への協力等			
ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。			
イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。			

(4) 工事監理業務への協力等	ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。
エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。	
(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて	本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。
(6) 県産資材の優先使用	本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。
(7) 下請業者の県内企業優先活用	請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。
(8) 不発弾等発見時の処理について	本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。なお、これについては、下請業者へも周知すること。
(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について	ア 工食用資材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。
イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。	
ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。	
エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。	
オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。	
カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。	
キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。	
(10) 不正軽油の使用の禁止等について	ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資材車等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。	
(11) 設計図書における資材等の取扱いについて	ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。
イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等級以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。	
ウ 「参考図」は建設工事請負契約第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。	
(12) ガイドライン等の遵守について	設計変更等については、契約書18条から24条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編) (沖縄県土木建築部)によるものとする。
(13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について	ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。また、明示する法定福利費の算出にあたっては、各専門工事業団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。
イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf 【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】 ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書 https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html	

章	項目	特記事項
1	1 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> 建築改修工事監理指針(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部
2	2 工事実績情報の登録(1.1.4)	登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。
3	3 工事の一時中止に関する事項(1.1.9)	<p>工事の一時中止に係る計画の作成</p> <p>(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。</p> <p>(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p>
4	4 工事の余裕期間	<ul style="list-style-type: none"> 余裕期間を設定する工事 【 方式】 【以下から選択:発注者指定方式/任意着方式/フレックス方式】 (1) 本工事は余裕期間として【日間】を設定した工事である。なお余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。 (2) 余裕期間制度のうち、任意着方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式-1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。 (3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。
5	5 概成工期(1.2.1)	図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。
6	6 品質計画等(1.2.2)	<p>建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。</p> <p>(1) 風速: V0 = 46 m/s (平12建造第1454号第2)</p> <p>(2) 地表面相度区分: (3.5.4) (3.9.3) (5.13.5) (9.3.4)</p>
7	7 施工図等(1.2.3)	<p>(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。</p> <p>(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。</p> <p>(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。</p>
8	8 工事の記録(1.2.4)	沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。
9	9 電気保安技術者(1.3.3)	電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。
10	10 施工条件(1.3.5)	<p>施工順序等の制約 ・無し</p> <p>・有り() 現場説明書による・図示</p> <p>工事車両の駐車場所: ・図示・現場説明書による・資材、機材置場: ・図示・現場説明書による・建設発生土の仮置場: ・図示・現場説明書による・その他の施工条件: ・図示・現場説明書による</p>

11	11 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7) (1.3.11)	(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用す	
12	12 交通安全管理(1.3.9)	(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kW) ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの) キ ローラ類 ク ホイールクレーン	
		国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号)	
工事名称	防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	令和 年度
工事場所	多良間村	図面名称	特記仕様書-1
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	—
摘 要		図面番号	T-2
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設計者	名 称
			資格者氏名
			登録番号
			所在地

4 外壁改修工事	1 外壁改修工法の種類等 (4.1.4)	<p>(1) コンクリート打放し仕上げ外壁 (4.2.2)~(4.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>改修の内容</th> <th>改修工法の種類</th> <th>使用する材料</th> <th>特記事項</th> </tr> <tr> <td>ひび割れ部改修</td> <td>ウレタン樹脂充填工法</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>0.2mm以上</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自動低圧式エポキシ樹脂注入工法におけるエポキシ樹脂の注入量: 注入口1箇所当たり【 】ml 手動式エポキシ樹脂注入工法における注入口間隔: 【 】mm 機械式エポキシ樹脂注入工法における注入口間隔: 【 】mm <p>(2) モルタル塗り仕上げ外壁 (4.3.2)~(4.3.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>改修の内容</th> <th>改修工法の種類</th> <th>使用する材料</th> <th>特記事項</th> </tr> <tr> <td>ひび割れ部改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>欠損部改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浮き部改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) タイル張り仕上げ外壁</p> <table border="1"> <tr> <th>改修の内容</th> <th>改修工法の種類</th> <th>使用する材料</th> <th>特記事項</th> </tr> <tr> <td>ひび割れ部改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>欠損部改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浮き部改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地改修工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(4) タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状・寸法</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸水率</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・タイルの試験張り:【 ・行う ・行わない 】 ・タイルの見本焼き:【 ・行う ・行わない 】 ・外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着性試験:【 】 <p>(5) タイル張り工法</p> <table border="1"> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>張付け材料の種類、塗厚等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(6) 塗り仕上げ外壁 (4.5.2)~(4.5.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>仕上塗材の種類</th> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>下地処理の方法等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改修後の新規仕上げの種類:</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装面</th> <th>下地調整工程の種類</th> <th>塗料の名称・種類</th> <th>塗装工程の種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>【局舎】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>高圧洗浄</td> <td>複層塗材E</td> <td>RC種</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	改修の内容	改修工法の種類	使用する材料	特記事項	ひび割れ部改修	ウレタン樹脂充填工法	エポキシ樹脂	0.2mm以上	改修の内容	改修工法の種類	使用する材料	特記事項	ひび割れ部改修				欠損部改修				浮き部改修				改修の内容	改修工法の種類	使用する材料	特記事項	ひび割れ部改修				欠損部改修				浮き部改修				目地改修工法				施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考								タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等					仕上塗材の種類	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	下地処理の方法等						塗装面	下地調整工程の種類	塗料の名称・種類	塗装工程の種類	施工箇所	【局舎】					外壁	高圧洗浄	複層塗材E	RC種	図示による	6 鋼製建具 (5.4.2) (表5.2.1) (表5.4.1)	<p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考(材料等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 特殊ドアアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <tr> <th>ドアアセット等の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・簡易気密型ドアアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 鋼板の種類:【 ・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】</p>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						ドアアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・簡易気密型ドアアセット				7 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.3)	<p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>特見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 特殊ドアアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <tr> <th>ドアアセット等の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・簡易気密型ドアアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) ビニル被覆鋼板:【 ・使用する ・使用しない】</p> <p>(4) カラー鋼板の適用:【 ・使用する ・使用しない】</p>	種類	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み寸法	施工箇所							ドアアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・簡易気密型ドアアセット				8 ステンレス製建具 (5.6.2) (表5.2.1) (表5.4.1)	<p>(1) 建具の性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考(材料等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 表面仕上げ:【 ※HL ・ バイブレーション ・ 鏡面 ・ 】</p>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						9 木製建具 (5.7.2)	<p>(1) かまち戸 かまちの樹種: 、鏡板の樹種:</p> <p>(2) ふすま 上張りの種類: 、縁の仕上げ:</p>	10 建具用金物 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.1)	<p>(1) 建具用金物の材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。</p>	形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考					11 鍵 (5.8.4)	<p>(1) マスターキー:【 ・製作する ・製作しない】</p> <p>(2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。</p>	12 自動ドア開閉装置 (5.9.2)(表5.9.4)	<p>(1) 戸の開閉方法:【 ・引戸 ・ 開き戸 ・ 折戸】</p> <p>(2) センサーの種類:</p>	13 シャッター (5.11.2)(5.12.2) (5.12.4)	<p>(1) シャッターの種類:【 ・重量() ・軽量】</p> <p>(2) 耐風圧強度:</p> <p>(3) 重量シャッターの場合のシャッターケース:【 ・設ける ・ 設けない】</p> <p>(4) スラットの形状:【 ・ インターロック型形 ・ オーバーラッピング型】</p>	14 オーバーヘッドドア (5.13.2)	<p>(1) 耐風圧性能の区分:</p> <p>(2) 開閉機能:【 ※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式】</p> <p>(3) 収納形式による区分:</p>	15 ガラス (5.14.2)(5.14.4) (5.14.5)	<p>(1) ガラスの種類及び厚さ等</p> <table border="1"> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) ガラス留め材</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 熱線反射ガラスの映像調整:</p> <p>(4) ガラスブロックの材料及び工法</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>壁用金属枠</th> <th>補強材</th> <th>色</th> <th>金属製化粧カバー</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(5) ガラスブロック積みに用いる化粧目地モルタルの色:</p>	ガラスの種類	厚さ等	備考				建具の種類	材種			表面形状	呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー								16 その他	既設資材の処理及び処分方法:	6 内装改修工事	<p>1 既存床の撤去等 (6.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>既存床仕上材</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 木下地等 (6.5.1)(6.5.2) (表6.5.1)</p> <p>(1) 木材(下地材)の含水率: ※A種 ・ B種 木材(造作材)の含水率: ※A種 ・ B種</p> <p>(2) 製材 【 ・「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外による】 【 ・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・ 】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級又は品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理・難燃処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	既存床仕上材	工法	備考				施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理・難燃処理							(表6.5.2)	<p>(3) 造作用集材 【 ・「集材の日本農林規格」による ・「集材の日本農林規格」以外による】 【 ・造作用集材 ・化粧ばり造作用集材 ・化粧ばり構造用集材 ・ 】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級又は品質</th> <th>含水率</th> <th>化粧薄板の厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(4) 造作用単板積層材 【 ・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(5) 床張り用合板等【 ・普通合板 ・構造用合板】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>厚さ品質、等級等</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫・強度等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(6) パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態</th> <th>曲げ強さ</th> <th>接着剤</th> <th>難燃性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(7) 構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ							施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理						施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等						施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性							施工箇所	厚さ	等級				3 土壌の防蟻処理	<p>(1) 施工箇所:「防除施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行) I 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。</p> <p>(2) 処理薬剤: (公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。</p> <p>(3) 処理方法:「防除施工標準仕様書」 I 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。</p>	4 防蟻・防蟻・防虫処理(6.5.5)	<p>木材処理(防蟻・防虫)</p> <p>(1) 施工箇所:合板、集材等を除く全ての木材</p> <p>(2) 処理方法:工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に對し、現場にて木材保存剤を塗布する。</p> <p>(3) 性能区分:性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1+保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。</p>	5 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	<p>(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <p>(2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。</p>	6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.3)(6.6.4)	<p>(1) 屋外の軽量鉄骨天井下地</p> <table border="1"> <tr> <th>野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔</th> <th>野縁の間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 既存の埋込みインサート:【 ・使用する ・使用しない】</p> <p>(3) あと施工アンカーの引抜き試験:【 ・行う(荷重 N程度) ・行わない】</p> <p>(4) 各補強の方法は、図示による。</p>	野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔	野縁の間隔	備考				7 ビニル床シート等 (6.8.2)(6.8.3)	<p>(1) ビニル床シートの材料及び工法</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>熱溶接工法の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> </tr> </table> <p>(2) ビニル床タイル、ゴム床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(・形状)</th> <th>厚さ等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 特殊機能床材の適用: 【 ・帯電防止床シート又は床タイル ・視覚障害者用床タイル ・耐動荷重性床シート ・防滑性床シート又は床タイル】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(・形状)</th> <th>厚さ等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用					・有り ・無し					・有り ・無し	施工箇所	種類(・形状)	厚さ等				施工箇所	種類(・形状)	厚さ等				8 カーベット敷き (6.9.3) (表6.9.1) (表6.9.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>カーベットの種類・厚さ</th> <th>バイル形状等</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・グリッパー ・全面接着</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・グリッパー ・全面接着</td> </tr> </table> <p>(1) 帯電性の適用【 ・有り ・無し】</p> <p>(2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。</p>	施工箇所	カーベットの種類・厚さ	バイル形状等	工法				・グリッパー ・全面接着				・グリッパー ・全面接着	9 合成樹脂塗床 (6.10.3)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類:	10 フローリング張り	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>品名</th> <th>備考(樹種、種別等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)					11 フローリングボードの特殊張り	体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。	12 畳敷き (6.12.2)	<p>(1) 畳の種類【 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(種別:)】</p> <p>(2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。</p>	13 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2)(6.13.3) (表6.13.5)	<p>(1) せっこうボード</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>厚さ</th> <th>施工箇所</th> <th>目地工法の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の名称</th> <th>施工箇所</th> <th>その他の仕様</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示(Aー)による。</td> </tr> </table> <p>※合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第6章第3項及び第4項を適用する。</p> <p>(3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シート材:【 ・ 】</p>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類						合板の名称	施工箇所	その他の仕様			※図示(Aー)による。	14 壁紙張り (6.14.2)	品質及び防火性能:【 】	15 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.6)	<p>(1) 既製目地材の適用及び形状:</p> <p>(2) 床の目地の設置及び工法:</p>	16 タイル張り (6.16.2)(6.16.3) (6.16.5) (表6.16.4)	<p>(1) 伸縮目地材の位置は、図示による。</p> <p>(2) タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状・寸法</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸水率</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) タイルの試験張り:【 ・行う ・行わない】</p> <p>(4) タイルの見本焼き:【 ・行う ・行わない】</p> <p>(5) 壁タイル張りの工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>張付け材料の種類、塗厚等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考								タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等					17 セルフペレリング材塗り (6.17.3) (表6.17.1)	(1) セルフペレリング材の塗厚:	18 その他	既設資材の処理及び処分方法:	7 塗装改修工事	<p>1 塗装の種類及び種別 (7.1.4) (7.2.2) ~ (7.13.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装面</th> <th>下地調整工程の種類</th> <th>塗料の名称・種類</th> <th>塗装工程の種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>【鉄塔】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂船めつき面</td> <td>2種ケレン</td> <td>図示</td> <td>既存塗膜の除去</td> <td>鉄塔部材は全て</td> </tr> <tr> <td>垂船めつき面</td> <td>2種ケレン</td> <td>図示</td> <td>下塗り</td> <td>垂船めつき面</td> </tr> <tr> <td>垂船めつき面</td> <td>2種ケレン</td> <td>図示</td> <td>中塗り</td> <td>垂船めつき面</td> </tr> <tr> <td>垂船めつき面</td> <td>2種ケレン</td> <td>図示</td> <td>上塗り</td> <td>垂船めつき面</td> </tr> </table> <p>2 保証</p> <p>(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。</p> <p>(2) 保証期間は、工事完成後【 5 】年間とする。</p>	塗装面	下地調整工程の種類	塗料の名称・種類	塗装工程の種類	施工箇所	【鉄塔】					垂船めつき面	2種ケレン	図示	既存塗膜の除去	鉄塔部材は全て	垂船めつき面	2種ケレン	図示	下塗り	垂船めつき面	垂船めつき面	2種ケレン	図示	中塗り	垂船めつき面	垂船めつき面	2種ケレン	図示	上塗り	垂船めつき面	3 その他	既設資材の処理及び処分方法:	工事名称	防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	令和 年度	工事場所	多良間村	図面名称	特記仕様書-3	発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	—	摘要	図面番号	T-4	検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名 称	資格者氏名	登録番号	所在地
	改修の内容	改修工法の種類	使用する材料	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ひび割れ部改修	ウレタン樹脂充填工法	エポキシ樹脂	0.2mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
改修の内容	改修工法の種類	使用する材料	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ひび割れ部改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
欠損部改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
浮き部改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
改修の内容	改修工法の種類	使用する材料	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ひび割れ部改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
欠損部改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
浮き部改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
目地改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
仕上塗材の種類	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	下地処理の方法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
塗装面	下地調整工程の種類	塗料の名称・種類	塗装工程の種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
【局舎】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
外壁	高圧洗浄	複層塗材E	RC種	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ドアアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・簡易気密型ドアアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ドアアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・簡易気密型ドアアセット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建具の種類	材種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
表面形状	呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
既存床仕上材	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理・難燃処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ	等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔	野縁の間隔	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				・有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				・有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	種類(・形状)	厚さ等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	種類(・形状)	厚さ等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	カーベットの種類・厚さ	バイル形状等	工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			・グリッパー ・全面接着																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			・グリッパー ・全面接着																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※図示(Aー)による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
塗装面	下地調整工程の種類	塗料の名称・種類	塗装工程の種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
【鉄塔】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
垂船めつき面	2種ケレン	図示	既存塗膜の除去	鉄塔部材は全て																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
垂船めつき面	2種ケレン	図示	下塗り	垂船めつき面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
垂船めつき面	2種ケレン	図示	中塗り	垂船めつき面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
垂船めつき面	2種ケレン	図示	上塗り	垂船めつき面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

<p>8 耐震改修工事</p> <p>1 既存部分の撤去等</p> <p>2 材料及び品質</p> <p>(8.2.1)</p> <p>(8.3.4) (8.4.2)</p> <p>(表8.3.4)</p> <p>(8.4.2)(8.4.3) (8.3.8)</p> <p>(8.2.2)</p> <p>(8.2.4)</p> <p>(8.12.4)</p> <p>(8.1.3)(8.9.1) (表8.1.1) (表8.9.1)</p> <p>(8.1.4)(表8.1.4) (8.7.8)</p> <p>(8.21.8)</p> <p>(8.2.8)(表8.2.7)</p> <p>(8.17.4) (8.18.2) (8.18.3)</p> <p>(8.2.14)</p> <p>(8.2.9) (8.13.2)</p> <p>(8.14.2)</p>	<p>(1) 既存構造体の撤去範囲及びはつりだした鉄筋及び鉄骨の処置は、図示による。(8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.25.2) (8.24.4) (8.26.5) (8.27.2)</p> <p>(2) 既存部分の目荒らしの程度: (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)</p> <p>(3) 既存部の取り合い部分の割裂補強筋の仕様: (8.21.6) (8.22.7) (8.26.10) (8.27.6)</p> <p>(1) 鉄筋</p> <p>ア 鉄筋の種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>イ 鉄筋の継手</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>継手の種類</th> <th>備考(重ね継手の長さ等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ウ 鉄筋の定着長さ 【※図示による。】</p> <p>エ 帯筋組立の形</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>配筋の方法</th> <th>その他特記すべき事項</th> </tr> <tr> <td></td> <td>【(参-)による。・図示】</td> <td></td> </tr> </table> <p>オ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所にはける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。</p> <p>カ 機械式継手、溶接継手の場合のあきの寸法: キ 圧接部の超音波探傷試験:【・行う ・行わない】 ク 機械式継手の種類:・図示</p> <p>(2) 溶接金網</p> <table border="1"> <tr> <th>網目の形状</th> <th>寸法</th> <th>鉄線の経</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) あと施工アンカー</p> <p>ア あと施工アンカーの材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>引張耐力</th> <th>せん断耐力</th> <th>径・埋込み深さ</th> <th>アンカー及び接合筋</th> <th>確認強度</th> </tr> <tr> <td>金属系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>接着系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>イ アンカー筋の新設壁内への定着長さ:【 ウ あと施工アンカーの性能確認試験: 【・実施する ・実施しない】 エ 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。</p> <p>(4) コンクリート</p> <p>ア コンクリートの種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>気乾単位容積質量による種</th> <th>類別等</th> <th>設計基準強度(Fc)</th> <th>施工部位</th> </tr> <tr> <td>・普通コンクリート</td> <td>※Ⅰ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・Ⅱ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通コンクリート</td> <td>※Ⅰ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・Ⅱ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通コンクリート</td> <td>※Ⅰ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・Ⅱ類</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>イ 材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。 ウ セメントの種類: 【※普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種・エフライアッシュセメントB種の適用箇所:【・図示 ・オ 骨材のアルカリシリカ反応性による区分:※A ・B カ コンクリート打放し仕上げの種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>仕上げの種類</th> <th>打増し厚さ</th> <th>施工部位</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>キ 軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>ク 水又は土に接する軽量コンクリートの使用 ・有り【使用箇所:・図示 ・ ケ コンクリートの打込み工法:【・流込み工法 ・圧入工法】</p> <p>(5) 鋼材</p> <p>ア 鋼材の種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>記号の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>形状及び寸法は、図示による。</td> </tr> </table> <p>イ 錆止め塗料の種類:【・A種 ・B種】 ウ 耐火被覆の種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>所要性能及び摘要箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>エ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験: 高力ボルト</p> <p>ア 高力ボルトの種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>径</th> <th>縁端距離</th> <th>間隔</th> <th>ゲージ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>すべり係数試験:【・実施する ・実施しない】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理:【・図示 ・</p>	種類の記号	呼び名(mm)	備考				施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)				施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項		【(参-)による。・図示】		網目の形状	寸法	鉄線の経	備考					種類	引張耐力	せん断耐力	径・埋込み深さ	アンカー及び接合筋	確認強度	金属系						接着系						気乾単位容積質量による種	類別等	設計基準強度(Fc)	施工部位	・普通コンクリート	※Ⅰ類			・軽量コンクリート	・Ⅱ類			・普通コンクリート	※Ⅰ類			・軽量コンクリート	・Ⅱ類			・普通コンクリート	※Ⅰ類			・軽量コンクリート	・Ⅱ類			仕上げの種類	打増し厚さ	施工部位	備考					施工部位	種類	気乾単位容積質量		・1種 ・2種		記号の種類	適用箇所	備考			形状及び寸法は、図示による。	種類	所要性能及び摘要箇所			種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考							<p>(8.15.3) (8.15.4) (8.15.7) (8.15.12)</p> <p>(8.17.4) (8.18.2) (8.18.3)</p> <p>(8.20.5)</p> <p>(8.2.6) (8.2.13)</p> <p>3 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 (8.21.8)(8.21.10) (8.3.7)</p> <p>4 鉄骨ブレース設置工事 (8.13.10)(8.22.9)</p> <p>5 柱補強工事 (8.23.5) (8.23.6) (8.23.7) (8.24.7)</p> <p>6 耐震スリット新設工事 (8.25.2)</p> <p>7 免震・制震改修工事 (8.26.7)(8.26.10) (8.26.13)(8.27.4) (8.27.6)(8.27.8) (8.26.7)(8.27.4)</p> <p>(8.26.16)(8.27.9) (8.26.15)</p> <p>8 既存杭の撤去等 (8.28.2)</p> <p>9 その他</p> <p>9 環境配慮工事</p> <p>1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)</p> <p>2 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)</p> <p>3 石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)</p> <p>4 石綿含有成形板の除去(9.1.5)</p>	<p>(7) 溶接</p> <p>ア 技能資格者の技能付加試験:【・行う ・行わない】 イ 開先の形状等</p> <table border="1"> <tr> <th>開先の形状</th> <th>エンドタブの有・無及び適用箇所</th> <th>スカロップの形状</th> <th>溶接部の試験</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ウ 錆止め塗料の種類:【・A種 ・B種】 エ 耐火被覆の種類及び性能</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>所要性能及び摘要箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>オ 溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理: 【・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法: 】</p> <p>(8) モルタル及びグラウト材 ア モルタルの圧縮強度及びフロー値: (9) 連続繊維補強材</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>工法</th> <th>引張り強度</th> <th>ヤング係数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ア 強度試験の実施: 【・引張強度試験 ・付着強度試験 (試験数量:)】</p> <p>(1) コンクリートの打込み及び仕上げ 打込み工法の種類 増設工事後の仕上げ 備考</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>工法</th> <th>引張り強度</th> <th>ヤング係数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ア 強度試験の実施: 【・引張強度試験 ・付着強度試験 (試験数量:)】</p> <p>(1) 仮組:【・実施する ・実施しない】 (2) ブレース設置後の仕上げは、図示による。</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>補強後の仕上げ</th> <th>その他(打込み工法、面取りの大きさ等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スリット</p> <table border="1"> <tr> <th>幅</th> <th>深さ</th> <th>使用箇所</th> <th>仕様</th> <th>使用箇所</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐火材</p> <table border="1"> <tr> <th>スリット</th> <th>耐火材</th> <th>遮音材</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>支承材又は減衰材</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>諸元</th> <th>防錆処置</th> <th>寸法許容差</th> <th>設置後の仕上げ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>性能確認試験の項目及び数量:【 製品検査</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>判定基準</th> <th>検査頻度等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>支承材の耐火被覆の適用:【・有り(仕様:) ・なし】 検査の項目及び数量:【 エキスパンションジョイントの仕様及び工法は、図示による。</p> <p>(1) 撤去範囲及び撤去方法:図示による。</p> <p>既設資材の処理及び処分方法:</p>	開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカロップの形状	溶接部の試験					種類	所要性能及び摘要箇所			材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考						材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考						工法	補強後の仕上げ	その他(打込み工法、面取りの大きさ等)				幅	深さ	使用箇所	仕様	使用箇所	仕様							スリット	耐火材	遮音材				材質	諸元	防錆処置	寸法許容差	設置後の仕上げ						項目	内容	判定基準	検査頻度等					<p>5 外断熱改修工事 (9.2.2)</p> <p>(9.2.3) (9.2.4)</p> <p>6 断熱・防露改修工事</p> <p>7 屋上緑化改修工事 (9.4.2) (9.4.3)</p> <p>8 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.3)</p> <p>(9.5.4) (9.5.5) (9.5.9)</p> <p>10 その他</p> <p>1 県産瓦葺 (1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。 (2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 【・1名以上配置 ・施工面積 m2につき、級技能評価試験に合格した者を1名配置】</p> <p>2 航空障害灯設備 ・LED低光度航空障害灯(OM-3C型) メーカー仕様による。 ・電源制御型管制器 ・野外照度センサー ・電源線(VCT-8sq:100m×4本) ・制御線(KNPEV 2sq-3C:100m×4本)</p> <p>3 鉄塔基礎部補修 ・ポリマーセメントモルタル充填工法</p> <p>4 鉄骨部材取替</p> <p>(1) 鋼材</p> <table border="1"> <tr> <th>記号の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>形状及び寸法は図示による</td> </tr> </table> <p>(2) 高力ボルト</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>径</th> <th>縁端距離</th> <th>間隔</th> <th>ゲージ</th> <th>備考(すべり係数試験等)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>形状及び寸法は図示による</td> </tr> </table> <p>(3) 普通ボルト</p> <table border="1"> <tr> <th>径</th> <th>縁端距離</th> <th>間隔</th> <th>ゲージ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>形状及び寸法は図示による</td> </tr> </table> <p>(4) 塗料の種類 錆止め塗料の種類:【・A種 ・B種】</p> <p>・仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>部材</th> <th>規格/数量</th> </tr> <tr> <td>支柱</td> <td>STK400 φ50.8×2.3 溶融亜鉛メッキ</td> </tr> <tr> <td>スプリングネット</td> <td>菱形金網 φ3.2×56 300g亜鉛メッキ鉄線</td> </tr> <tr> <td>胴縁</td> <td>上下各1本</td> </tr> </table> <p>・備考 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。</p>	記号の種類	適用箇所	備考			形状及び寸法は図示による	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考(すべり係数試験等)						形状及び寸法は図示による	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考					形状及び寸法は図示による	部材	規格/数量	支柱	STK400 φ50.8×2.3 溶融亜鉛メッキ	スプリングネット	菱形金網 φ3.2×56 300g亜鉛メッキ鉄線	胴縁	上下各1本	<table border="1"> <tr> <td>断熱材</td> <td>種類</td> <td>厚さ</td> <td>外装材</td> <td>種類</td> <td>防火性能</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存外壁仕上材撤去</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面清掃</th> <th>下地欠損部改修方法</th> <th>通気層の有無・厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th>断熱材の種類</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝等の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>見切り材等</th> <th>かん水装置</th> <th>既存保護層等の撤去</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。</p> <p>(1) 既存舗装の撤去: (2) 路床</p> <table border="1"> <tr> <th>盛土の材料</th> <th>フィルター層材料・厚さ</th> <th>路床安定処理</th> <th>実施する試験</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) ジオテキスタイルの適用及び品質: (4) 路盤、舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>路盤の厚さ</th> <th>舗装の厚さ</th> <th>開粒度アスファルト混合物抽出試験</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(5) 構成及び厚さ:【・図示による(A-) ・</p>	断熱材	種類	厚さ	外装材	種類	防火性能	備考								下地面清掃	下地欠損部改修方法	通気層の有無・厚さ				断熱材の種類	厚さ			見切り材等	かん水装置	既存保護層等の撤去				盛土の材料	フィルター層材料・厚さ	路床安定処理	実施する試験					路盤の厚さ	舗装の厚さ	開粒度アスファルト混合物抽出試験	備考					<table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事</td> <td>工事年度</td> <td>令和 年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>多良間村</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書-4</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県企画部 情報基盤整備課</td> <td>縮尺</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>摘要</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>T-5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">検印</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工事名称	防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	令和 年度	工事場所	多良間村	図面名称	特記仕様書-4	発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	-	摘要		図面番号	T-5	検印	管理建築士	設計	製図			
	種類の記号	呼び名(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		【(参-)による。・図示】																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	網目の形状	寸法	鉄線の経	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	種類	引張耐力	せん断耐力	径・埋込み深さ	アンカー及び接合筋	確認強度																																																																																																																																																																																																																																																																																															
金属系																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
接着系																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
気乾単位容積質量による種	類別等	設計基準強度(Fc)	施工部位																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・普通コンクリート	※Ⅰ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・軽量コンクリート	・Ⅱ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・普通コンクリート	※Ⅰ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・軽量コンクリート	・Ⅱ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・普通コンクリート	※Ⅰ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・軽量コンクリート	・Ⅱ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
仕上げの種類	打増し厚さ	施工部位	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工部位	種類	気乾単位容積質量																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・1種 ・2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
記号の種類	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		形状及び寸法は、図示による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	所要性能及び摘要箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																
開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカロップの形状	溶接部の試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	所要性能及び摘要箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法	補強後の仕上げ	その他(打込み工法、面取りの大きさ等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
幅	深さ	使用箇所	仕様	使用箇所	仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																
スリット	耐火材	遮音材																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材質	諸元	防錆処置	寸法許容差	設置後の仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
項目	内容	判定基準	検査頻度等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
記号の種類	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		形状及び寸法は図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考(すべり係数試験等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					形状及び寸法は図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																
径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				形状及び寸法は図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
部材	規格/数量																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
支柱	STK400 φ50.8×2.3 溶融亜鉛メッキ																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
スプリングネット	菱形金網 φ3.2×56 300g亜鉛メッキ鉄線																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
胴縁	上下各1本																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
断熱材	種類	厚さ	外装材	種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																															
下地面清掃	下地欠損部改修方法	通気層の有無・厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
断熱材の種類	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
見切り材等	かん水装置	既存保護層等の撤去																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
盛土の材料	フィルター層材料・厚さ	路床安定処理	実施する試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
路盤の厚さ	舗装の厚さ	開粒度アスファルト混合物抽出試験	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工事名称	防災行政無線用多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	令和 年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工事場所	多良間村	図面名称	特記仕様書-4																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
摘要		図面番号	T-5																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
検印	管理建築士	設計	製図																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

一般事項

1. 使用材料の品質は、下記による。

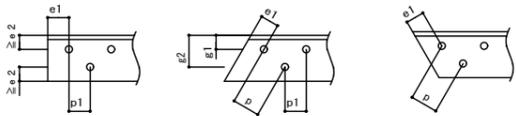
材 料	種 別 ・ 規 格	材 質	適 用 箇 所
鋼材	一般構造用炭素鋼鋼管	JIS G3444 STK400	規格品 支柱材
		JIS G3444 STK400	規格品 避雷針支柱材
	等辺山形鋼	JIS G3101 SS400	規格品 補助材、リング材等
		JIS G3101 SS540	規格品 斜材、腹材等
	溝形鋼	JIS G3101 SS400	規格品 垂直ラック
	平 鋼	JIS G3101 SS400	規格品 床材枠等
	鋼 板	JIS G3101 SS400	規格品 ガセットプレート
	JIS G3106 SM490A	規格品 主材継手、ガセットプレート	
	棒 鋼	JIS G3101 SS400	規格品 棒子 (RBφ19)
	リップ溝形鋼	JIS G3350 SSC400	規格品 階段ササラ
	エキスパンドメタル	JIS G3351 (XG22)	規格品 床材
	ガス管	JIS G3452 SGP鋼管	規格品 手摺、手摺子 (GP-25A)
ボルト、ナット、座金	中ボルト	形状・寸法の許容差は、JIS B1180、JIS B1181及びJIS B1256に準じ、その他は下記による。 ボルト、ナットの寸上精度は中、ネジ：JIS B1251、メートル並目ネジ：JIS B0205の3級とする。	
		六角ボルト M16以下	JIS G3101 SS400 規格品
		六角ボルト M20以上	JIS G3101 SS490 規格品
	六角ナット	JIS G3101 SS400 1規格品、2号座金付	
	高力ボルト	溶融亜鉛めっき高力ボルト	JIS B1186 F8T 規格品
ナット、座金	JIS B1186 F10、座金 (F35)	規格品	
ステップボルト 足場ボルト (M16)			

2. 共通事項

- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
- 2) 指示無きプレートは、PL6 とする。
- 3) 特記なきゲージは、ゲージ表 による。
- 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
- 5) HLで指示された部材の材質は、SS540 とする。
- 6) 摩擦接合部 (F8T使用箇所) は、摩擦接合処理を施すこと。
- 7) 特記なき限り溶接は隅肉溶接とする。
- 8) 主要部材は、主材、斜材、水平材とする。

3. ボルトピッチと最小縁端距離

(高力ボルト)					(中ボルト)					
ボルトピッチ	M16	M20	M24	M30	ボルトピッチ	M12	M16	M20	M24	
標準	50	60	75	90	標準	40	50	60	75	
最小	40	50	60	75	最小	35	40	50	60	
最大	125	160	190	240	最大	95	125	160	190	
最小縁端	e1	40	50	60	75	e1	20	25	30	40
	e2	22	26	32	40	e2	16	21	26	32

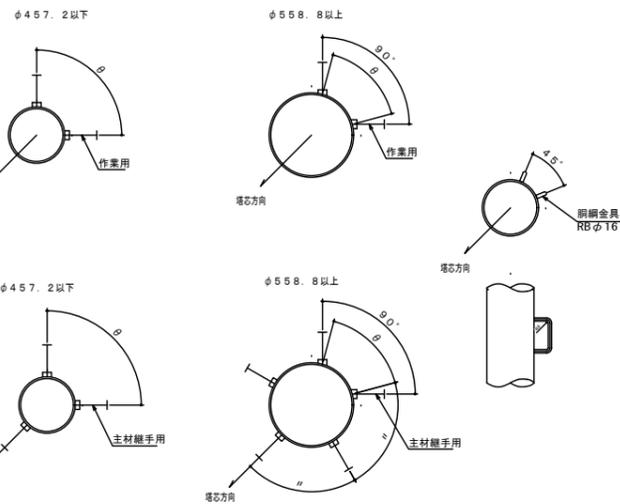


ボルト記号と材質

記号	ボルトの名称	材質
×	M12 皿ボルト JIS NT, SW付	SS400
×	M12 ボルト JIS NT, SW付	SS400
○	M16 ボルト JIS NT, SW付	SS400
◎	M20 ボルト JIS NT, SW付	SS490
⊗	M24 ボルト JIS NT, SW付	SS490
●	M16 高力ボルト NT, 2PW付	F8T
◎	M20 高力ボルト NT, 2PW付	F8T
⊗	M24 高力ボルト NT, 2PW付	F8T
○	M30 高力ボルト NT, 2PW付	F8T

4. ステップボルト

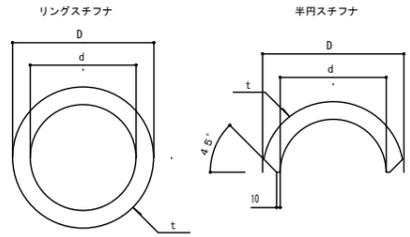
鋼管サイズ	取付角 (θ)	部品番号
φ267.4	120°	ST1
φ355.6	90°	ST1
φ457.2	90°	ST1
φ558.8	70°	ST170L, R
φ609.6	60°	ST160L, R



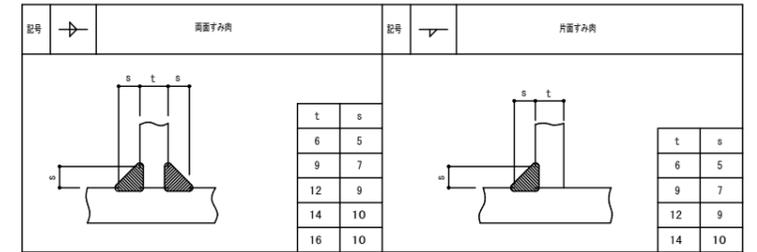
5. スチフナープレート

(材質はSS400とする。)

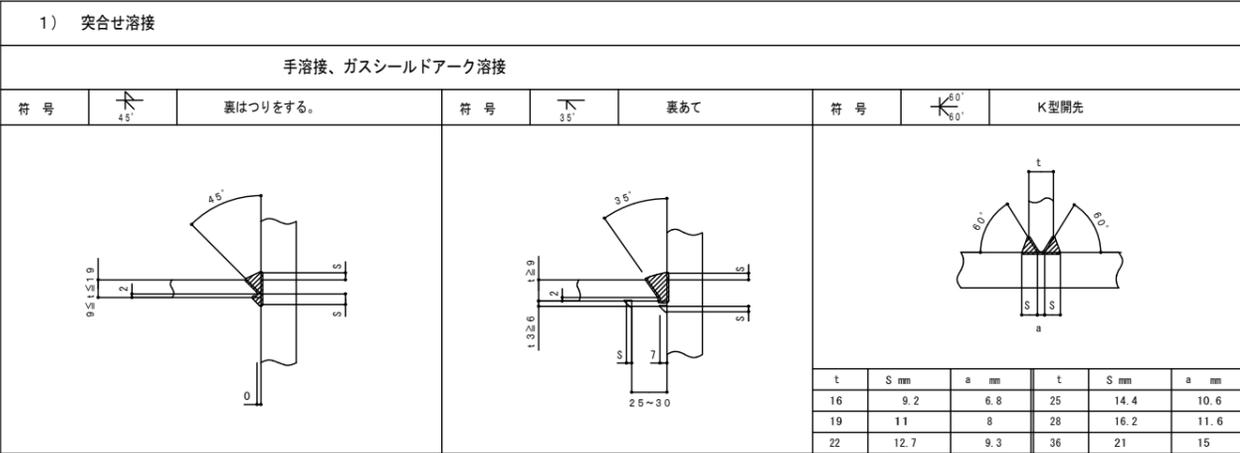
リングステフナ	半円ステフナ	鋼管サイズ	D (φ)	d (φ)	t
G2RR	G2SS	φ267.4	370	270	9
G3RR	G3SS	φ355.6	460	359	9
G4RR	G4SS	φ457.2	560	460	9
G5RR	G5SS	φ558.8	660	562	9
G6RR	G6SS	φ609.6	710	613	9



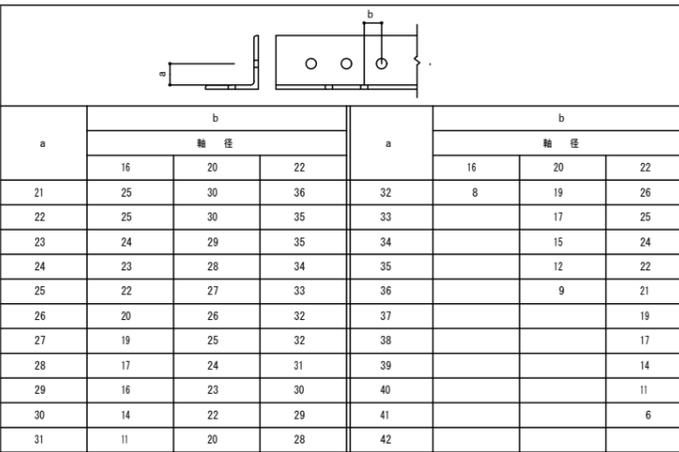
6. すみ肉溶接 : 手溶接・ガスシールドアーク半自動溶接



7. 溶接基準図



9. 形鋼に対する千鳥打ち

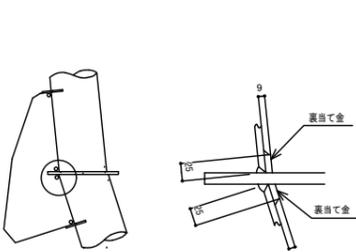


10. 使用形鋼、ゲージ及びボルト記号 (A1J仕様) ジョイントゲージは図示する

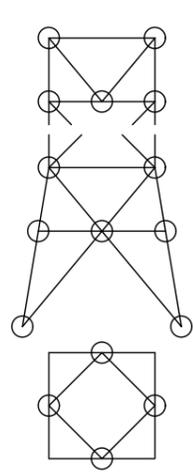
使用鋼材	山形鋼サイズ	鋼材標準ゲージ															
		M12				M16				M20				M24			
呼び	ゲージ	g2	g1	g3	g2	g1	g3	g2	g1	g3	g2	g1	g3	g2	g1	g3	
○ L40	3 4.5	20															
○ L45	4 6.5	25				(23)											
○ L50	4 6.5	25				(25)											
○ L60	4 6.5	30												33			
○ L65	6 8.5	30	33	45		33								37			
○ L70	6 8.5	30	35	45	30	35	45							35			
○ L75	6 8.5	30	38	50	30	38	50							38			
○ L80	6 8.5	35	40	50	35	40	50	35	40	50				40	50		
○ L90	6 10	40	45	60	40	45	60	40	45	60				45	60		
○ L100	7 10	40	50	70	40	50	70	40	50	70				50	70		
○ L120	8 12	45	60	85	45	60	85	45	60	85	45	60	85	45	60	85	
○ L130	9 12	45	65	95	45	65	95	45	65	95	45	65	95	45	65	95	
○ L150	12 14																
○ L175	12 15				55	88	140	55	88	140	55	88	140	55	88	140	
○ L200	15 17				65	100	165	65	100	165	65	100	165	65	100	165	
○ L250	25 24				85	125	210	85	125	210	85	125	210	85	125	210	

注) L100以下の2列ゲージは原則として使用しない。
備考 1. 1列ゲージ g1 ≧ 1/2 × F
2. 2列ゲージ g2 ≧ t + r1 + 1/2を基準とした。
g3 ≦ F - e2
3. ()内は中ボルトに適用

11. 主材バンド部詳細



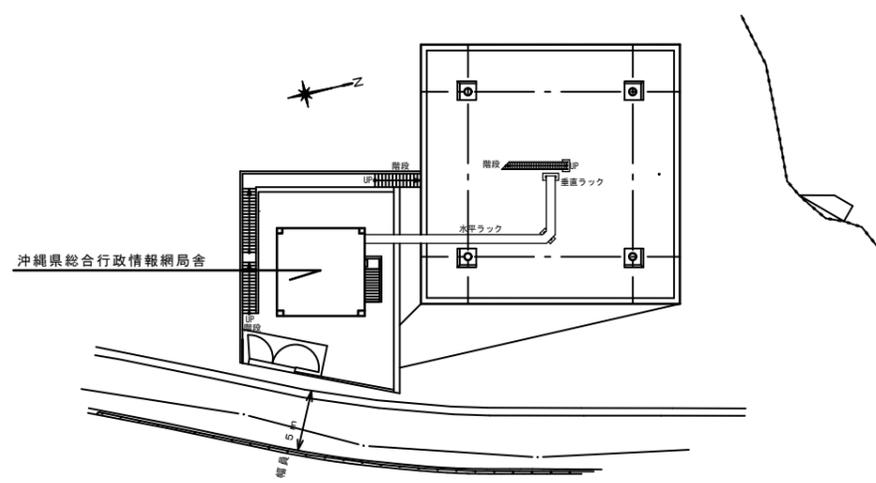
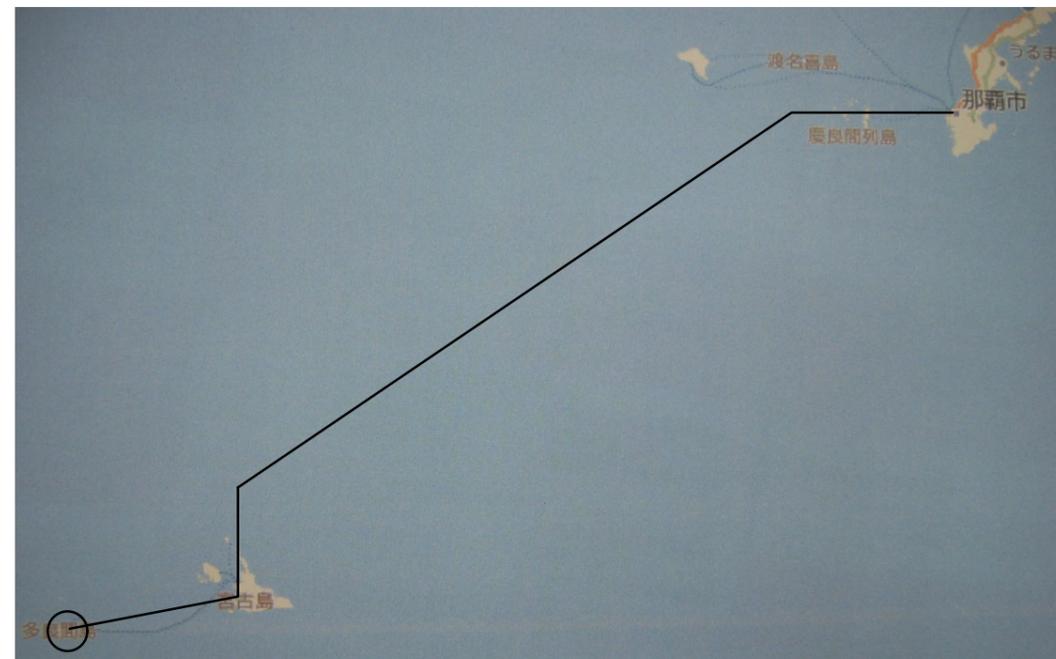
12. 高力ボルトの使用箇所



13. 溶融亜鉛めっき仕上げとする。

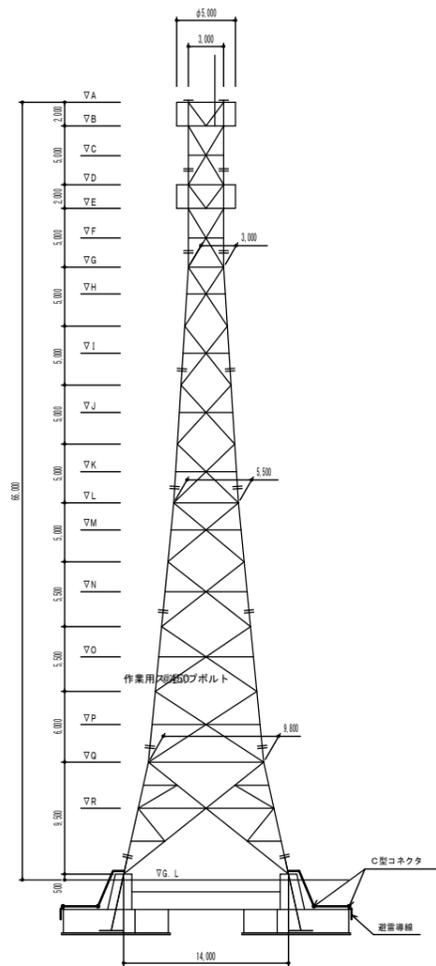
工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	一般事項
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	NoScale
摘要		図面番号	T-6
検印	管理建築士 設 計 製 図	施 工 者	

工事場所：沖縄県宮古郡多良間村字仲筋680番地

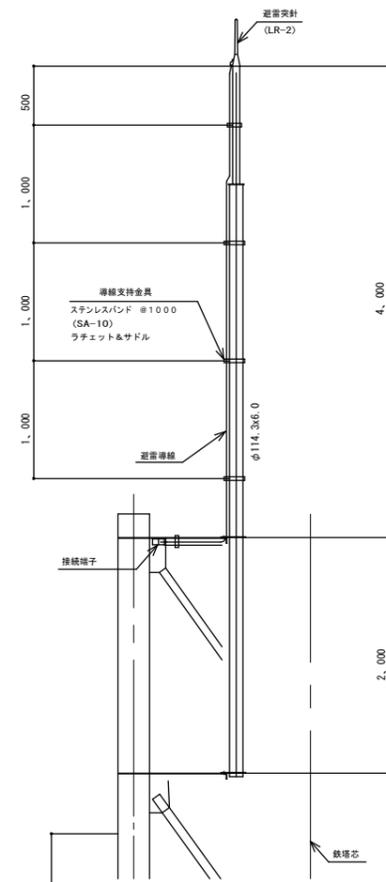


敷地・配置図
S=1 : 300

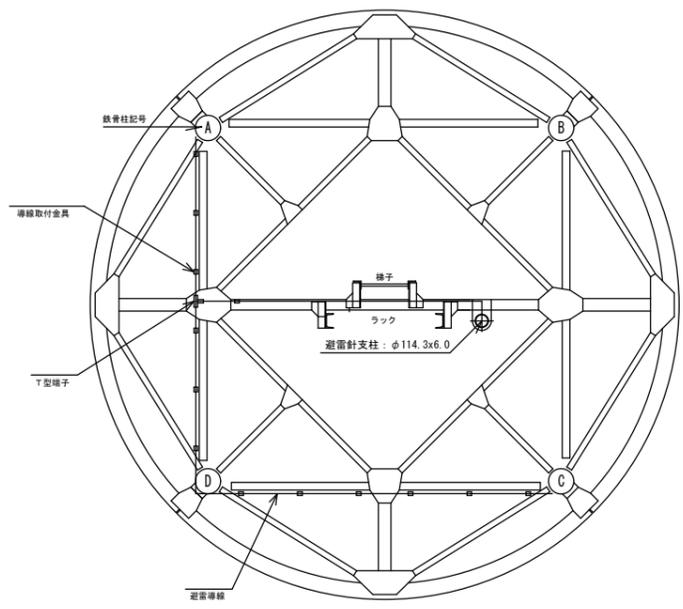
工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	案内図・配置図
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	図示
摘要		図面番号	T-7
検印	管理建築士	設計	製図



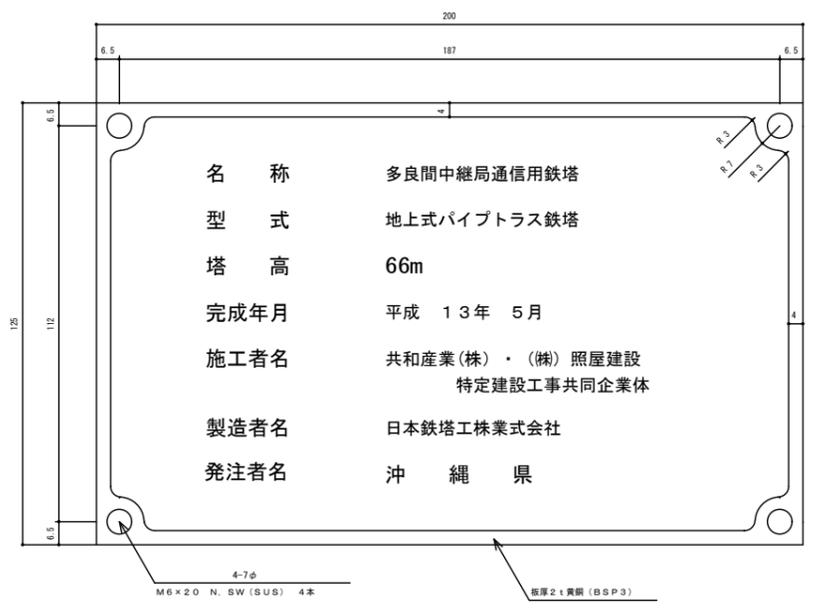
姿図
S-1/300



避雷設備（鉄塔頂部）
S-1/30



避雷設備（鉄塔頂部平面）
S-1/30

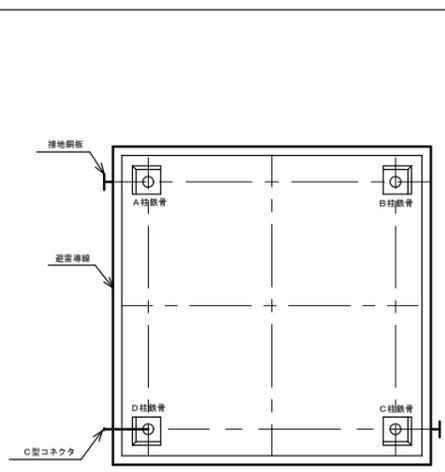


鉄塔銘板図（参考図）
S-1/1

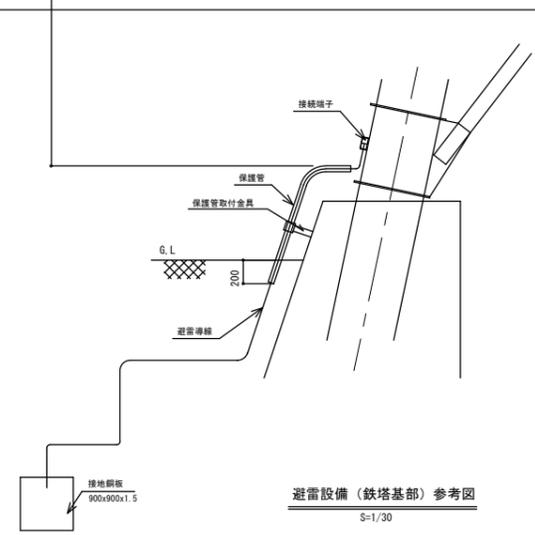
- 註記
- 銘板はとつ式エッチングとする。
 - 輪郭及び文字は、ニッケルメッキとし、生地は腐蝕後、黒色塗料焼き付け艶消しとする。
 - 書体は丸ゴシック体とする。
 - アラビア数字は、直立体の丸ゴシック体とする。

避雷設備品リスト表

名称	規格	鉄塔頂部		鉄塔基部		計		今回工事
		実数	予備	実数	予備			
避雷突針	LR-2型（カップリング共）	1				1	本	
避雷導線	軟鋼より線2.6x7（3BSQ）	15		100		115	m	
ステンレスバンド	ラチェット&サドル	6				6	個	
T型端子		1				1	個	
導線取付金具	鉄管用 小（クリップ付）	14	1			15	組	
接続端子	3BSQ用	2		2		4	個	
円取付付ボルト	M10x3.5金ネジ N. SW	4		4		8	本	
接地銅板	900x900x1.5t			2		2	枚	
C型コネクタ				4	2	6	個	
保護管	VE28			4		4	m	
保護管取付金具	VE28用			2	2	4	個	

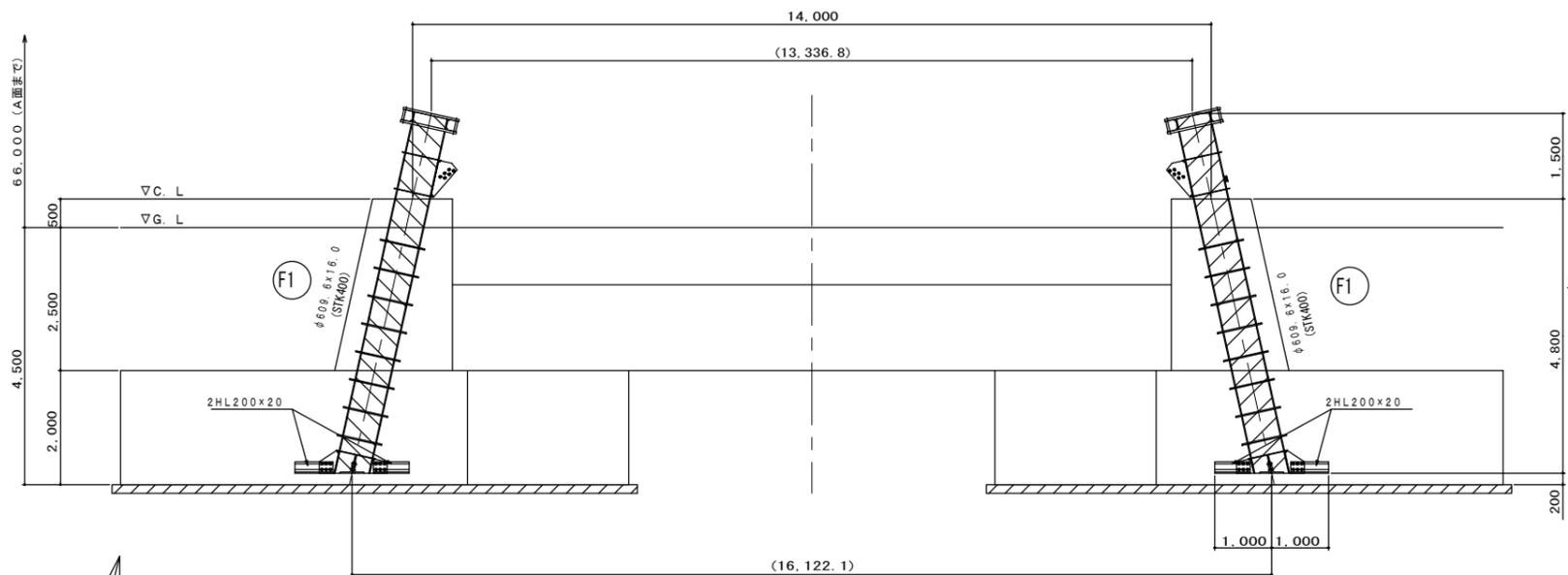


避雷設備図（参考図）
S-1/200

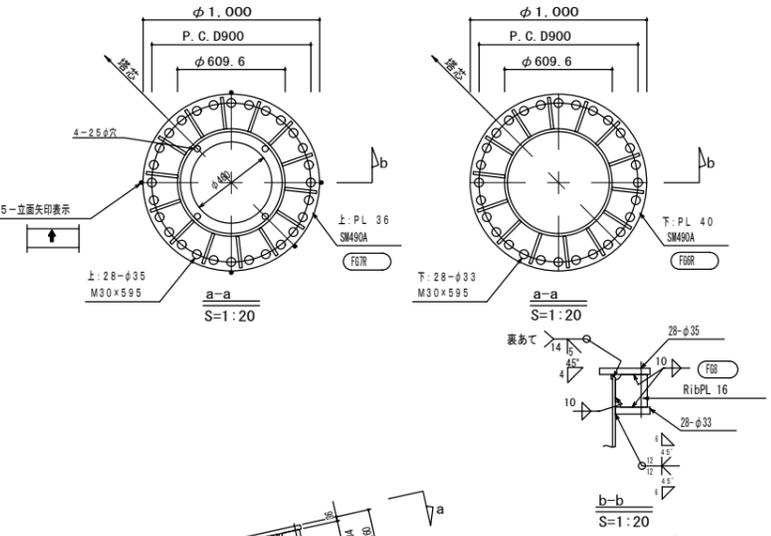


避雷設備（鉄塔基部）参考図
S-1/30

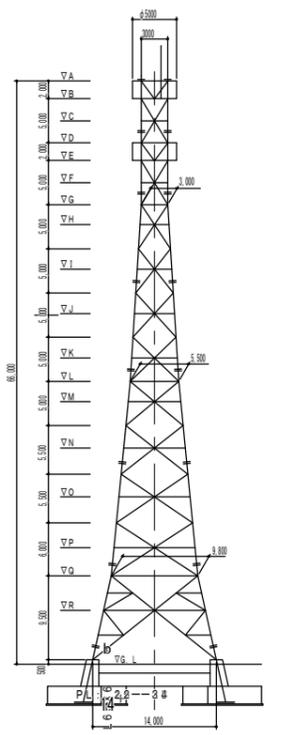
工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	避雷設備
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/30, 200, 300
摘要		図面番号	T-8
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



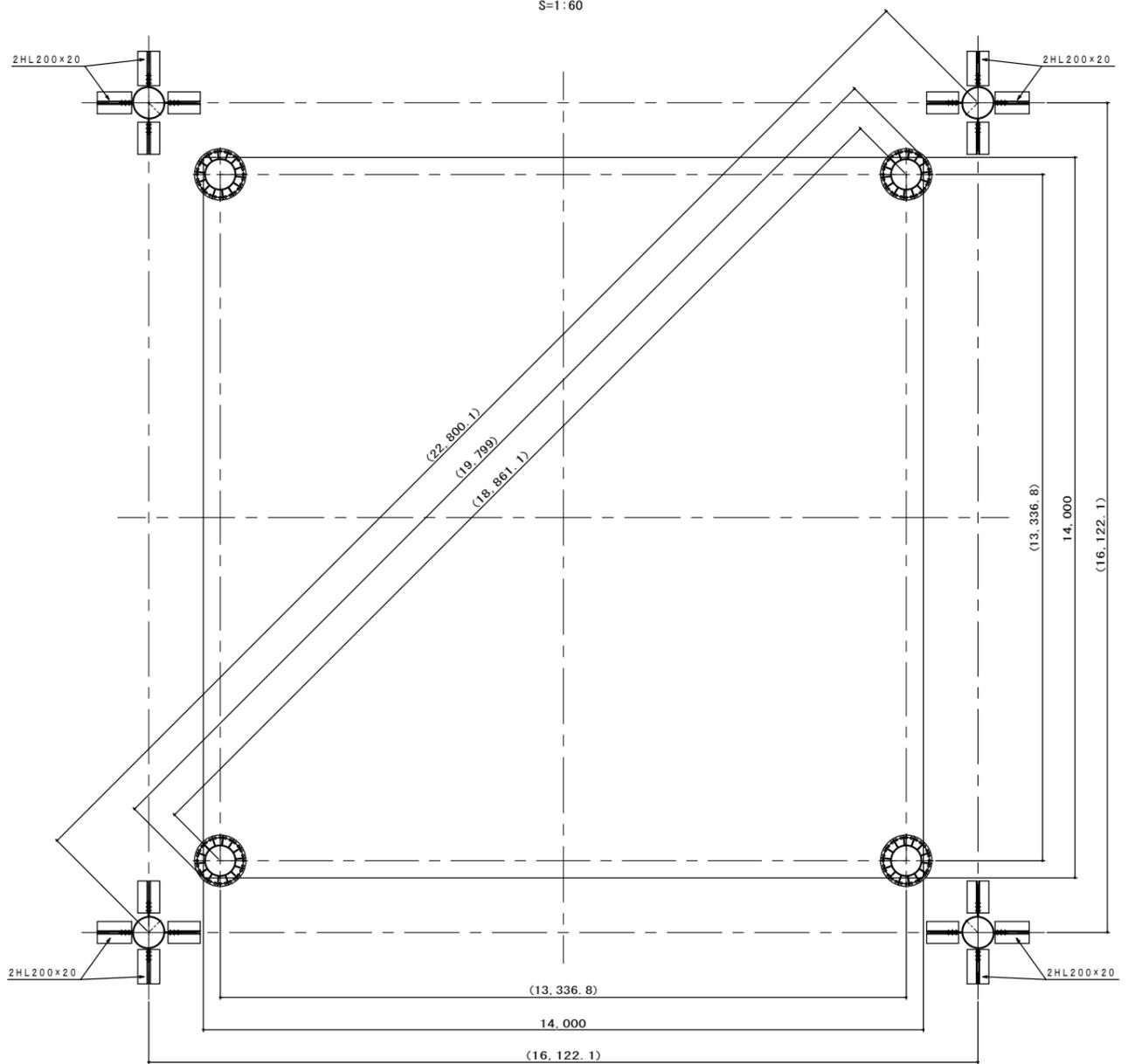
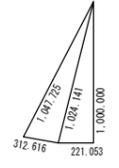
側面図
S=1:60



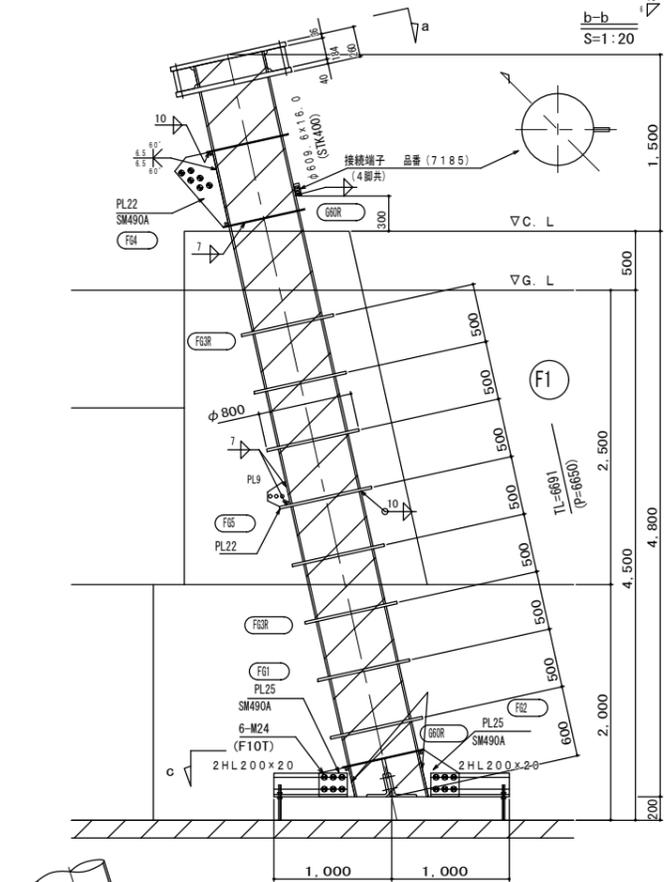
b-b
S=1:20



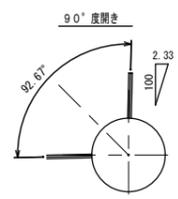
立面図
S=1:400



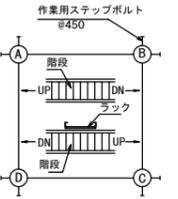
平面図
S=1:60



スタブ (イカリ材) 詳細図
S=1:30



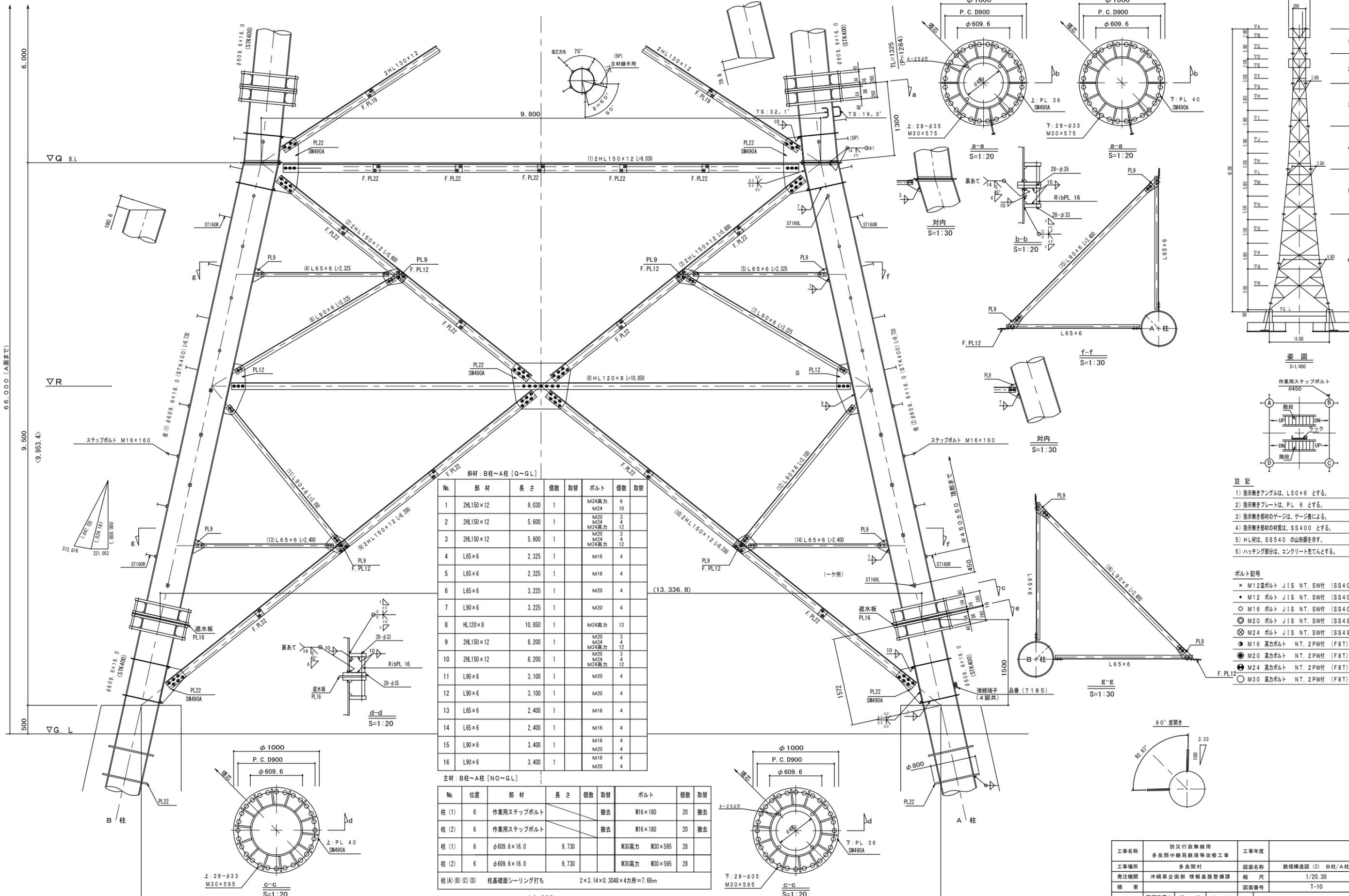
c-c
S=1:30



- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 5) ハッチング部分は、コンクリート充てんとする。

- ボルト記号
- × M12 皿ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊙ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊚ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防炎行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (1)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30, 60
摘要		図面番号	T-9
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



6.6.000 (A面まで)
9.500 (9.953.4)

500

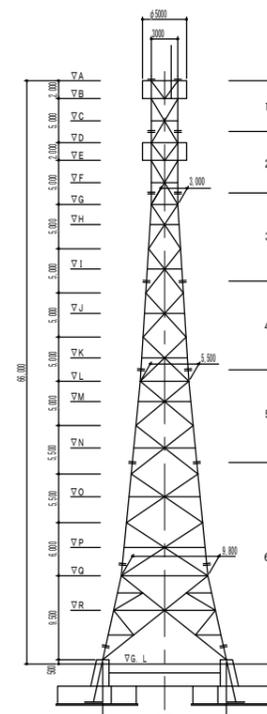
斜材：B柱～A柱 [Q～GL]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	2HL150×12	9,030	1		M24高力 M24	6 10	
2	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
3	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
4	L65×6	2,325	1		M16	4	
5	L65×6	2,325	1		M16	4	
6	L65×6	3,225	1		M20	4	
7	L90×6	3,225	1		M20	4	
8	HL120×8	10,850	1		M24高力	13	
9	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
10	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
11	L90×6	3,100	1		M20	4	
12	L90×6	3,100	1		M20	4	
13	L65×6	2,400	1		M16	4	
14	L65×6	2,400	1		M16	4	
15	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	
16	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	

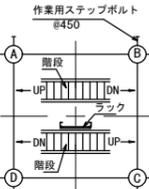
主材：B柱～A柱 [NO～GL]

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱(1)	6	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	20	撤去
柱(2)	6	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	20	撤去
柱(1)	6	φ609.6×16.0	9,730			M30高力 M30×595	28	
柱(2)	6	φ609.6×16.0	9,730			M30高力 M30×595	28	
柱(A)(B)(C)(D)		柱基礎面シーリング打ち	2×3.14×0.3048×4カ所=7.66m					

14.000



立面
S=1/400



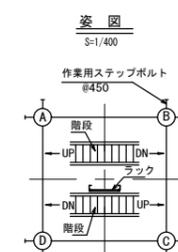
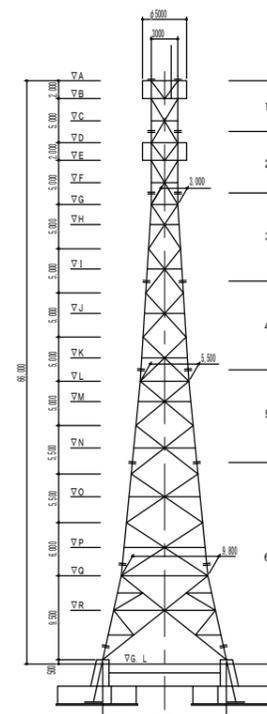
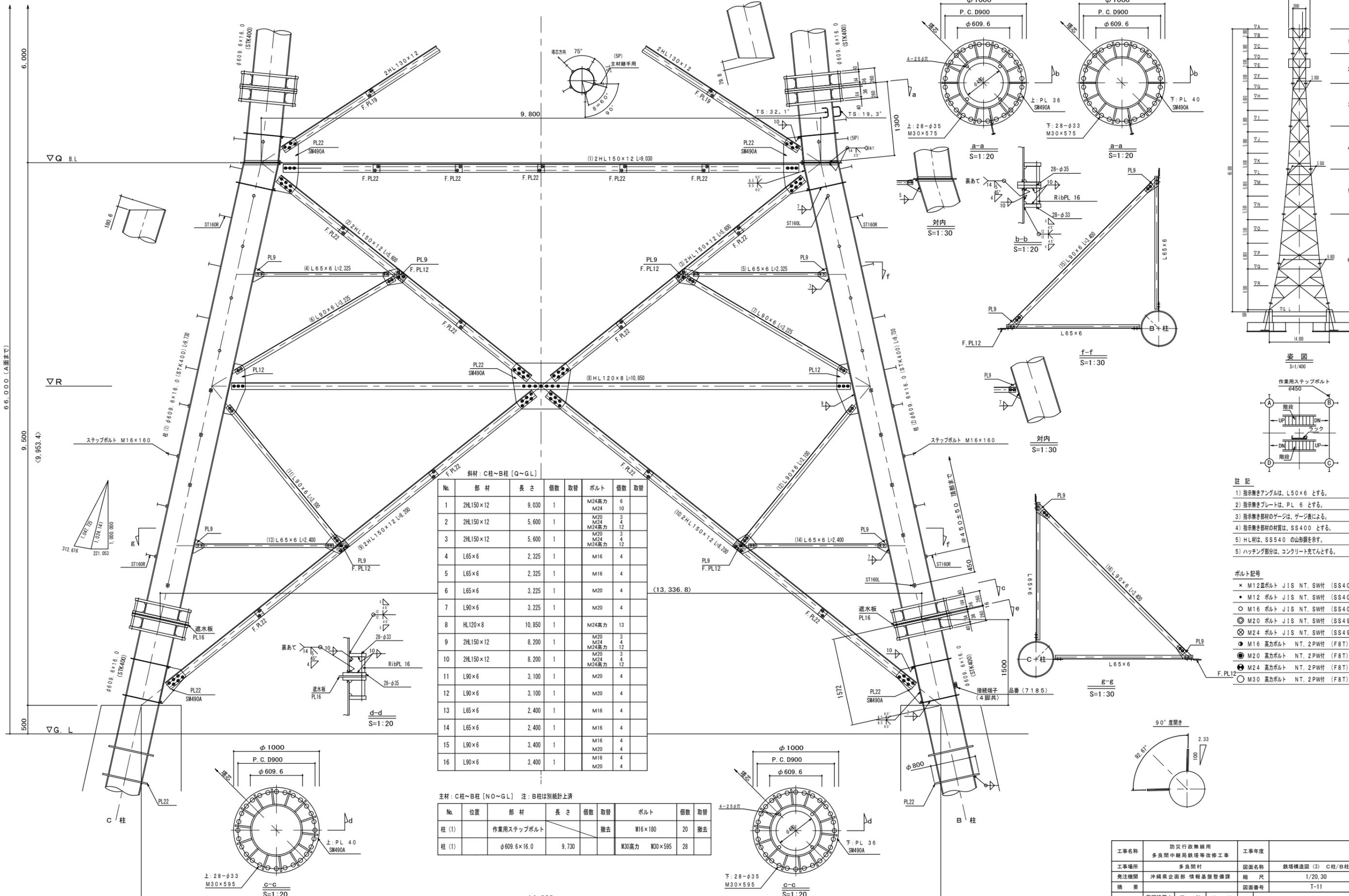
作業用ステップボルト
φ450

- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400とする。
 - 5) HL材は、SS540の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充てんとする。

ボルト記号

- × M12 鋼ボルト JIS NT, SWT (SS400)
- M12 ボルト JIS NT, SWT (SS400)
- M16 ボルト JIS NT, SWT (SS400)
- ◎ M20 ボルト JIS NT, SWT (SS490)
- ⊗ M24 ボルト JIS NT, SWT (SS490)
- ⊙ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
- ⊕ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
- ⊖ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
- M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(2) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-10
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



- 註記**
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) H/L材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充てんとする。

- ボルト記号**
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SWT (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SWT (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SWT (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SWT (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SWT (SS490)
 - ⊙ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊖ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

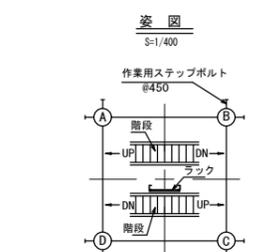
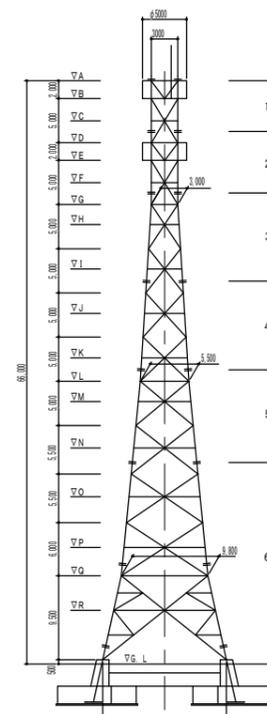
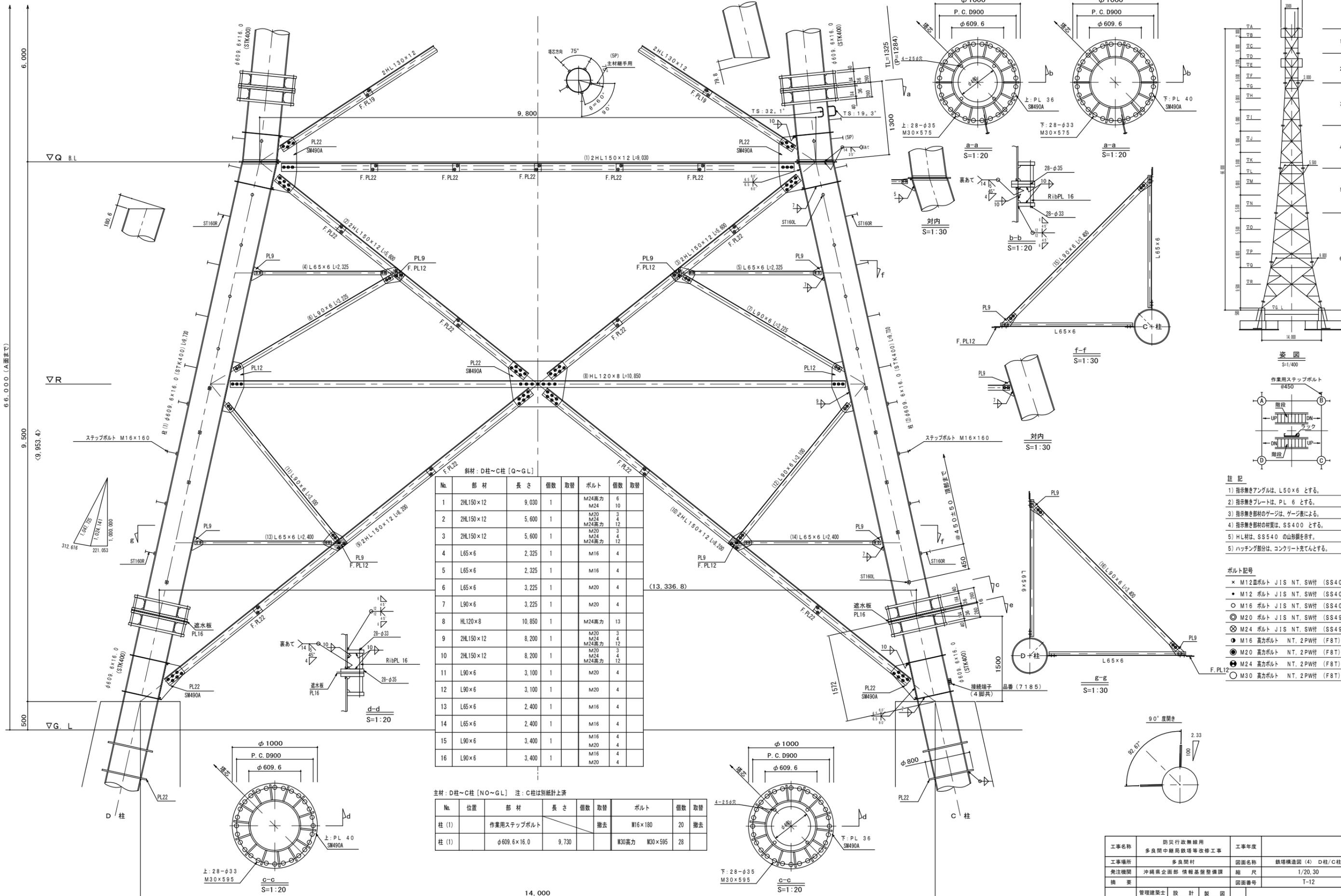
斜材: C柱~B柱 [Q~G.L]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	2HL150×12	9,030	1		M24高力 M24	6 10	
2	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
3	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
4	L65×6	2,325	1		M16	4	
5	L65×6	2,325	1		M16	4	
6	L65×6	3,225	1		M20	4	
7	L90×6	3,225	1		M20	4	
8	HL120×8	10,850	1		M24高力	13	
9	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
10	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
11	L90×6	3,100	1		M20	4	
12	L90×6	3,100	1		M20	4	
13	L65×6	2,400	1		M16	4	
14	L65×6	2,400	1		M16	4	
15	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	
16	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	

主材: C柱~B柱 [N0~G.L] 注: B柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)		作業用ステップボルト			撤去	M16×180	20	撤去
柱 (1)		φ609.6×16.0	9,730			M30高力 M30×595	28	

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (3) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-11
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



- 註記**
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) H/L材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充てんとする。

- ボルト記号**
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SWT (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SWT (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SWT (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SWT (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SWT (SS490)
 - ⊙ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊖ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

斜材: D柱~C柱 [Q~GL]

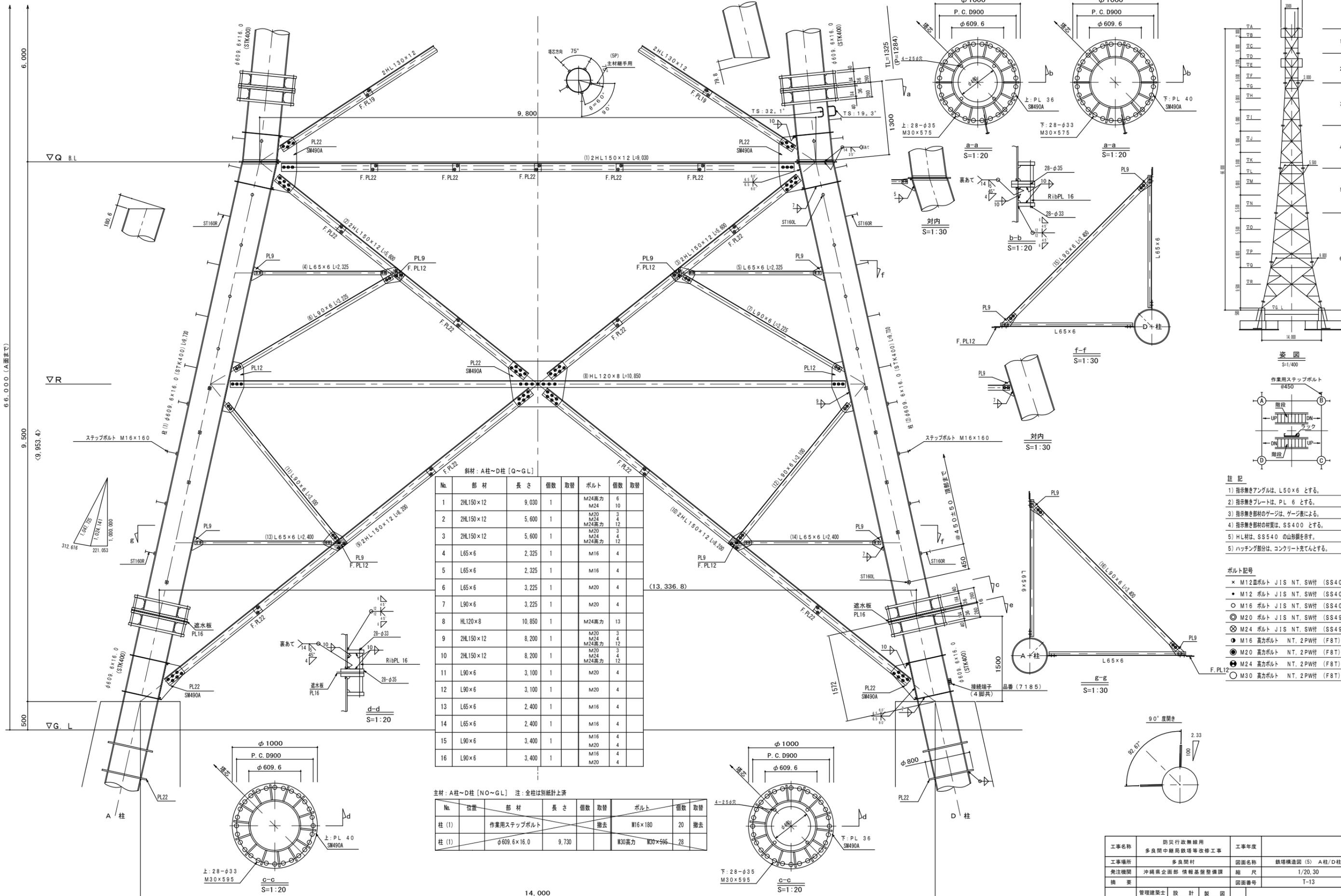
No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	2HL150×12	9,030	1		M24高力 M24	6 10	
2	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
3	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
4	L65×6	2,325	1		M16	4	
5	L65×6	2,325	1		M16	4	
6	L65×6	3,225	1		M20	4	
7	L90×6	3,225	1		M20	4	
8	H/L120×8	10,850	1		M24高力	13	
9	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
10	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
11	L90×6	3,100	1		M20	4	
12	L90×6	3,100	1		M20	4	
13	L65×6	2,400	1		M16	4	
14	L65×6	2,400	1		M16	4	
15	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	
16	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	

主材: D柱~C柱 [NO~GL] 注: C柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱(1)		作業用ステップボルト			撤去	M16×180	20	撤去
柱(1)		φ609.6×16.0	9,730			M30高力 M30×595	28	

14.000

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(4) D柱/C柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-12
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



6.6.000 (A面まで)
9.500 (9.953.4)

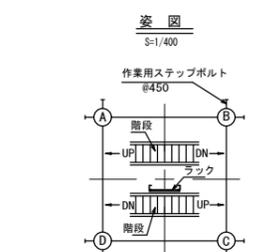
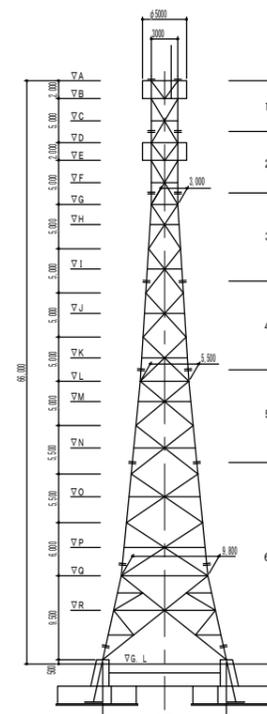
500

斜材：A柱～D柱 [Q～GL]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	2HL150×12	9,030	1		M24高力 M24	6 10	
2	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
3	2HL150×12	5,600	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
4	L65×6	2,325	1		M16	4	
5	L65×6	2,325	1		M16	4	
6	L65×6	3,225	1		M20	4	
7	L90×6	3,225	1		M20	4	
8	HL120×8	10,850	1		M24高力	13	
9	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
10	2HL150×12	8,200	1		M20 M24 M24高力	3 4 12	
11	L90×6	3,100	1		M20	4	
12	L90×6	3,100	1		M20	4	
13	L65×6	2,400	1		M16	4	
14	L65×6	2,400	1		M16	4	
15	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	
16	L90×6	3,400	1		M16 M20	4 4	

主材：A柱～D柱 [NO～GL] 注：全柱は別紙計上済

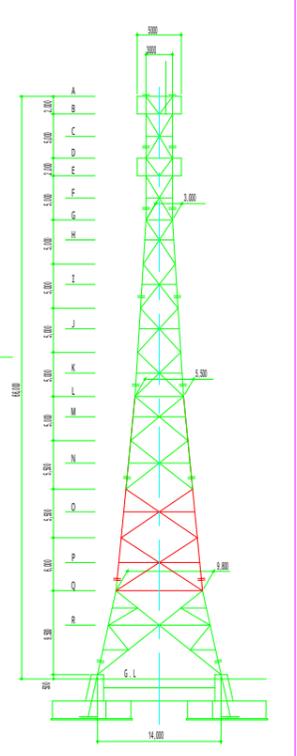
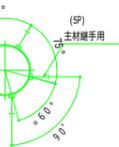
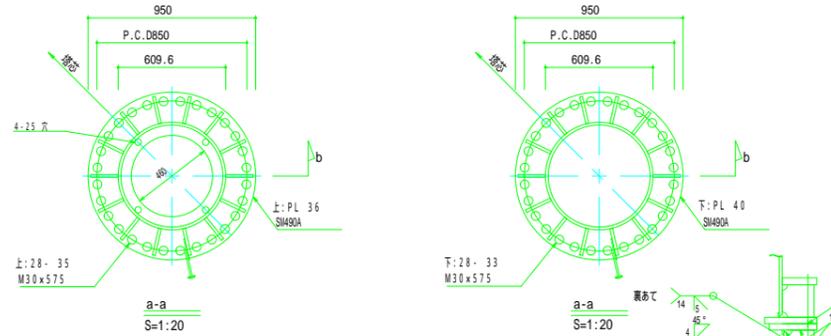
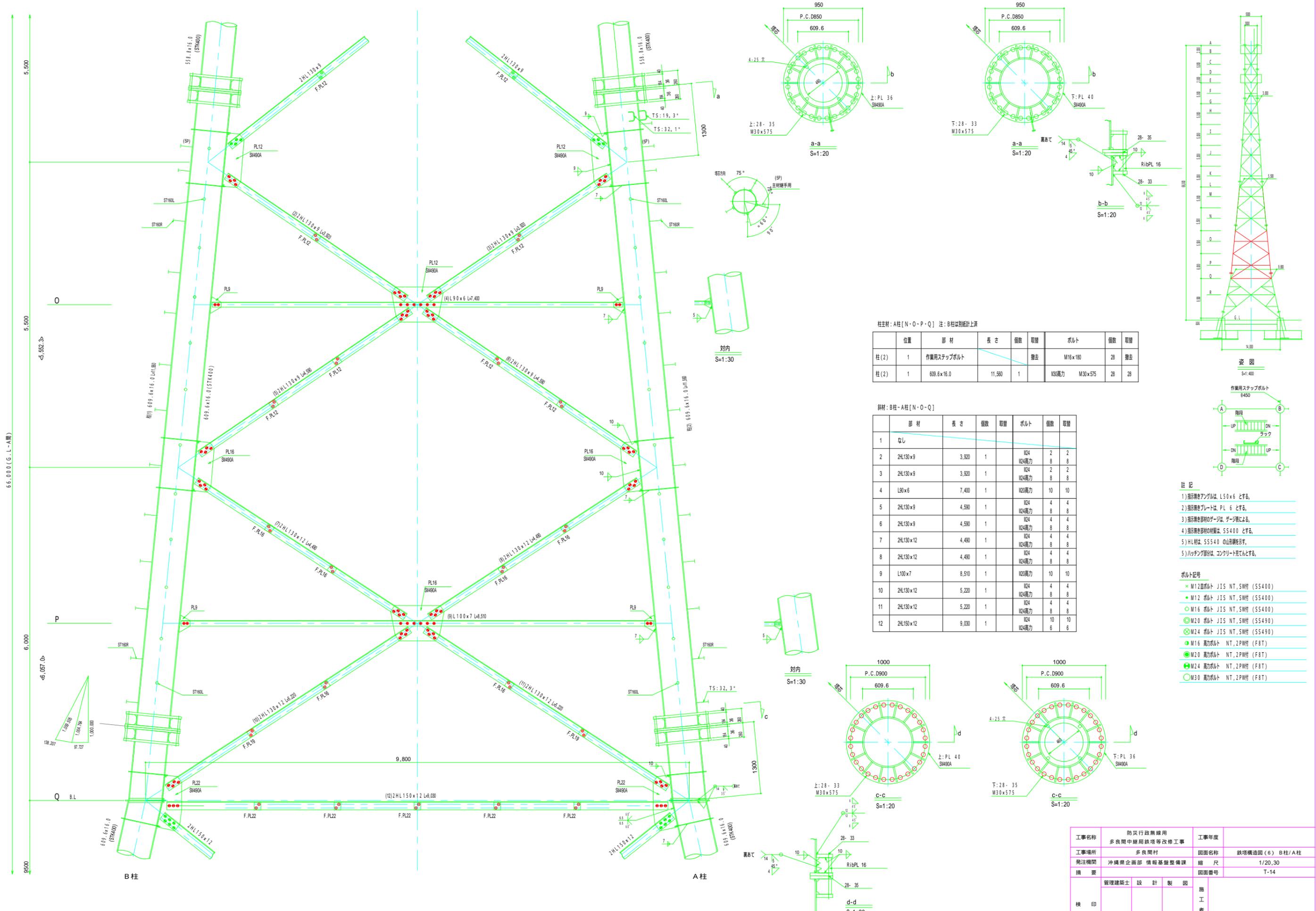
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱(1)		作業用ステップボルト			撤去	M16×180	20	撤去
柱(1)		φ609.6×16.0	9,730			M30高力 M30×595	28	



- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充てんとする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SWF (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SWF (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SWF (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SWF (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SWF (SS490)
 - ⊙ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊖ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(5) A柱/D柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-13
管理建築士	設計	製図	施工者

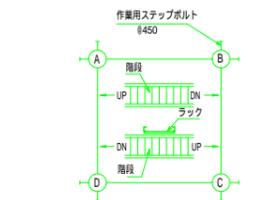


柱主材: A柱 [N・O・P・Q] 注: B柱は別紙計上済

位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト		撤去	M16x180	28	撤去
柱 (2)	1	609.6x16.0	11,560	1	M30高力 M30x575	28	28

斜材: B柱-A柱 [N・O・Q]

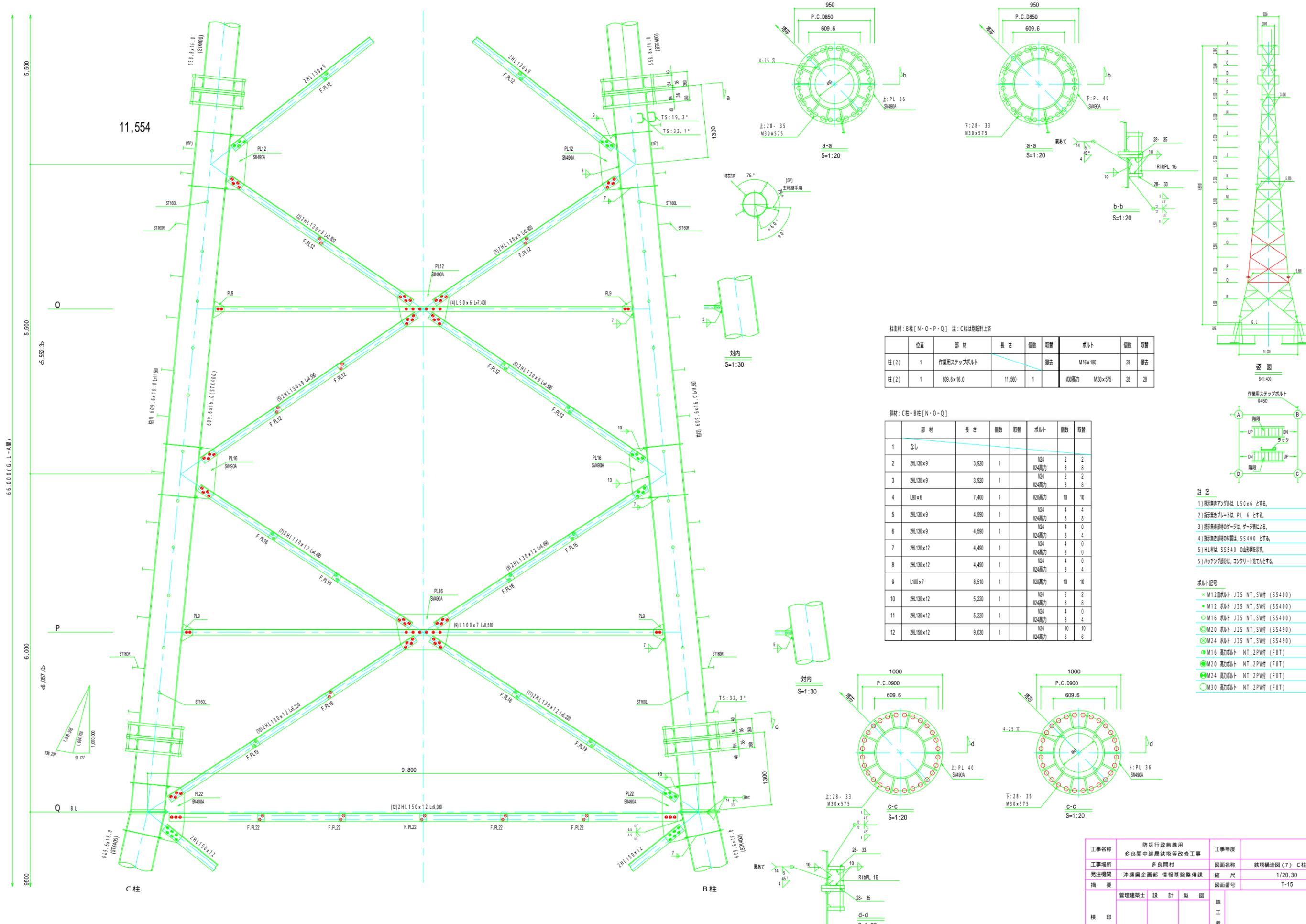
部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし					
2	2HL130x9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
3	2HL130x9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
4	L90x6	7,400	1	M20高力	10	10
5	2HL130x9	4,500	1	M24 M24高力	4 8	4 8
6	2HL130x9	4,500	1	M24 M24高力	4 8	4 8
7	2HL130x12	4,480	1	M24 M24高力	4 8	4 8
8	2HL130x12	4,480	1	M24 M24高力	4 8	4 8
9	L100x7	8,510	1	M20高力	10	10
10	2HL130x12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
11	2HL130x12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
12	2HL150x12	9,030	1	M24 M24高力	10 6	10 6



- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50x6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージによる。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 5) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ⊗ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊗ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(6) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
摘要		図面番号	T-14
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	

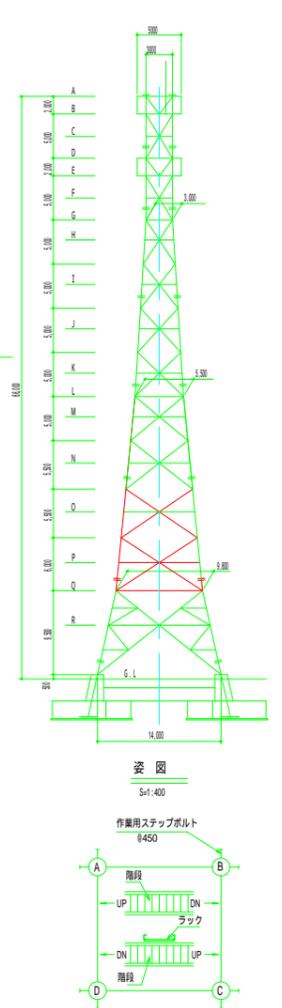


柱主材：B柱 [N・O・P・Q] 注：C柱は別紙計上済

位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト		撤去	M16x180	28	撤去
柱 (2)	1	609.6x16.0	11,560	1	M30高力 M30x575	28	28

斜材：C柱-B柱 [N・O・Q]

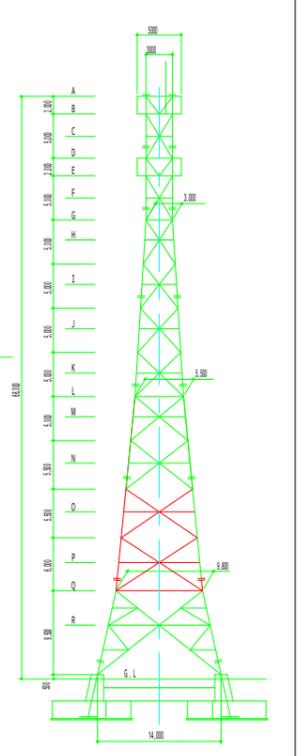
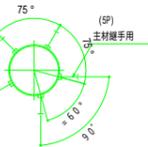
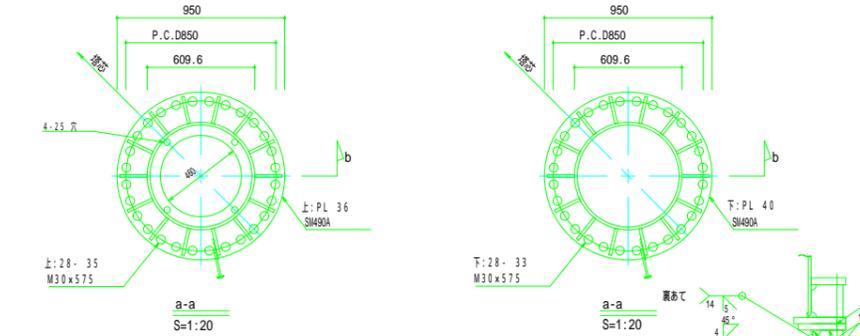
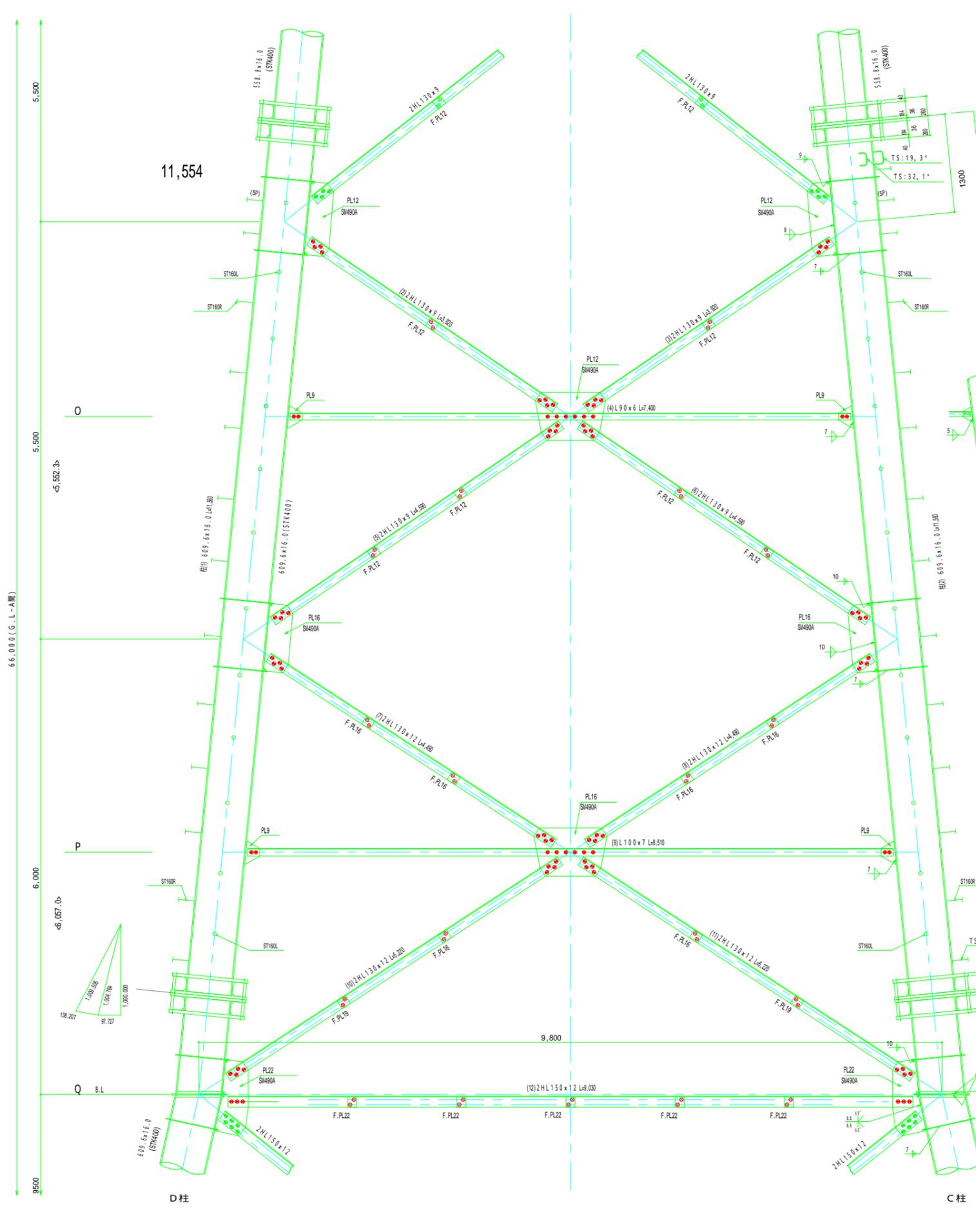
部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし					
2	2HL130x9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
3	2HL130x9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
4	L90x6	7,400	1	M20高力	10	10
5	2HL130x9	4,590	1	M24 M24高力	4 8	4 8
6	2HL130x9	4,590	1	M24 M24高力	4 8	4 8
7	2HL130x12	4,490	1	M24 M24高力	4 8	4 8
8	2HL130x12	4,490	1	M24 M24高力	4 8	4 8
9	L100x7	8,510	1	M20高力	10	10
10	2HL130x12	5,220	1	M24 M24高力	2 8	2 8
11	2HL130x12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
12	2HL150x12	9,030	1	M24 M24高力	10 6	10 6



- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50x6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージによる。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 5) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ⊗ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊙ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊕ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊖ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(7) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
摘要		図面番号	T-15
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	

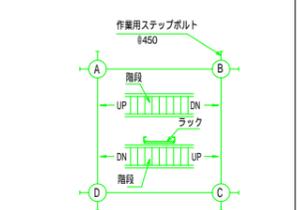


柱主材：C柱 [N・O・P・Q] 注：D柱は別紙計上済

位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト		除去	M16×180	28	除去
柱 (2)	1	609.6×16.0	11,560	1	M30高力 M30×575	28	28

斜材：D柱-C柱 [N・O・Q]

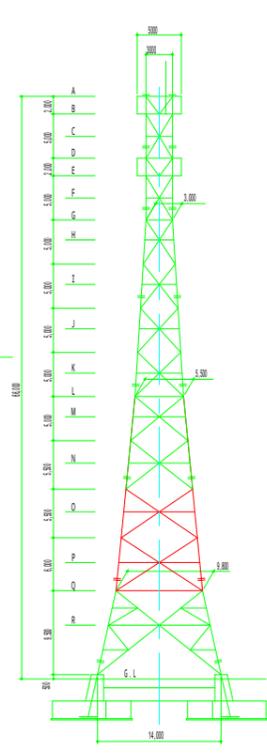
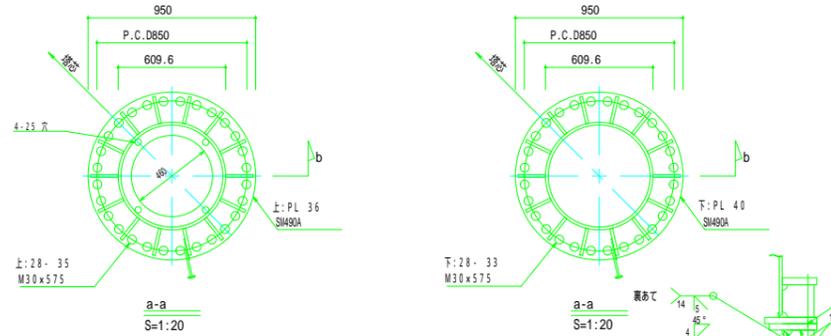
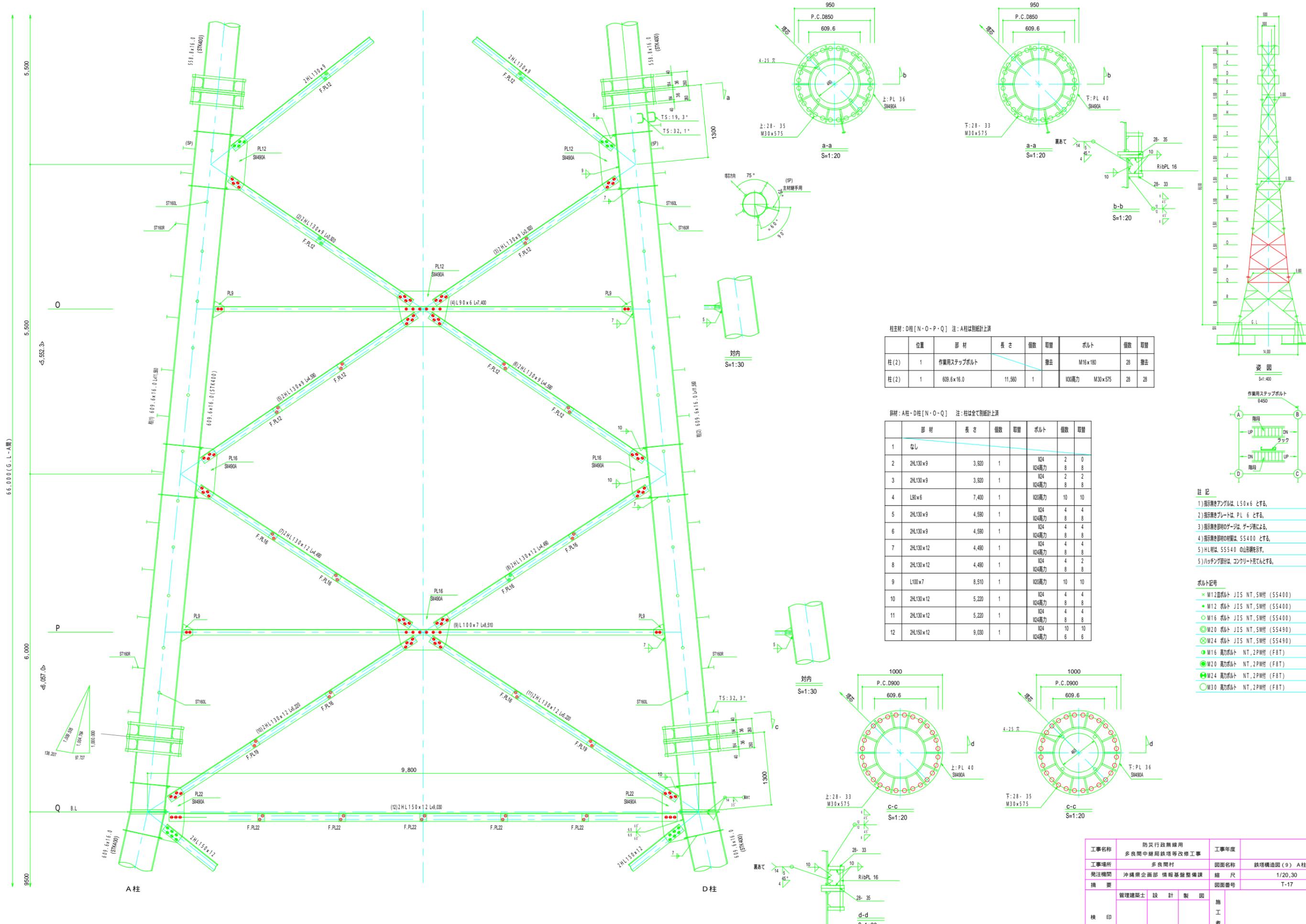
部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし					
2	2HL130×9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
3	2HL130×9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
4	L90×6	7,400	1	M20高力	10 10	
5	2HL130×9	4,590	1	M24 M24高力	4 8	4 8
6	2HL130×9	4,590	1	M24 M24高力	4 8	4 8
7	2HL130×12	4,490	1	M24 M24高力	4 8	4 8
8	2HL130×12	4,490	1	M24 M24高力	4 8	4 8
9	L100×7	8,510	1	M20高力	10 10	
10	2HL130×12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
11	2HL130×12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
12	2HL150×12	9,030	1	M24 M24高力	10 10	6 6



- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージによる。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊕ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊙ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (8) D柱/C柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
摘要		図面番号	T-16
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	

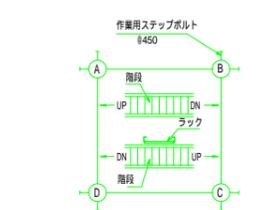


柱材：D柱 [N・O・P・Q] 注：A柱は別紙計上済

位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト		撤去	M16×180	28	撤去
柱 (2)	1	609.6×16.0	11,560	1	M30高力 M30×575	28	28

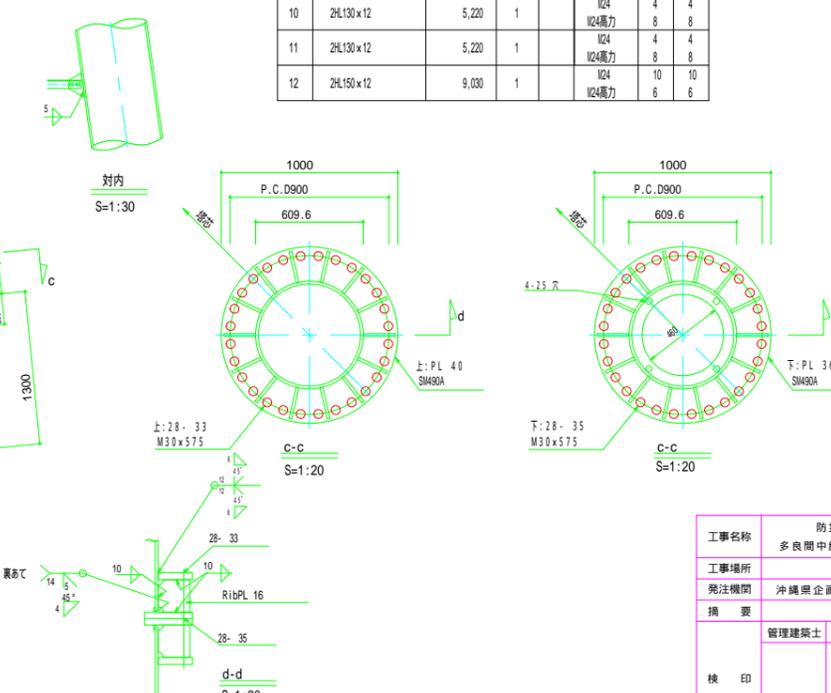
斜材：A柱-D柱 [N・O・Q] 注：柱は全て別紙計上済

部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし					
2	2HL130×9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	0 8
3	2HL130×9	3,920	1	M24 M24高力	2 8	2 8
4	L90×6	7,400	1	M20高力	10	10
5	2HL130×9	4,590	1	M24 M24高力	4 8	4 8
6	2HL130×9	4,590	1	M24 M24高力	4 8	8 8
7	2HL130×12	4,490	1	M24 M24高力	4 8	4 8
8	2HL130×12	4,490	1	M24 M24高力	4 8	2 8
9	L100×7	8,510	1	M20高力	10	10
10	2HL130×12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
11	2HL130×12	5,220	1	M24 M24高力	4 8	4 8
12	2HL150×12	9,030	1	M24 M24高力	10 10	6 6

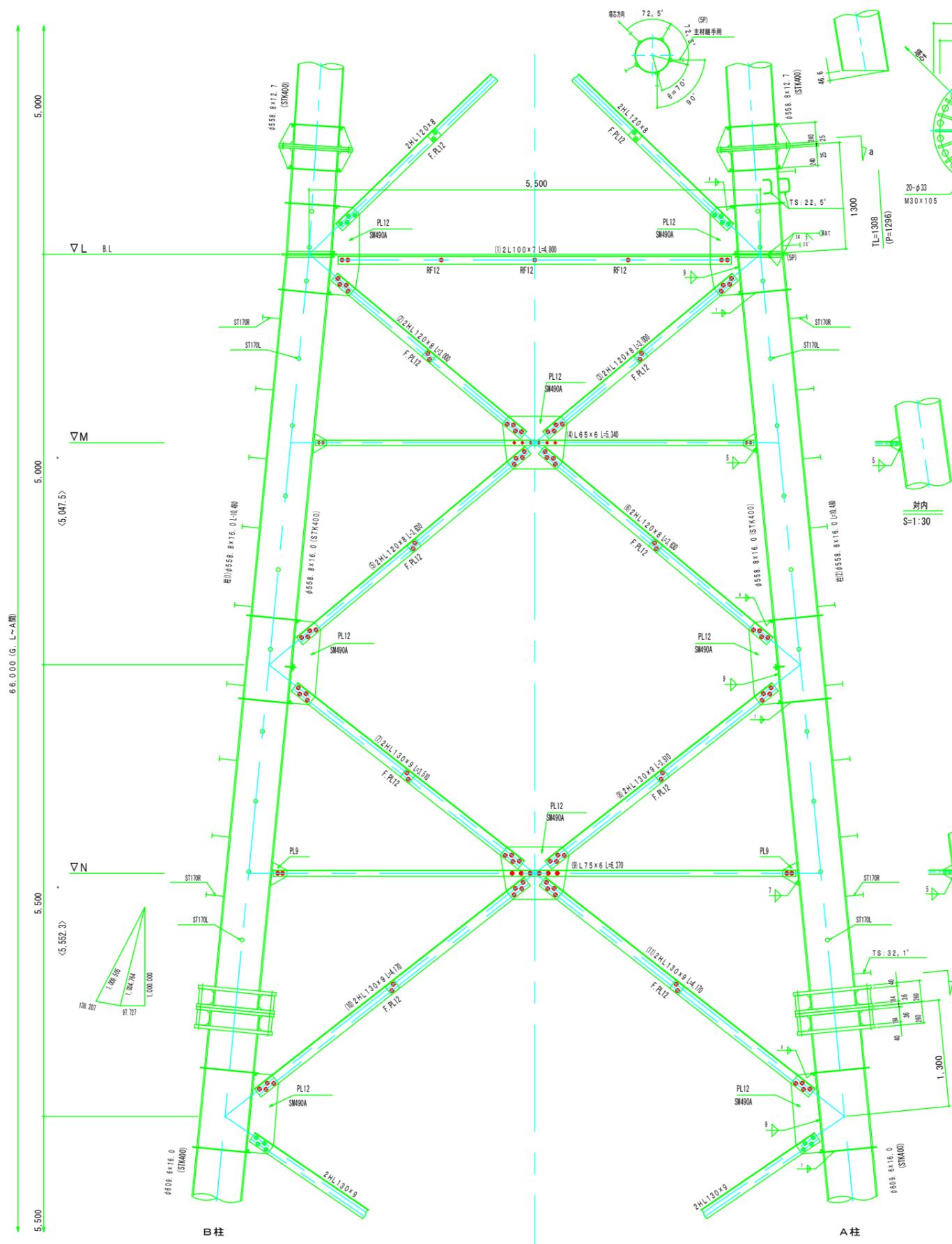


- 註記
- 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 指示無き部材のゲージは、ゲージによる。
 - 指示無き部材の材質は、S5400 とする。
 - HL材は、S5540 の山形鋼を示す。
 - ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW付 (S5400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (S5400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (S5400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (S5490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (S5490)
 - ⊕ M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊙ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)



工事名称	防災行政無線用	工事年度	
工事場所	多良間中継局鉄塔等改修工事	図面名称	鉄塔構造図(9) A柱/D柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
摘要		図面番号	T-17
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



柱主材: B柱 [K・L~N・O]

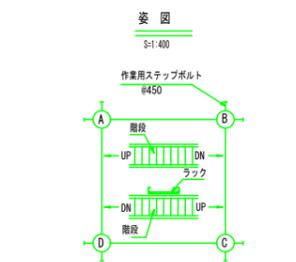
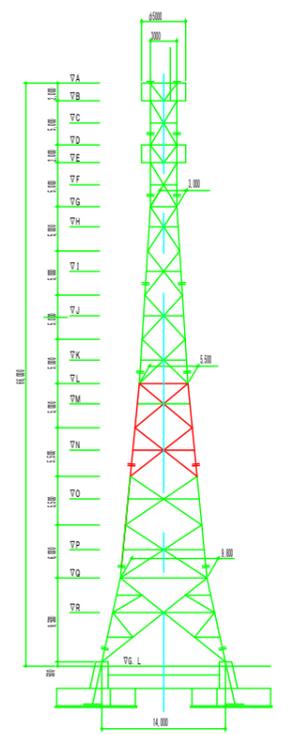
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	24	撤去
柱 (1)	1	φ558.8×12.7	10,490	1		M30高力 M30×575	28	

柱主材: A柱 [K・L~N・O]

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	24	撤去
柱 (2)	1	φ558.8×12.7	10,490	1		M30高力 M30×575	28	

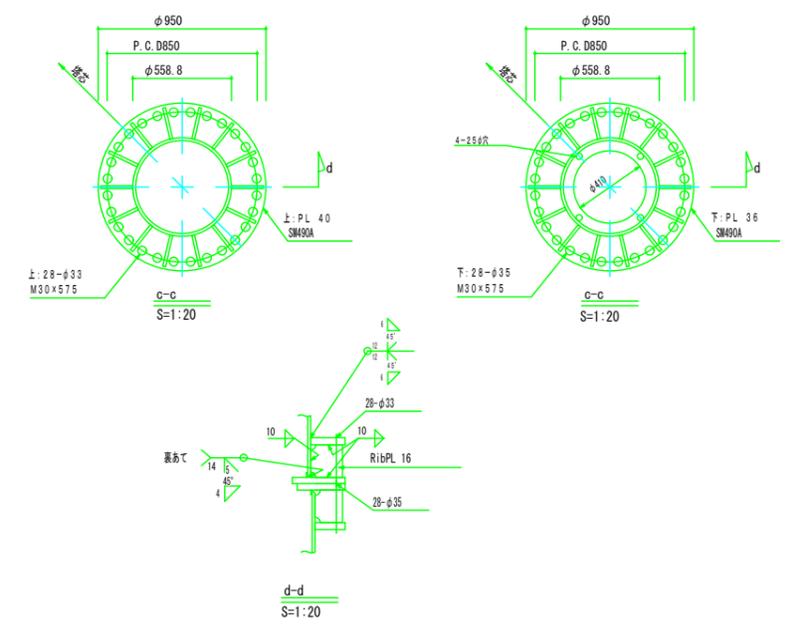
斜材: B柱~A柱 [L~N・O]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	ZL100×7	4,800	1		M20	3 3	4 4
2	ZHL120×8	3,000	1		M24	2 2	2 2
3	ZHL120×8	3,000	1		M24	2 2	2 2
4	L65×6	5,340	1		M16高力	10	10
5	ZHL120×8	3,630	1		M24	2 2	2 2
6	ZHL120×8	3,630	1		M24	2 2	2 2
7	ZHL130×9	3,510	1		M24	2 2	2 2
8	ZHL130×9	3,510	1		M24	2 2	2 2
9	L75×6	6,370	1		M20高力	10	10
10	ZHL130×9	4,170	1		M24	2 2	2 2
11	ZHL130×9	4,170	1		M24	2 2	2 2

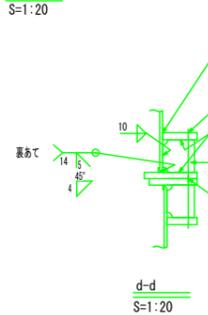
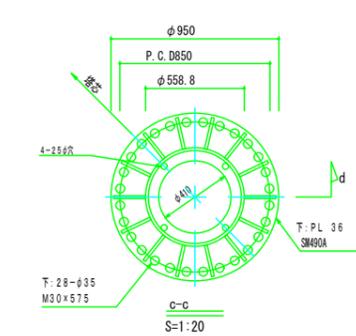
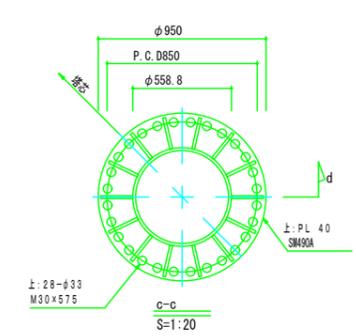
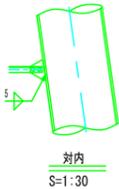
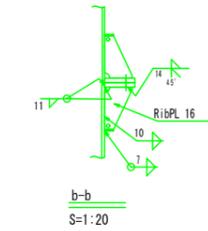
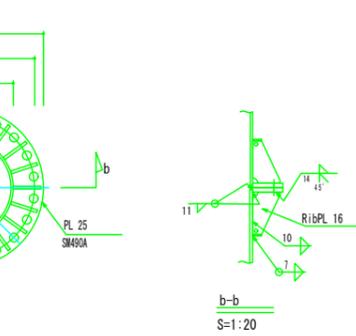
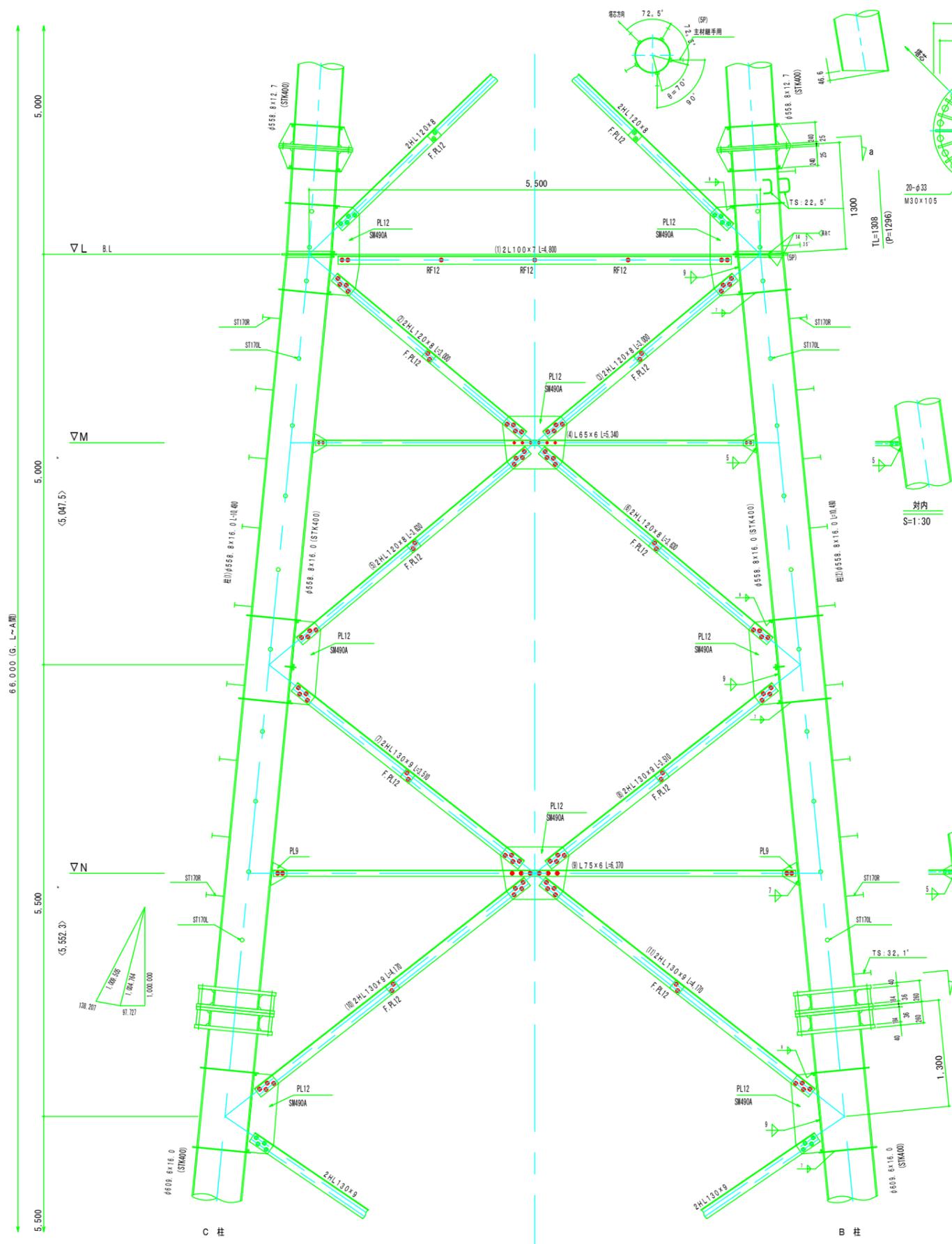


- 註記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリートで示す。

- ボルト記号
- × M12 高力ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ⊗ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊕ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)



工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (10) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報登録課	縮尺	1/20, 30
備考		図面番号	T-18
管理建築士	設計	製図	施工者

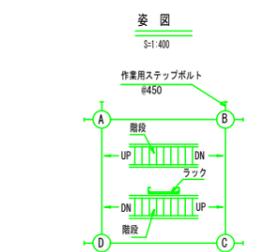
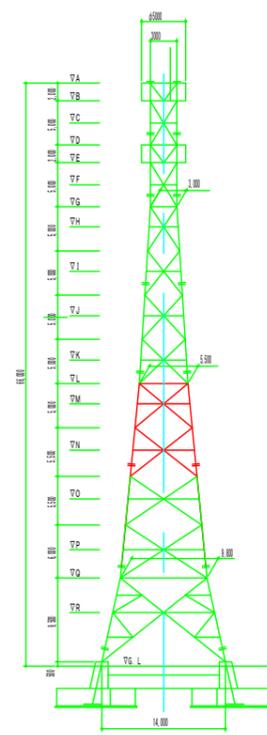


柱主材: C柱 [K・L・N・O] 注: B柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	24	撤去
柱 (1)	1	φ558.8×12.7	10,490	1		M30高力	M30×575	28

斜材: C柱~B柱 [L~N・O]

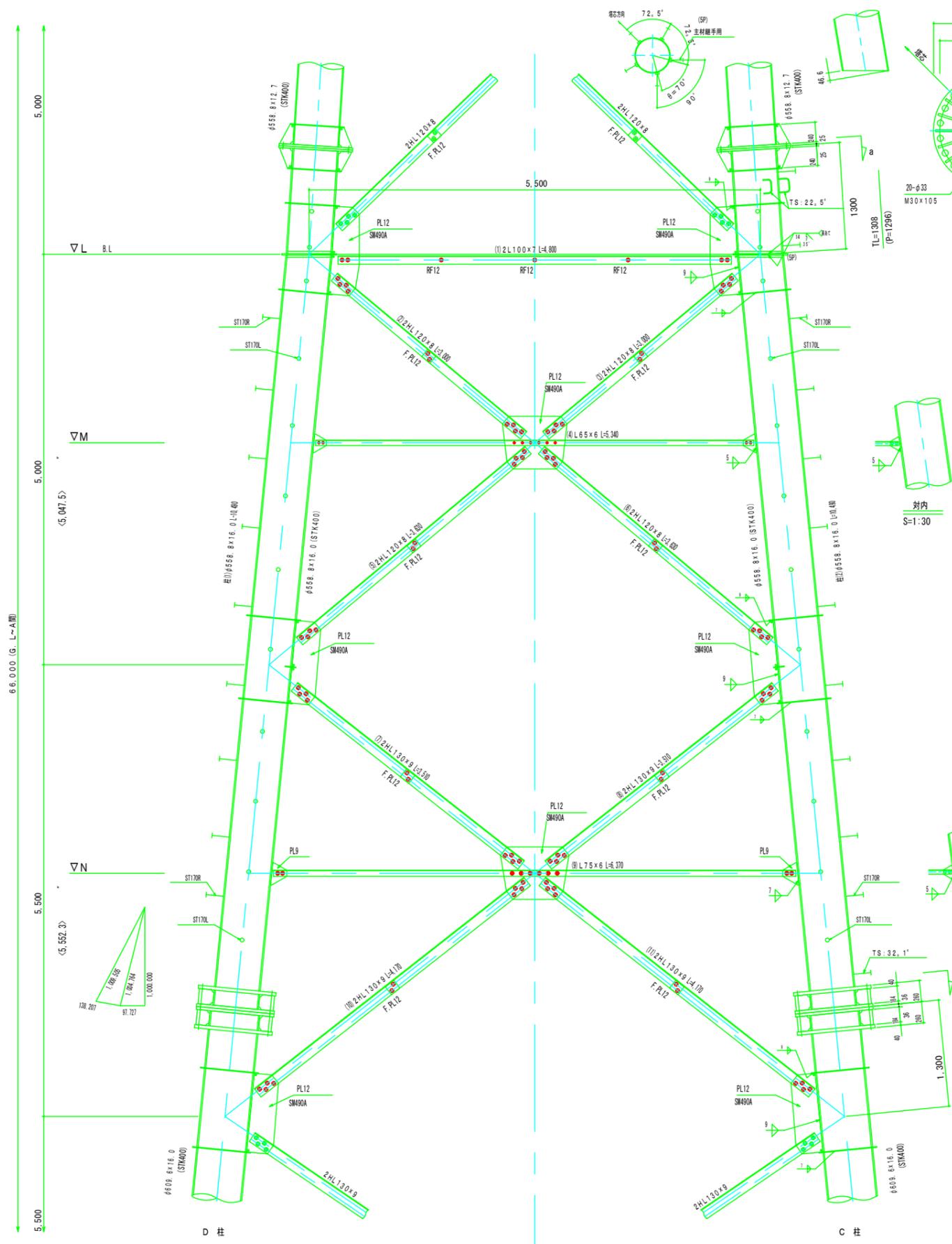
No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	2L100×7	4,800	1		M20	3	3
2	2HL120×8	3,000	1		M24	2	2
3	2HL120×8	3,000	1		M24	2	2
4	L65×6	5,340	1		M16高力	10	10
5	2HL120×8	3,630	1		M24	2	2
6	2HL120×8	3,630	1		M24	2	2
7	2HL130×9	3,510	1		M24	2	2
8	2HL130×9	3,510	1		M24	2	2
9	L75×6	6,370	1		M20高力	10	10
10	2HL130×9	4,170	1		M24	2	2
11	2HL130×9	4,170	1		M24	2	2



- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリートとする。

- ボルト記号
- × M12 高力ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ⊗ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊕ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (11) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30
換		図面番号	T-19
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	

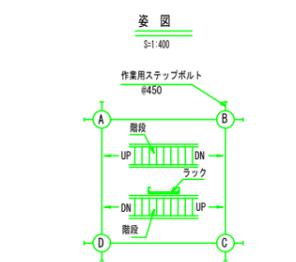
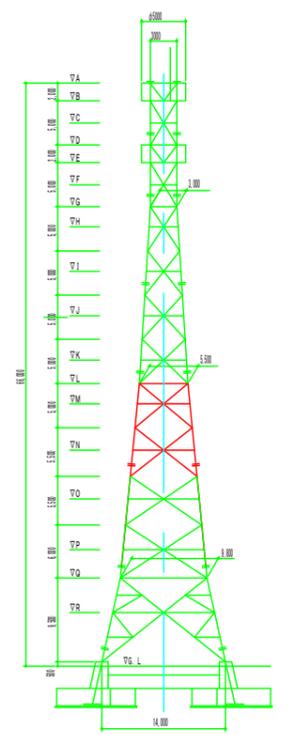


柱主材: D柱 [K・L・N・O] 注: C柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	24	撤去
柱 (1)	1	φ558.8×12.7	10,490	1		M30高力 M30×575	28	

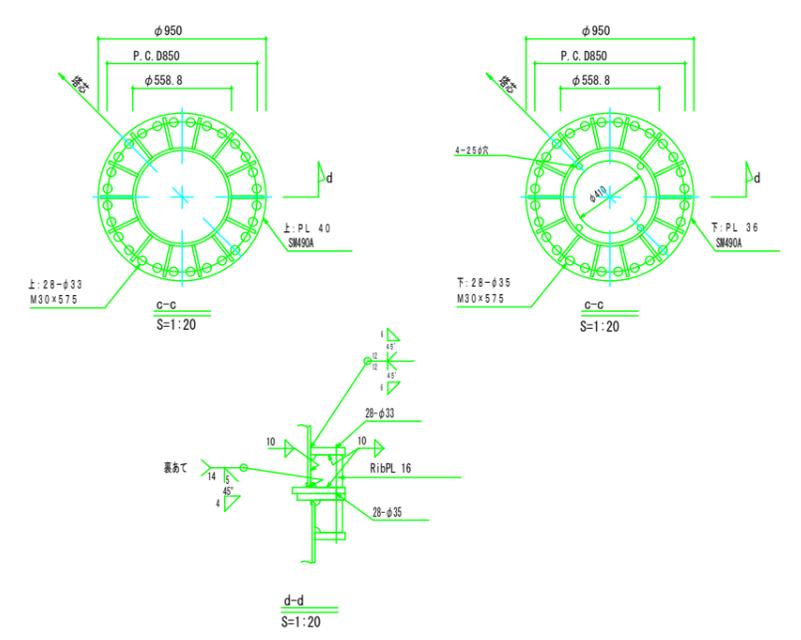
斜材: D柱~C柱 [L~N・O]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	ZL100×7	4,800	1		M20	3	3
2	ZHL120×8	3,000	1		M24	2	2
3	ZHL120×8	3,000	1		M24	2	2
4	L65×6	5,340	1		M16高力	10	10
5	ZHL120×8	3,630	1		M24	2	2
6	ZHL120×8	3,630	1		M24	2	2
7	ZHL130×9	3,510	1		M24	2	2
8	ZHL130×9	3,510	1		M24	2	2
9	L75×6	6,370	1		M20高力	10	10
10	ZHL130×9	4,170	1		M24	2	2
11	ZHL130×9	4,170	1		M24	2	2

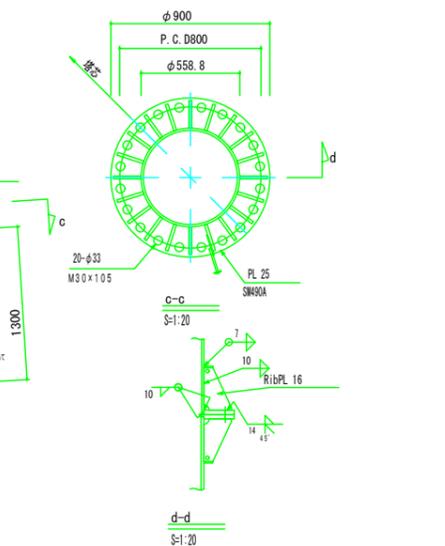
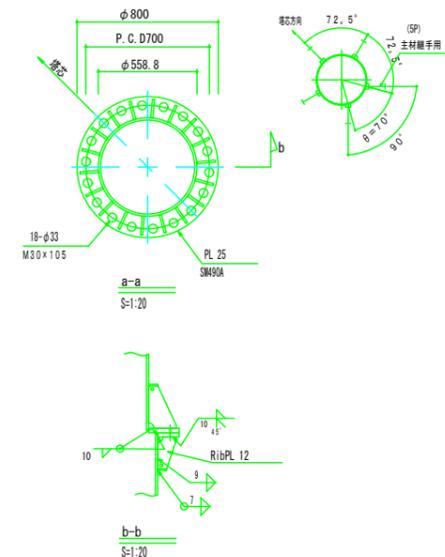
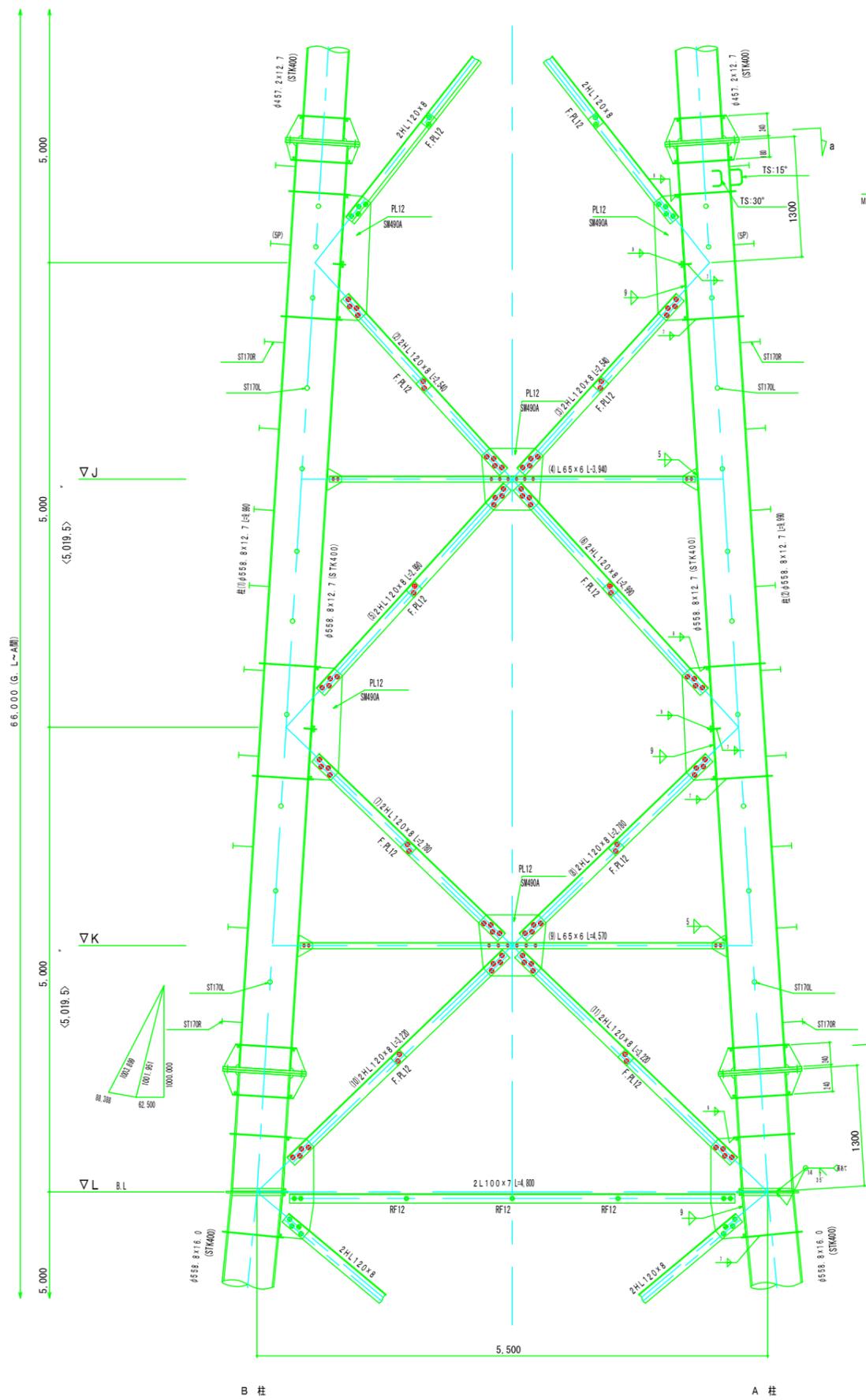


- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリートでとす。

- ボルト記号
- × M12 高力ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ⊗ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊕ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊕ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)



工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (12) D柱/C柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30
換要		図面番号	T-20
管理建築士	設計	製図	施工者



柱主材: B柱 [I・J~K・L]

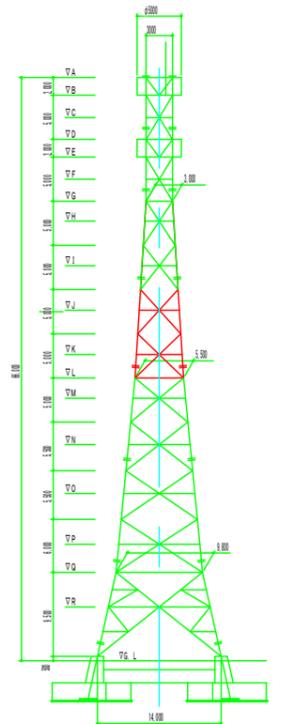
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	22	撤去
柱 (1)	1	φ558.8×12.7	9,990	1		M30高力 M30×105	20	

柱主材: A柱 [I・J~K・L]

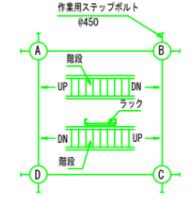
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	22	撤去
柱 (2)	1	φ558.8×12.7	9,990	1		M30高力 M30×105	20	

斜材: B柱~A柱 [I・J~L]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし						
2	2HL120×8	2,540	1		M24 M24高力	2 8	2 8
3	2HL120×8	2,540	1		M24 M24高力	2 8	2 8
4	L65×6	3,940	1		M16高力	10	10
5	2HL120×8	2,990	1		M24 M24高力	2 8	2 8
6	2HL120×8	2,990	1		M24 M24高力	2 8	2 8
7	2HL120×8	2,780	1		M24 M24高力	2 8	2 8
8	2HL120×8	2,780	1		M24 M24高力	2 8	2 8
9	L65×6	4,570	1		M16高力	10	10
10	2HL120×8	3,220	1		M24 M24高力	2 8	2 8
11	2HL120×8	3,220	1		M24 M24高力	2 8	2 8



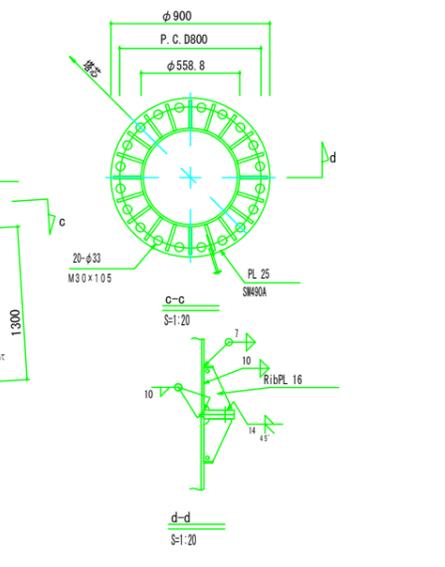
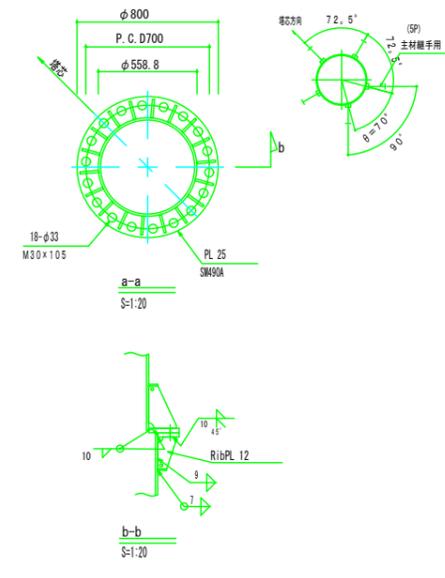
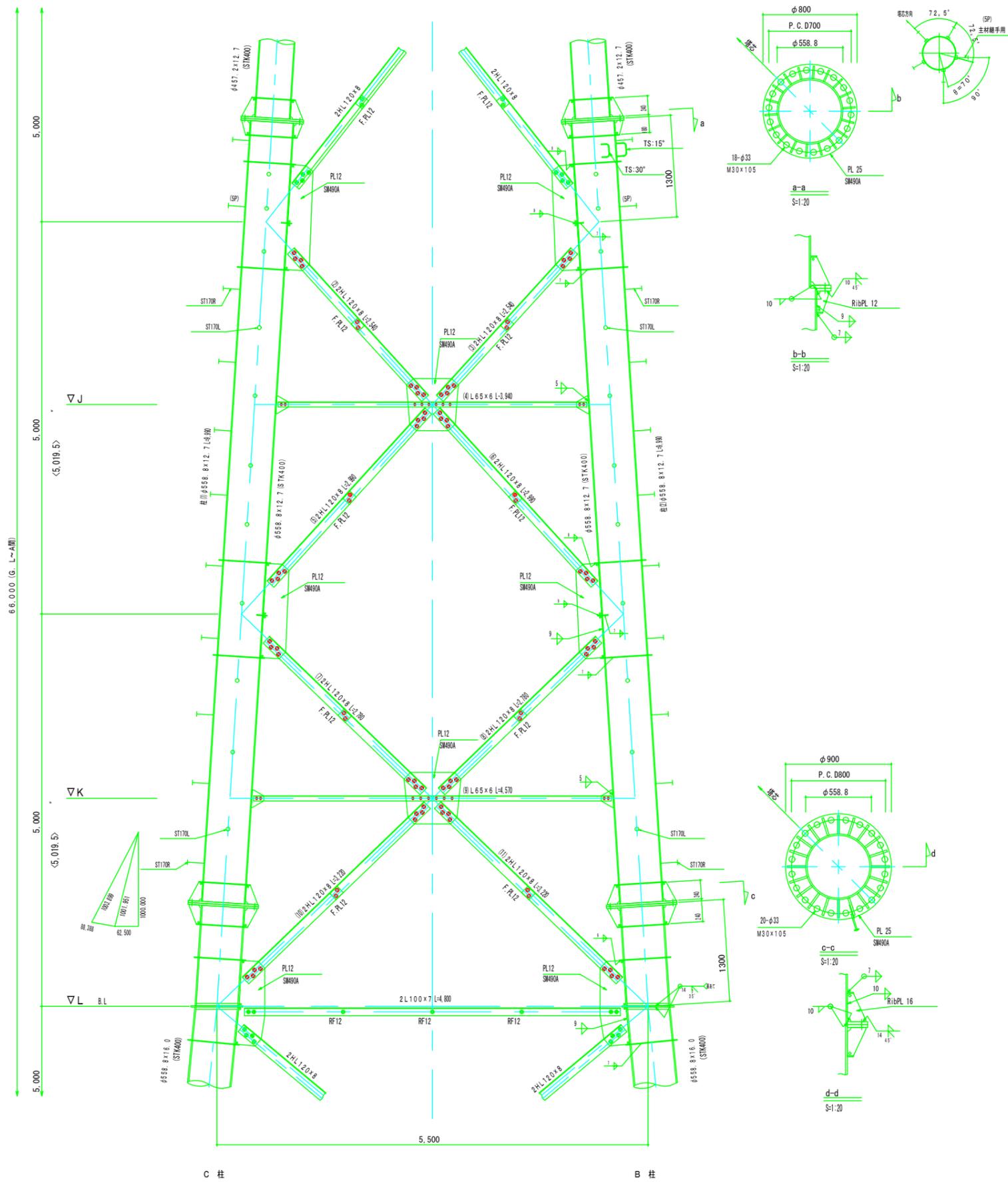
姿図
S=1/400



- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き斜材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 皿ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (14) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換		図面番号	T-22
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	

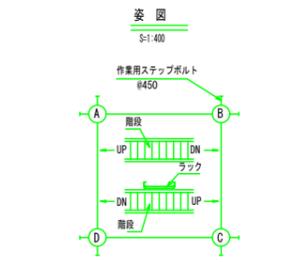
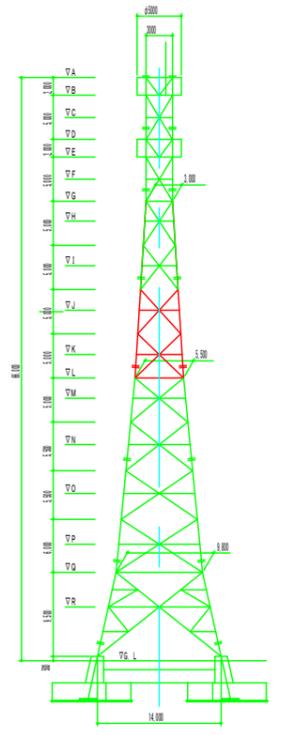


柱主材：C柱 [I・J・K・L] 注：B柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	22	撤去
柱 (1)	1	φ558.8×12.7	9,990	1		M30高力 M30×105	20	

斜材：C柱~B柱 [I・J~L]

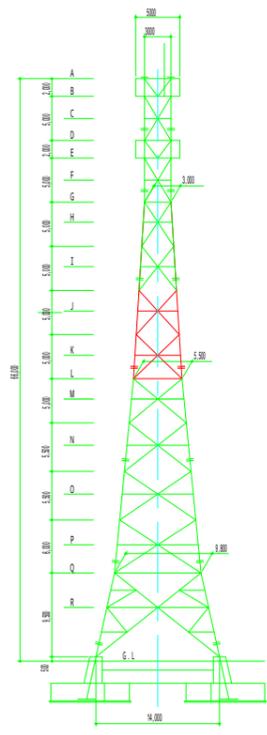
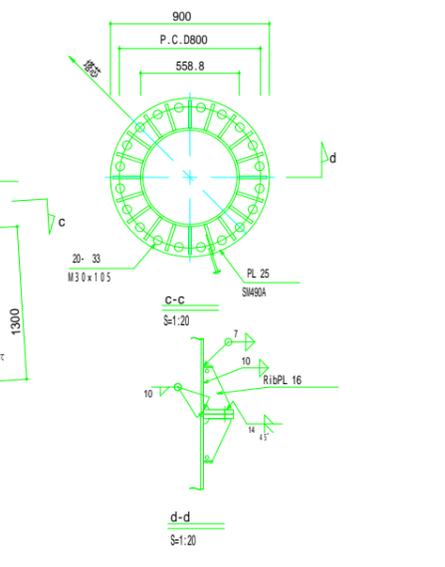
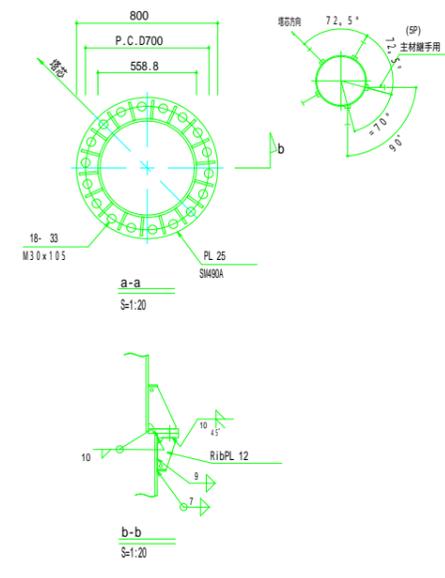
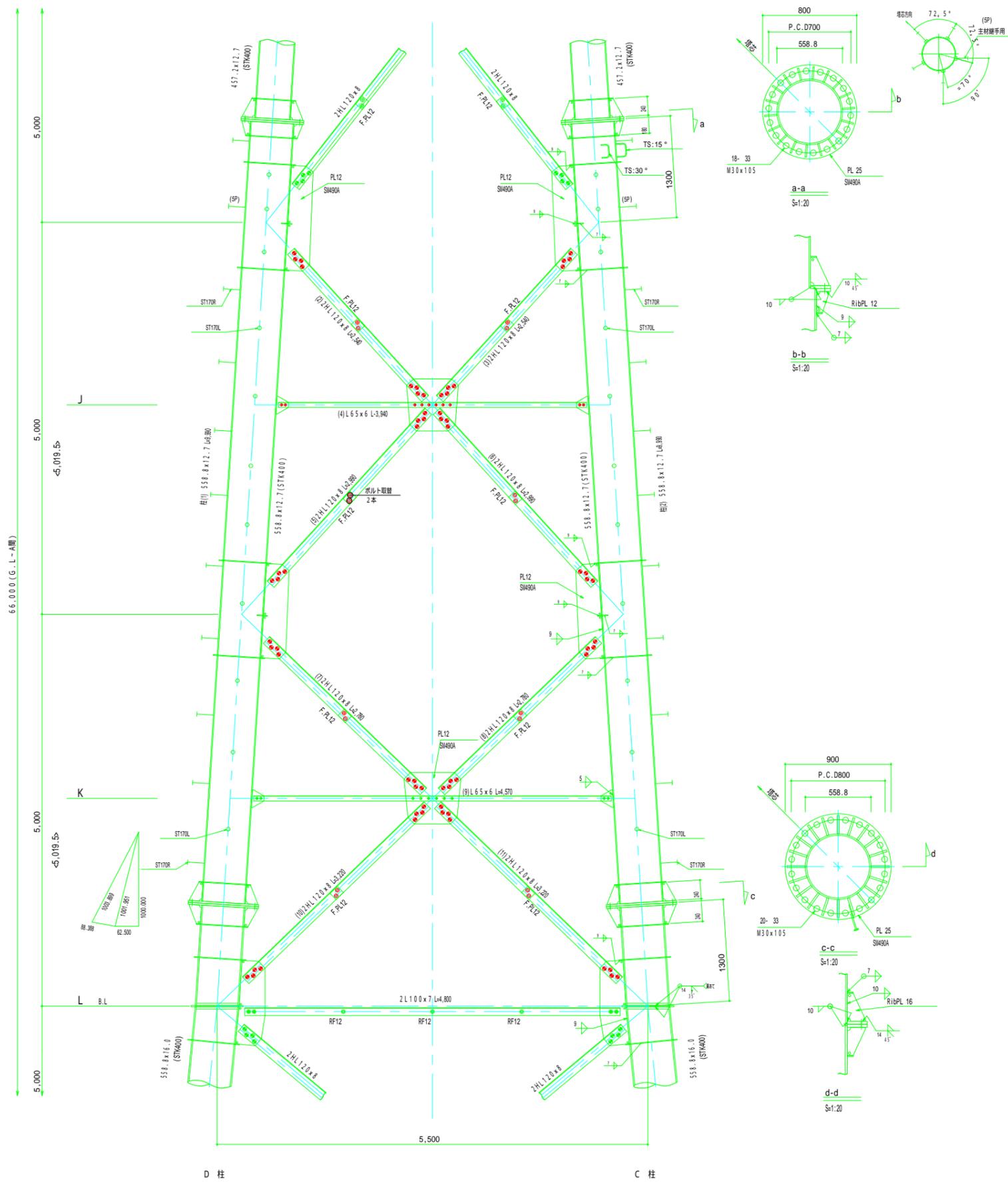
No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし						
2	2HL120×8	2,540	1		M24 M24高力	2 8	2 8
3	2HL120×8	2,540	1		M24 M24高力	2 8	2 8
4	L65×6	3,940	1		M16高力	10	10
5	2HL120×8	2,990	1		M24 M24高力	2 8	2 8
6	2HL120×8	2,990	1		M24 M24高力	2 8	2 8
7	2HL120×8	2,780	1		M24 M24高力	2 8	2 8
8	2HL120×8	2,780	1		M24 M24高力	2 8	2 8
9	L65×6	4,570	1		M16高力	10	10
10	2HL120×8	3,220	1		M24 M24高力	2 8	2 8
11	2HL120×8	3,220	1		M24 M24高力	2 8	2 8



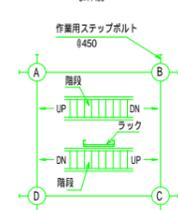
- 注 記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) H.L.材は、SSS40 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 皿ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (15) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30
換		図面番号	T-23
検 印	管理建築士 設 計 製 図	施 工 者	



姿図
1/400



柱主材：D柱 [I・J・K・L] 注：C柱は別紙計上済

位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱(1)	1	作業用ステップボルト		除去	M16x180	22	除去
柱(1)	1	558.8x12.7	9,990	1	M30高力 M30x105	20	

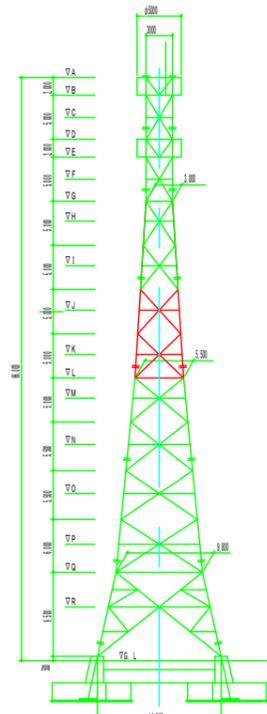
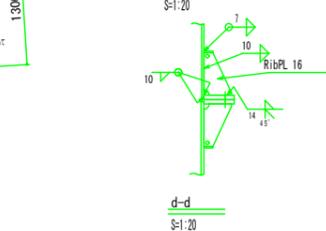
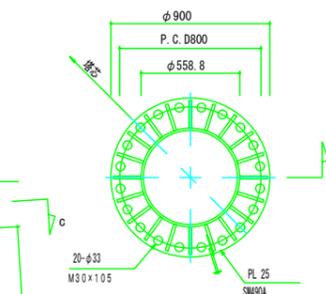
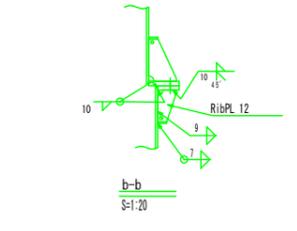
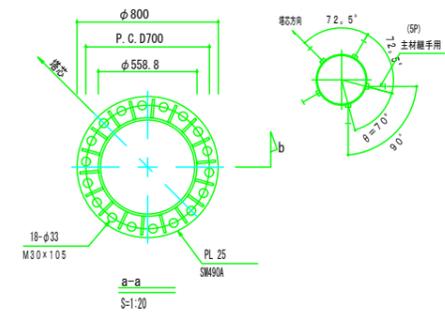
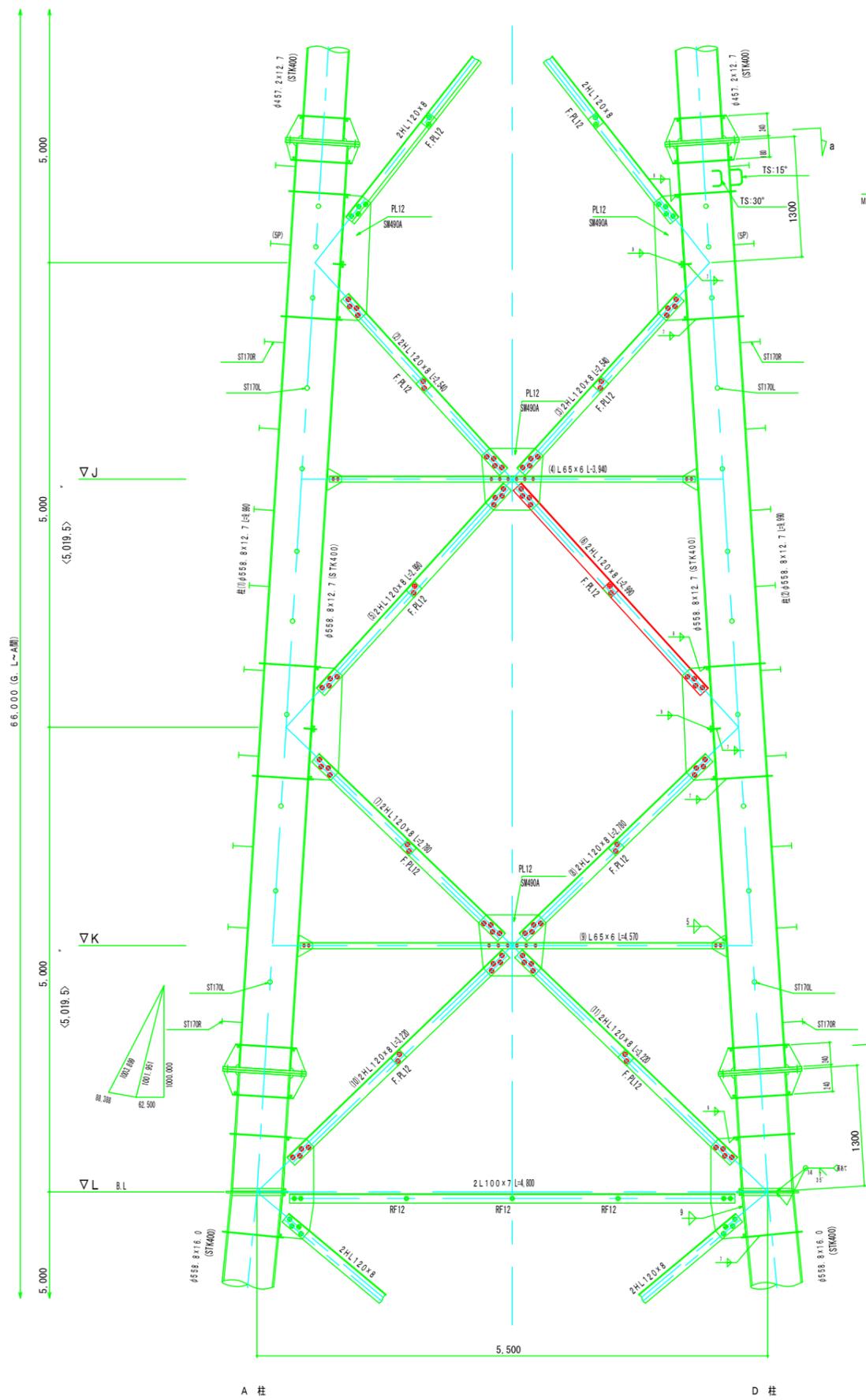
斜材：D柱-C柱 [I・J・L]

部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし					
2	2HL120x8	2,540	1	M24 M24高力	2 8	2 8
3	2HL120x8	2,540	1	M24 M24高力	2 8	2 8
4	L65x6	3,940	1	M16高力	10	10
5	2HL120x8	2,990	1	M24 M24高力	2 8	2 8
6	2HL120x8	2,990	1	M24 M24高力	2 8	2 8
7	2HL120x8	2,780	1	M24 M24高力	2 8	2 8
8	2HL120x8	2,780	1	M24 M24高力	2 8	2 8
9	L65x6	4,570	1	M16高力	10	0
10	2HL120x8	3,220	1	M24 M24高力	2 8	2 8
11	2HL120x8	3,220	1	M24 M24高力	2 8	2 8

- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50x6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート打込みとする。

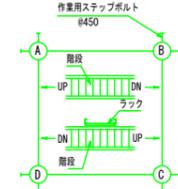
- ボルト記号
- × M12並ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(16) D柱/C柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30
摘要		図面番号	T-24
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



姿図

S=1/400



注記

- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
- 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
- 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
- 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
- 5) H/L材は、SSS40 の山形鋼を示す。
- 6) ハッチング部は、コンクリート充填とする。

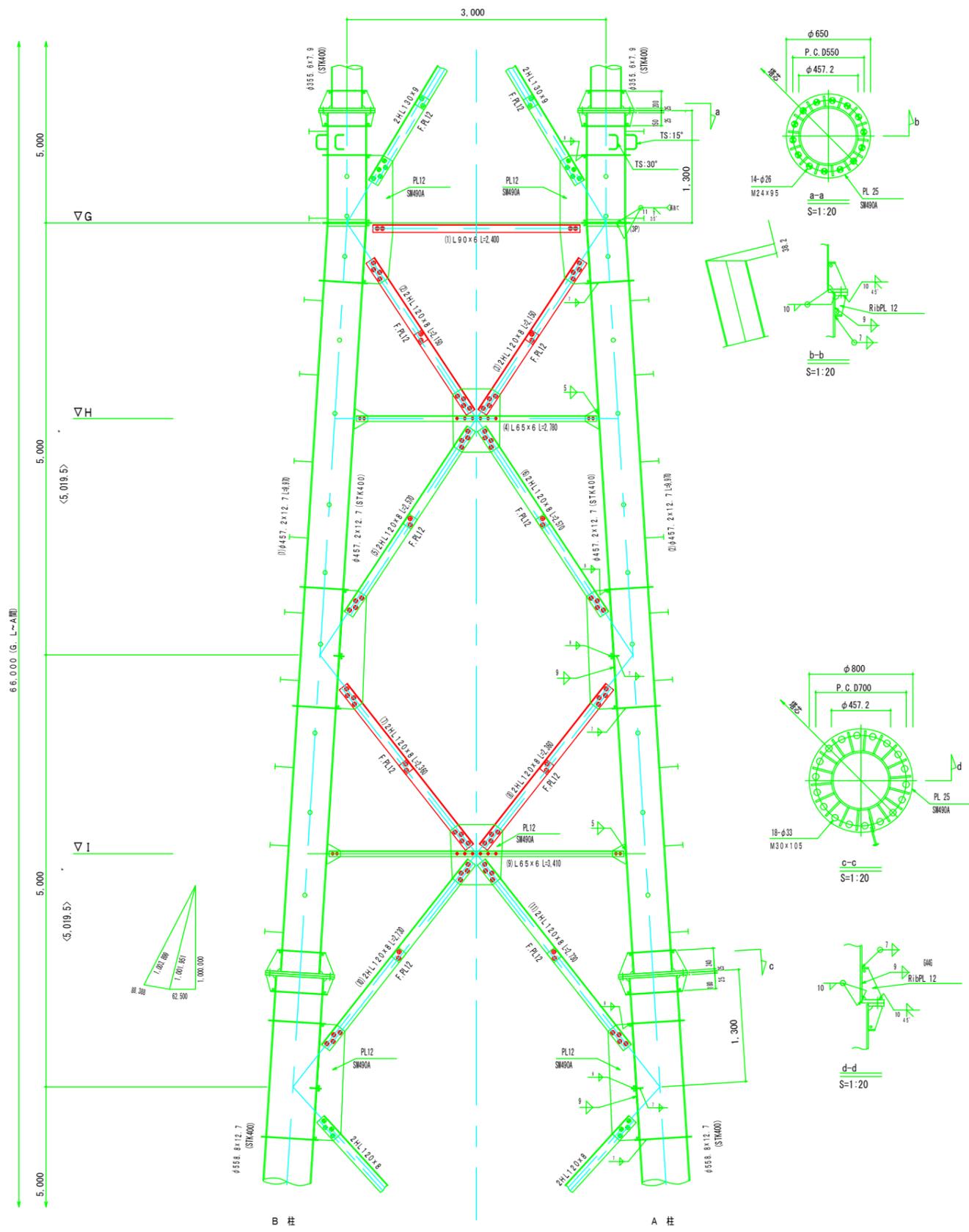
ボルト記号

- × M12 皿ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
- M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
- M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
- M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
- ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
- M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
- M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
- M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
- M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

斜材: A柱~D柱 [I・J~L] 注: 柱は全て別紙計上済

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	なし						
2	ZHL120×8	2,540	1		M24 M24高力	2 8	2 8
3	ZHL120×8	2,540	1		M24 M24高力	2 8	2 8
4	L65×6	3,940	1		M16高力	10	10
5	ZHL120×8	2,990	1		M24 M24高力	2 8	2 8
6	ZHL120×8	2,990	1	1	M24 M24高力	2 8	2 8
6	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
7	ZHL120×8	2,780	1		M24 M24高力	2 8	2 8
8	ZHL120×8	2,780	1		M24 M24高力	2 8	2 8
9	L65×6	4,570	1		M16高力	10	10
10	ZHL120×8	3,220	1		M24 M24高力	2 8	2 8
11	ZHL120×8	3,220	1		M24 M24高力	2 8	2 8

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図(17) A柱/D柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-25
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



柱主材：B柱 [F・G~I・G]

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×100	22	撤去
柱 (1)	1	φ457.2×12.7	6,920	1		W30高力 M30×105	18	

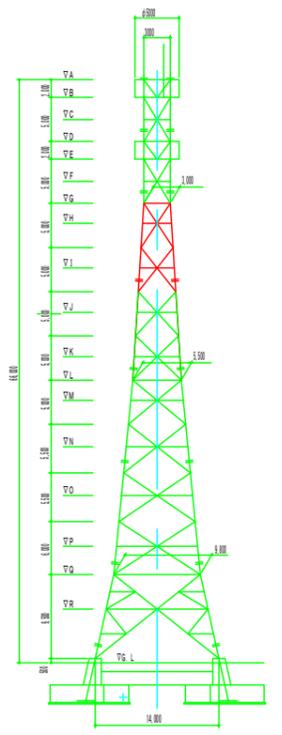
(1)φ457.2×12.7 L=6,920

柱主材：A柱 [C・D~F・G]

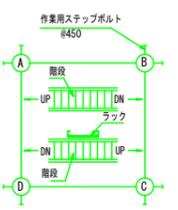
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×100	22	撤去
柱 (2)	1	φ457.2×12.7	6,920	1		W30高力 M30×105	18	

部材：B柱~A柱 [A~D]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L90×6	2,400	1	1	W20高力	4	4
2	2HL120×8	2,150	1	1	W4高力	2	2
3	2HL120×8	2,150	1	1	W4高力	8	8
4	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
5	L65×6	2,780	1		W16高力	10	10
6	2HL120×8	2,570	1		W4高力	2	2
7	2HL120×8	2,570	1		W4高力	8	8
8	2HL120×8	2,360	1	1	W4高力	2	2
9	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
10	2HL120×8	2,360	1	1	W4高力	8	8
11	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
12	2HL120×8	2,360	1	1	W4高力	8	8
13	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
14	L65×6	3,410	1		W16高力	10	10
15	2HL120×8	2,730	1		W4高力	2	2
16	2HL120×8	2,730	1		W4高力	8	8



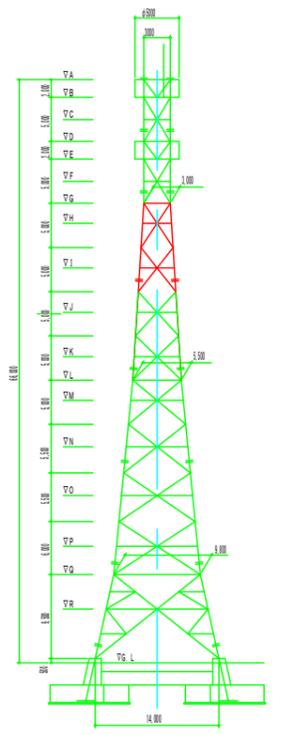
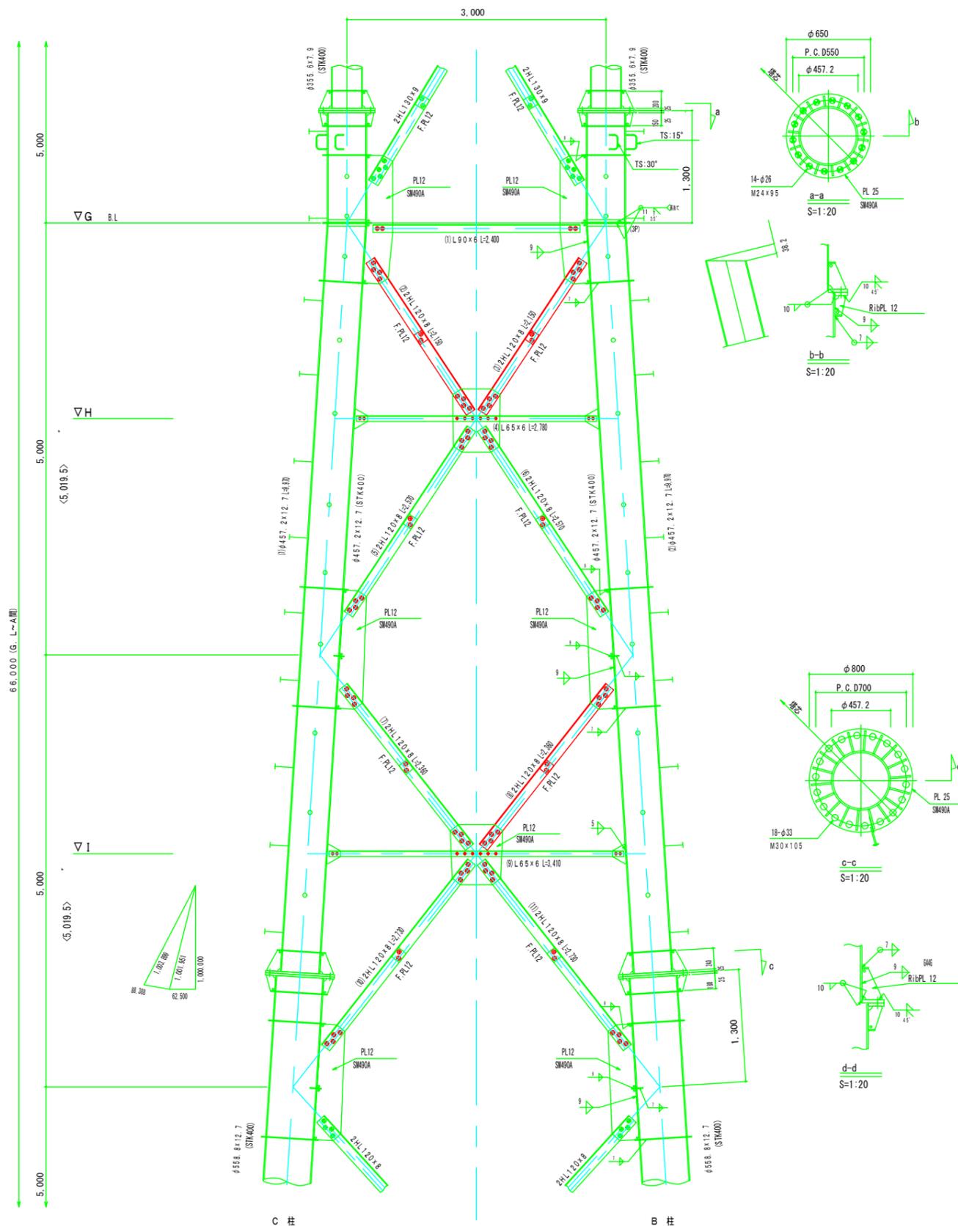
姿図



- 柱記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼とする。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

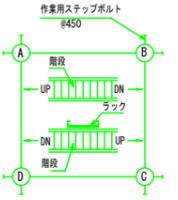
- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊙ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - ⊙ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (18) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-26
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



立面図

1/400



柱主材: C柱 [F・G~I・J] 注: B柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	22	撤去
柱 (1)	1	φ457.2×12.7	6.920	1		M30高力 M30×105	18	

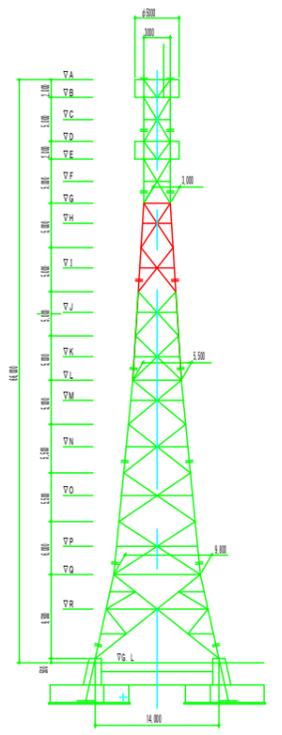
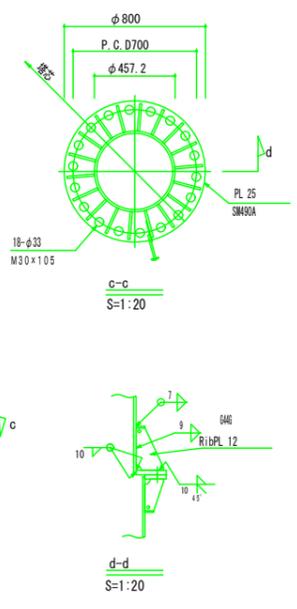
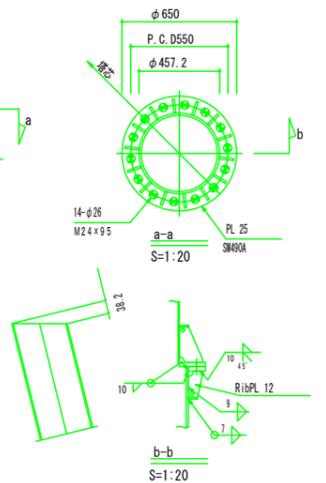
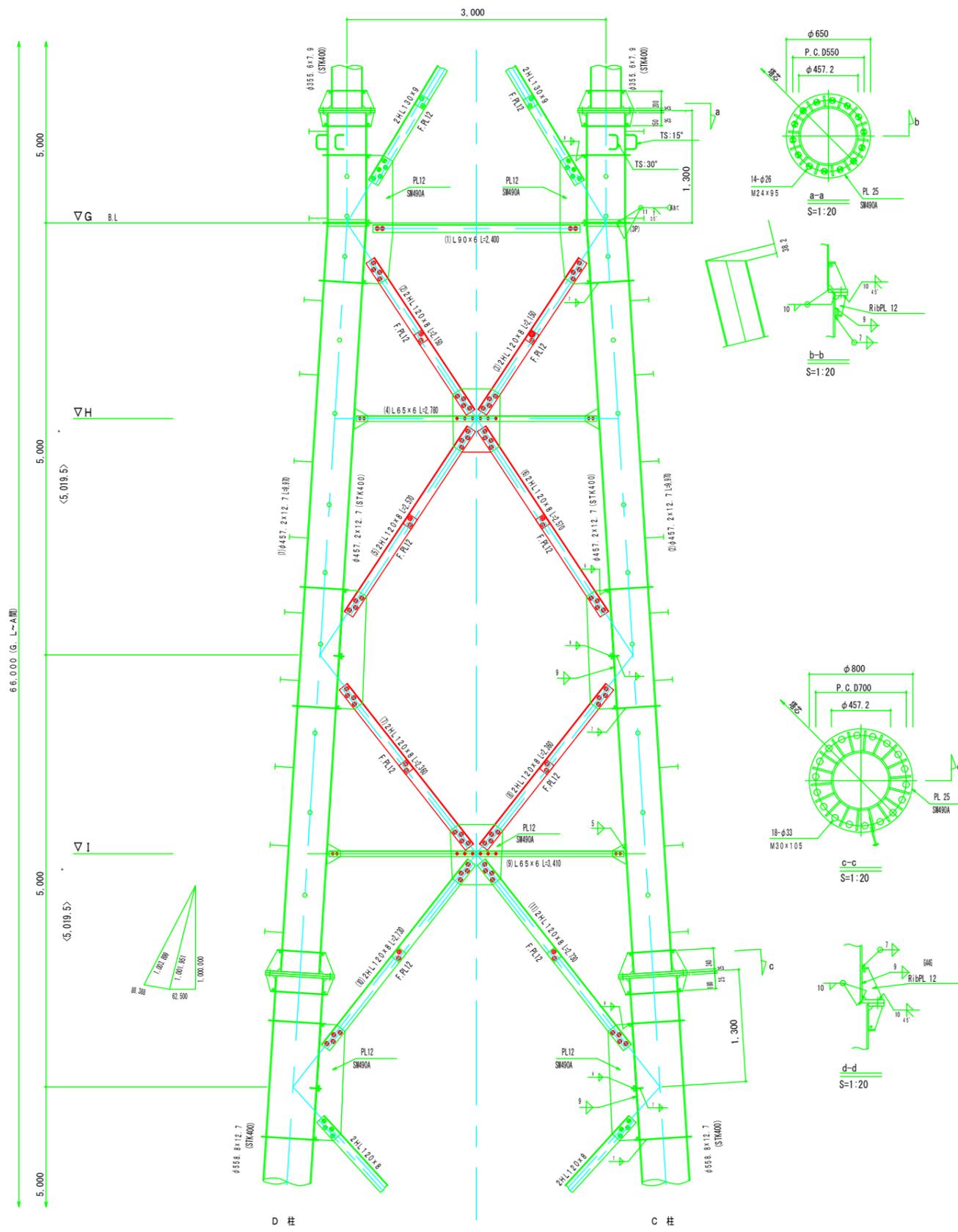
部材: C柱~B柱 [G~I]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L90×6	2.400	1		M20高力	4	4
2	2HL120×8	2.150	1	1	M24高力	2	2
2	PL12×110×130	0.014(m)	1	1	M24高力	8	8
3	2HL120×8	2.150	1	1	M24高力	2	2
3	PL12×110×130	0.014(m)	1	1	M24高力	8	8
4	L65×6	2.780	1		M16高力	10	10
5	2HL120×8	2.570	1		M24高力	2	2
6	2HL120×8	2.570	1		M24高力	8	8
7	2HL120×8	2.360	1		M24高力	2	2
8	2HL120×8	2.360	1	1	M24高力	8	8
8	PL12×110×130	0.014(m)	1	1	M24高力	2	2
9	L65×6	3.410	1		M16高力	10	10
10	2HL120×8	2.730	1		M24高力	2	2
11	2HL120×8	2.730	1		M24高力	8	8

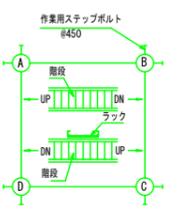
- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW 付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW 付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (19) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30
換		図面番号	T-27
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



姿図
S=1/400



柱主材：D柱 [F・G~I・J] 注：C柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	22	撤去
柱 (1)	1	φ457.2×12.7	6.920	1		M30高力	M30×105	18

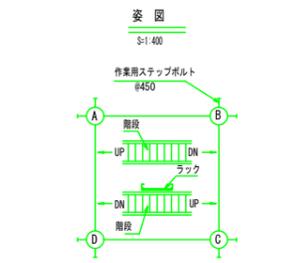
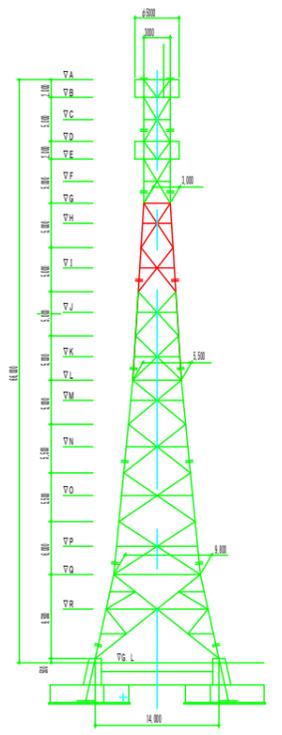
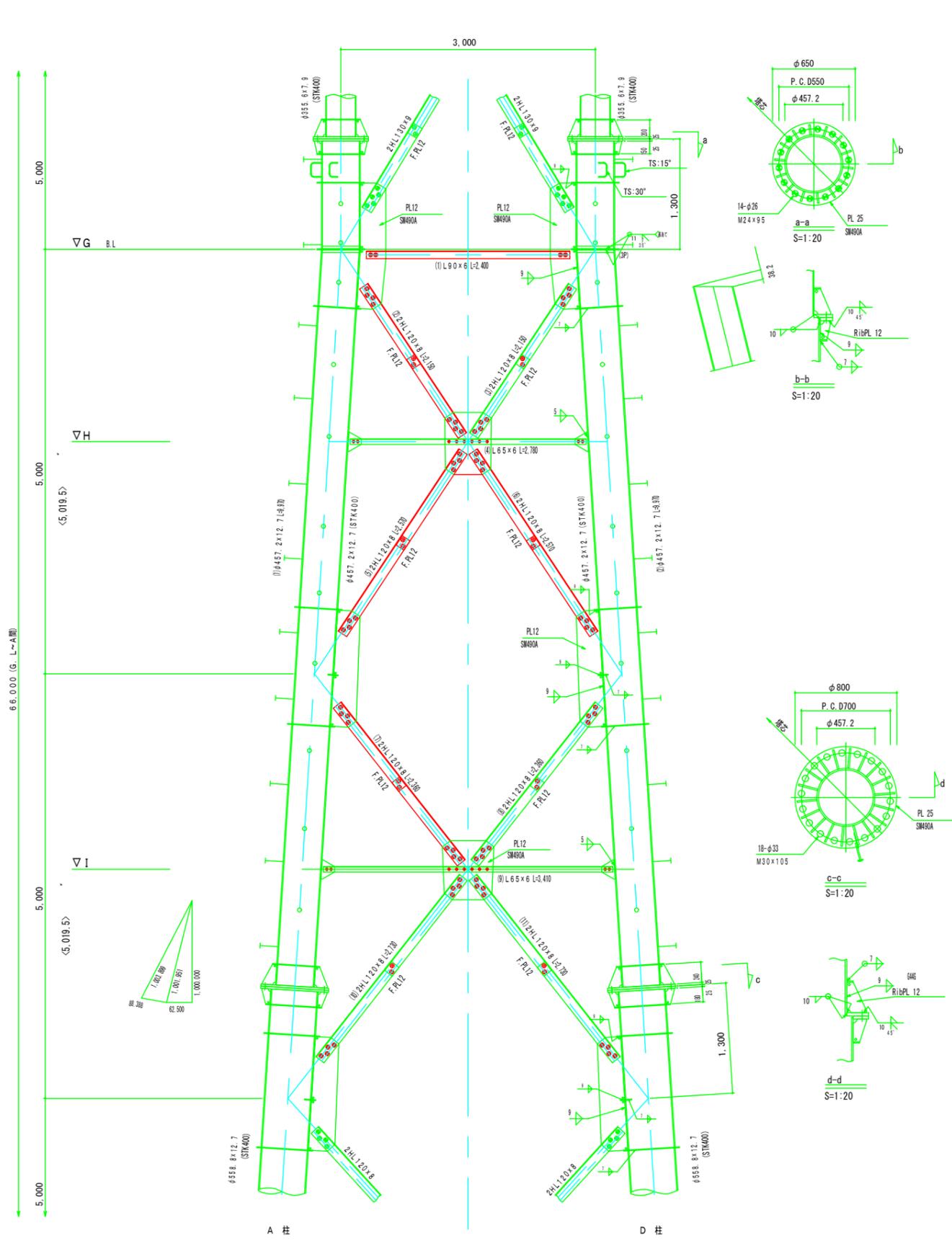
部材：D柱~C柱 [G~I]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L90×6	2.400	1		M20高力	4	4
2	2HL120×8	2.150	1	1	M24	2	2
					M24高力	8	8
2	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
3	2HL120×8	2.150	1	1	M24	2	2
					M24高力	8	8
3	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
4	L65×6	2.780	1		M16高力	10	10
5	2HL120×8	2.570	1	1	M24	2	2
					M24高力	8	8
5	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
6	2HL120×8	2.570	1	1	M24	2	2
					M24高力	8	8
6	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
7	2HL120×8	2.360	1	1	M24	2	2
					M24高力	8	8
7	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
8	2HL120×8	2.360	1	1	M24	2	2
					M24高力	8	8
8	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
9	L65×6	3.410	1		M16高力	10	10
10	2HL120×8	2.730	1		M24	2	2
					M24高力	8	8
11	2HL120×8	2.730	1		M24	2	2
					M24高力	8	8

- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 皿ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW 付 (SS490)
 - ⊙ M24 ボルト JIS NT, SW 付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - ⊙ M24 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (20) D柱/C柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換		図面番号	T-28
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



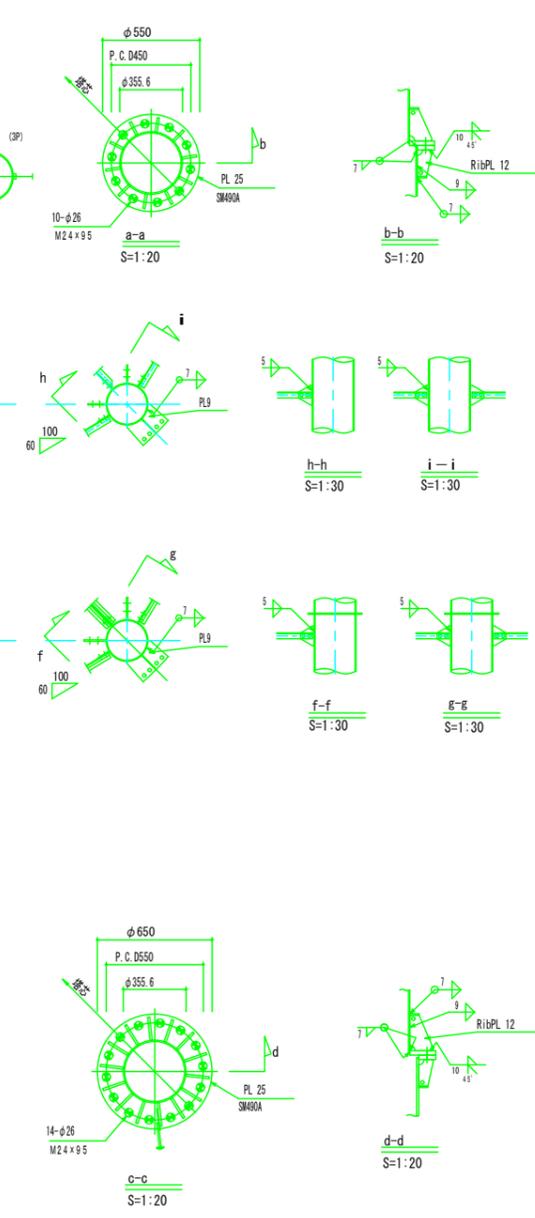
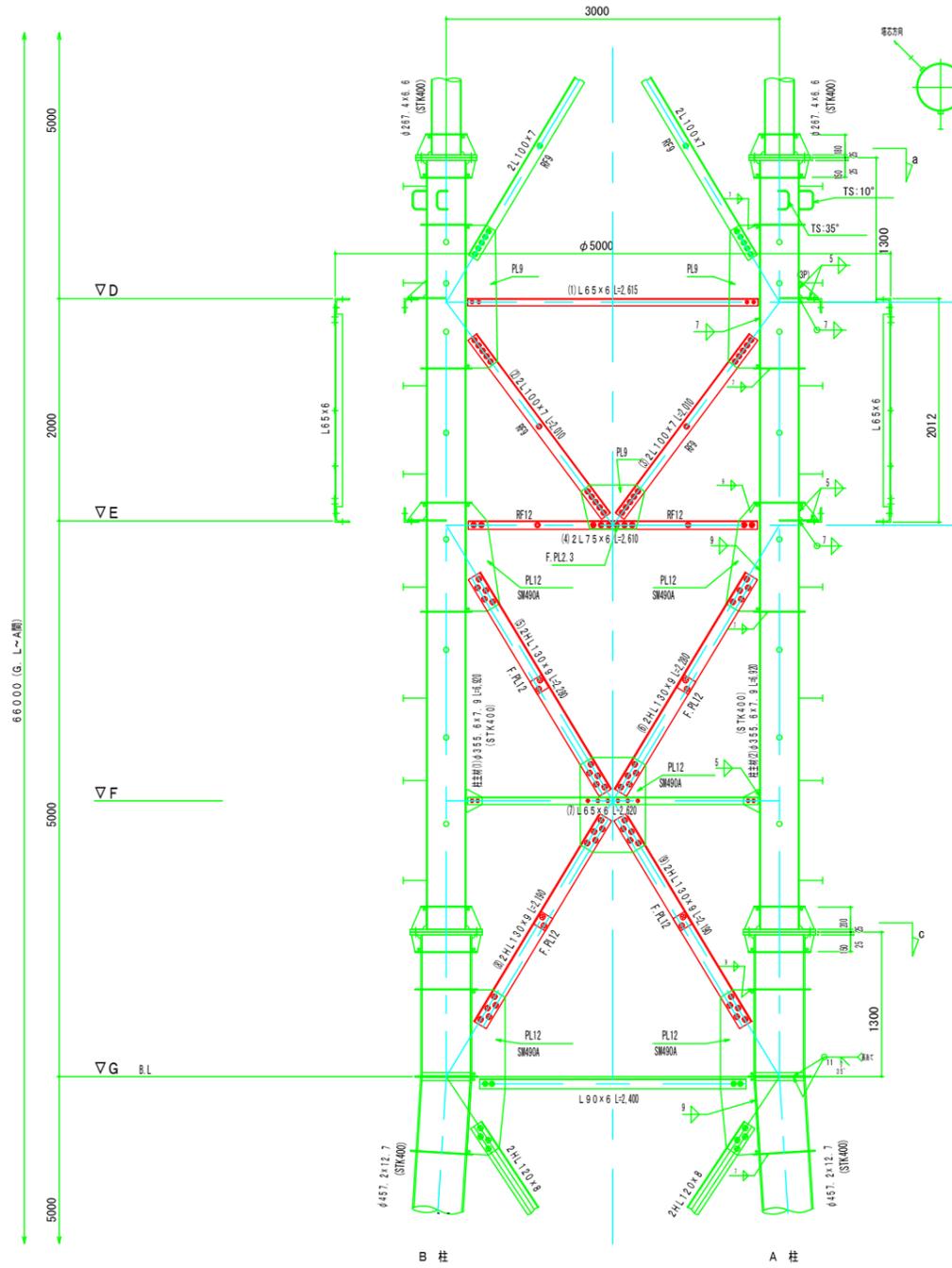
- 注記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼とする。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充てんとする。

- ボルト記号
- × M12 鋼ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW 付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW 付 (SS490)
 - ⊙ M24 ボルト JIS NT, SW 付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - ⊙ M20 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - ⊙ M24 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW 付 (F&T)

部材：A柱～D柱 [G～I] 注：A柱は別紙設計上済

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L90×6	2,400	1	1	M20高力	4	4
2	2HL120×8	2,150	1	1	M24高力	8	8
2	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
3	2HL120×8	2,150	1		M24高力	2	2
4	L65×6	2,780	1		M16高力	10	10
5	2HL120×8	2,570	1	1	M24高力	2	2
5	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
6	2HL120×8	2,570	1	1	M24高力	2	2
6	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
7	2HL120×8	2,360	1	1	M24高力	2	2
7	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
8	2HL120×8	2,360	1		M24高力	2	2
9	L65×6	3,410	1		M16高力	10	10
10	2HL120×8	2,730	1		M24高力	2	2
11	2HL120×8	2,730	1		M24高力	2	2

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (21) A柱/D柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20, 30
摘要		図面番号	T-29
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	



柱主材：B柱 [C・D~F・G]

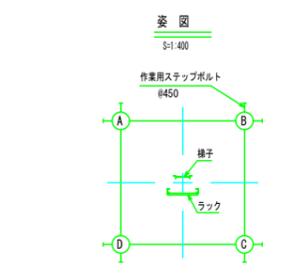
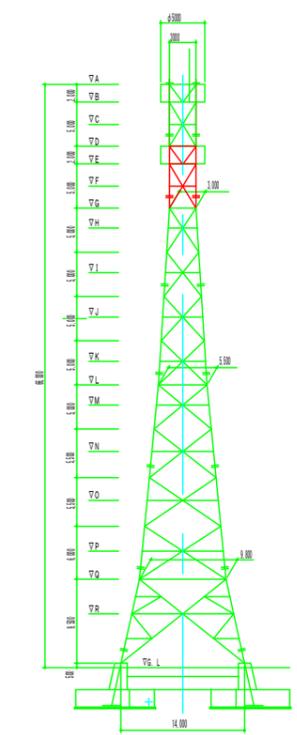
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	12	撤去
柱 (1)	1	φ355.6×7.9	6.920	1		W24高力	M24×95	14

柱主材：A柱 [C・D~F・G]

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (2)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	12	撤去
柱 (2)	1	φ355.6×7.9	6.920	1		W24高力	M24×95	14

斜材：B柱~A柱 [D~G]

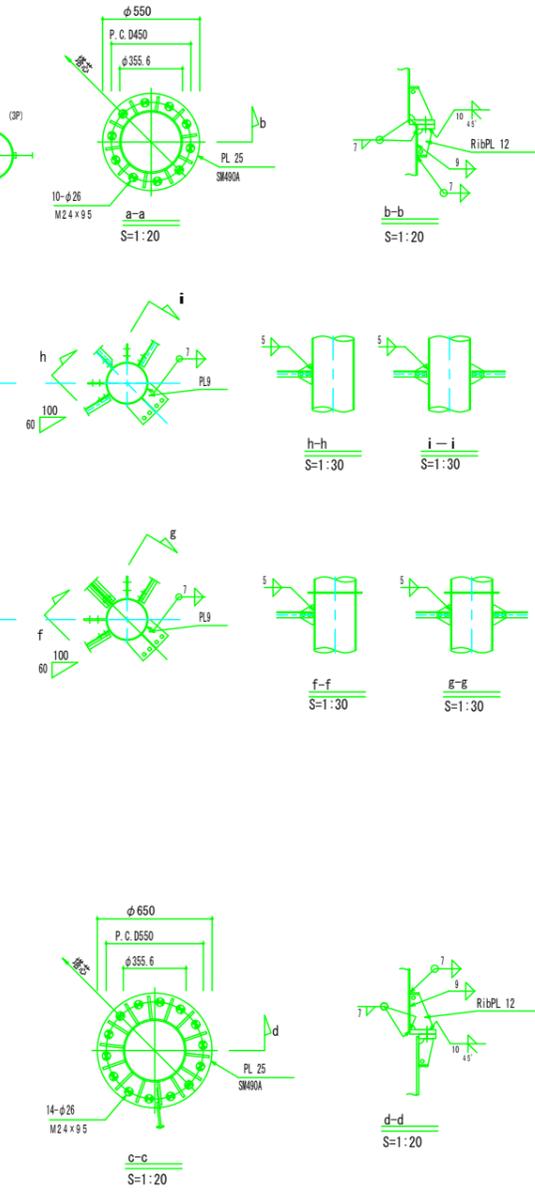
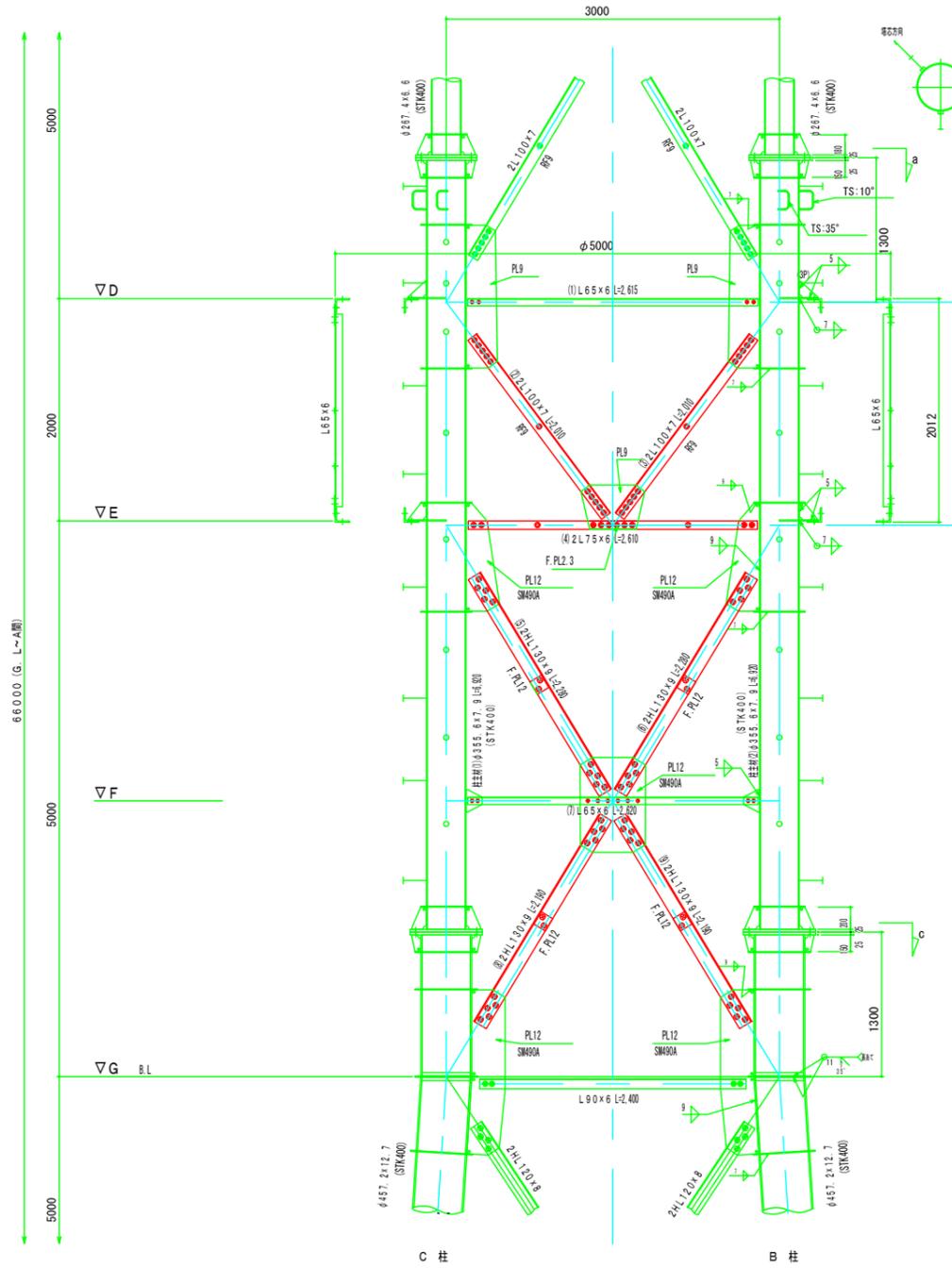
No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L65×6	2.615	1	1	W16高力	4	4
2	ZL100×7	2.010	1	1	W20 RF9	1	1
3	ZL100×7	2.010	1	1	W20 RF9	1	1
4	ZL120×8	2.610	1	1	W20高力	10	10
5	ZL130×9	2.280	1	1	W20高力	2	2
6	ZL130×9	2.280	1	1	W20高力	2	2
7	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
8	ZL130×9	2.190	1	1	W24	2	2
9	ZL130×9	2.190	1	1	W24高力	10	10
9	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			
9	ZL130×9	2.190	1	1	W24	2	2
9	PL12×110×130	0.014(m)	1	1			



- 注 記
- 1) 指示無きアングルは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 高力ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防災行政無線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (22) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20, 30
備 考		図面番号	T-30
検 印	管理建築士 設 計 製 図	施 工 者	

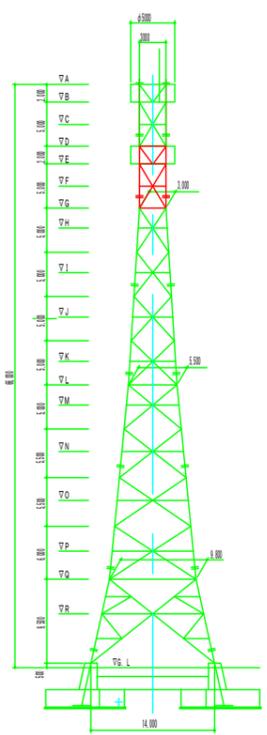


柱主材：C柱 [C・D~F・G] 注B柱は別紙計上済

No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	12	撤去
柱 (1)	1	φ355.6×7.9	6.920	1		M24高力 M24×95	14	

斜材：C柱~B柱 [D~G]

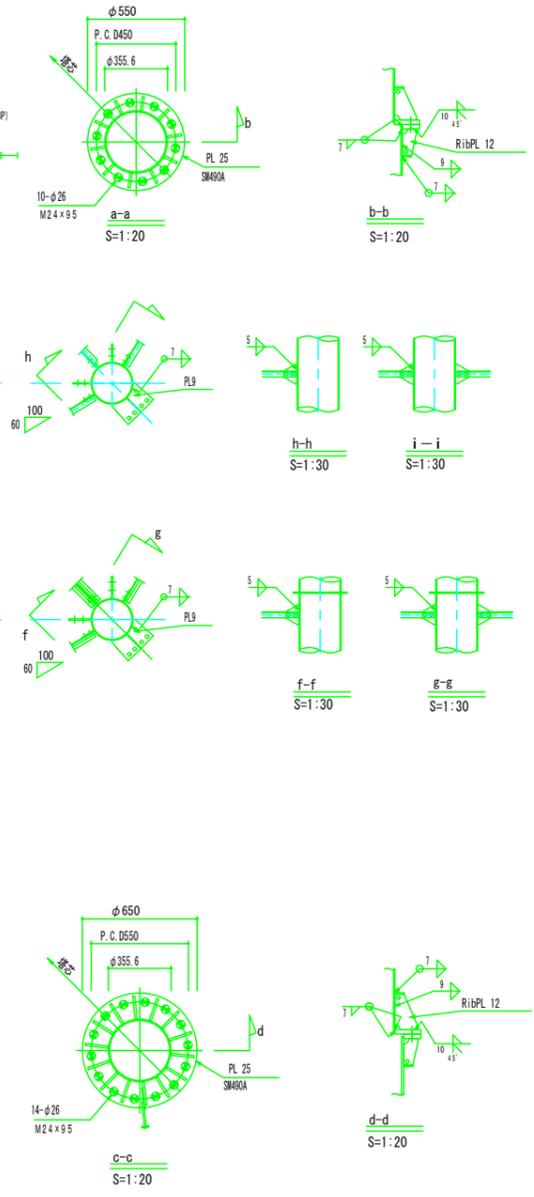
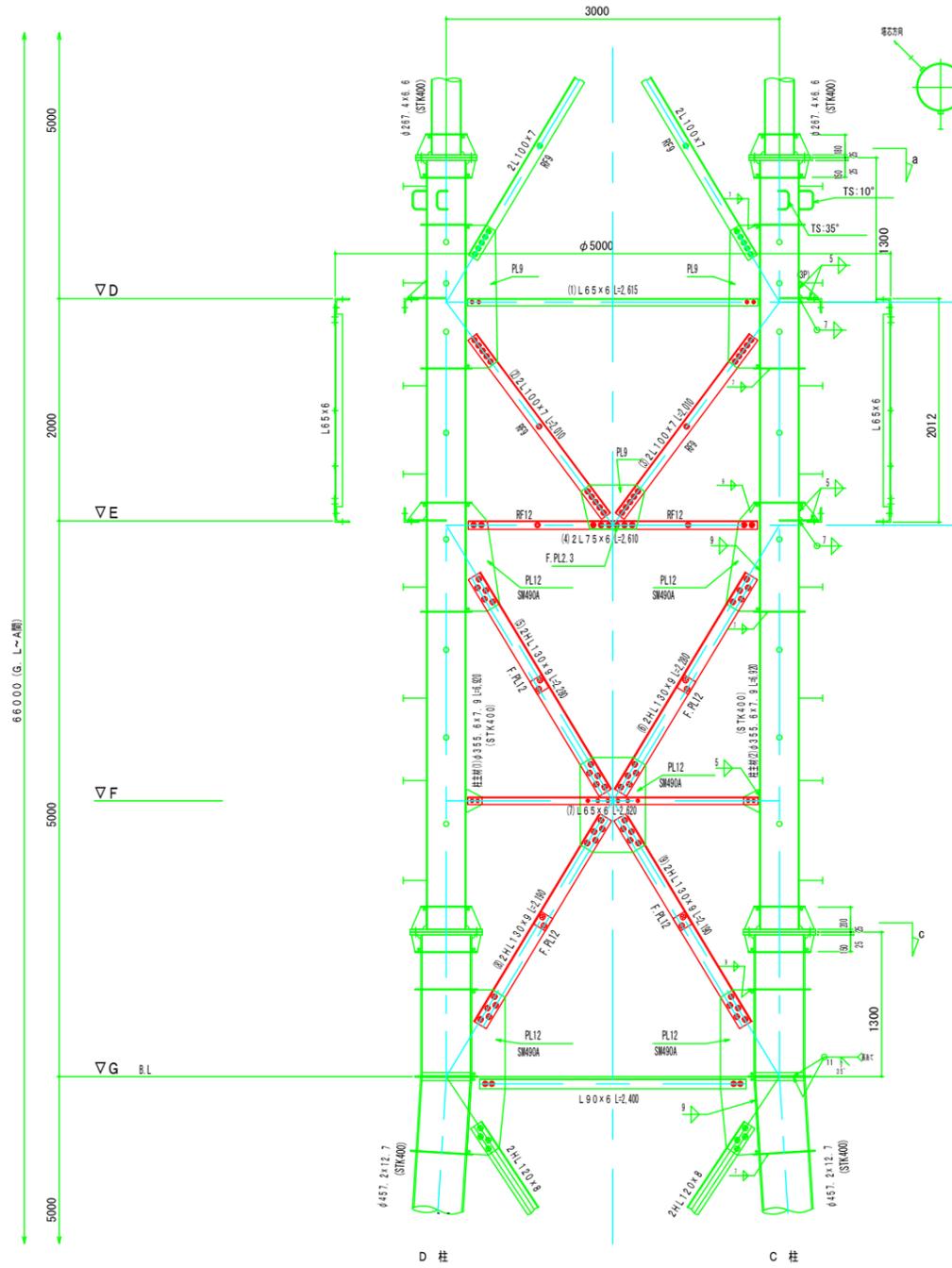
No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L65×6	2.615	1		M16高力	4	4
2	ZL100×7	2.010	1	1	M20 RF9	1	1
3	ZL100×7	2.010	1	1	M20 RF9	1	1
4	ZL100×7	2.010	1	1	M20 RF9	1	1
5	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
6	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
7	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
8	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
9	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
10	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
11	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
12	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
13	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
14	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
15	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
16	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
17	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
18	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
19	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
20	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
21	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
22	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
23	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
24	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
25	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
26	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
27	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
28	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
29	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
30	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
31	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
32	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
33	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
34	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
35	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
36	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
37	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
38	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
39	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
40	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
41	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
42	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
43	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
44	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
45	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
46	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
47	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
48	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
49	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
50	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
51	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
52	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
53	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
54	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
55	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
56	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
57	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
58	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
59	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
60	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
61	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
62	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
63	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
64	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
65	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
66	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
67	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
68	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
69	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
70	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
71	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
72	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
73	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
74	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
75	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
76	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
77	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
78	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
79	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
80	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
81	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
82	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
83	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
84	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
85	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
86	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
87	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
88	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
89	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
90	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
91	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
92	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
93	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
94	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
95	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
96	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
97	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
98	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
99	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10
100	ZL100×7	2.010	1	1	M20高力	10	10



- 注記
- 1) 指示無きアングロは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼とする。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 高力ボルト JIS NT, SWF (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SWF (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SWF (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SWF (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SWF (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (23) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/20,30
換要		図面番号	T-31
検印	管理建築士 設計 製図	施工者	

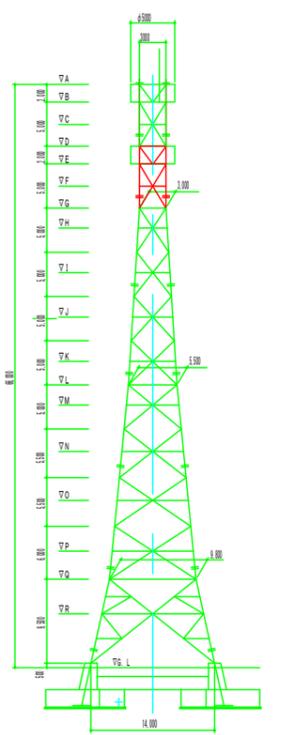


柱主材：D柱 [C・D~F・G] 注：C柱は別紙計上済

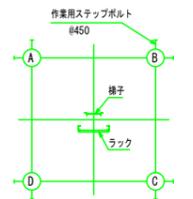
No.	位置	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
柱 (1)	1	作業用ステップボルト			撤去	M16×180	12	撤去
柱 (1)	1	φ355.6×7.9	6,920	1		M24高力 M24×95	14	

斜材：D柱~C柱 [D~G]

No.	部材	長さ	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	L65×6	2,615	1		M16高力	4	4
2	ZL100×7	2,010	1	1	M20 RF9	1	1
3	ZL100×7	2,010	1	1	M20高力 RF9	10	10
4	ZL75×6	2,610	1	1	M20 RF12	2	2
5	ZHL130×9	2,280	1	1	M24高力 M24	2	2
6	ZHL130×9	2,280	1	1	M24高力 M24	10	10
7	L65×6	2,620	1	1	M16高力	10	10
8	ZHL130×9	2,190	1	1	M24 M24高力	2	2
8	PL12×110×130	0.014(m)	1	1		10	10
9	ZHL130×9	2,190	1	1	M24 M24高力	2	2
9	PL12×110×130	0.014(m)	1	1		10	10



透 図
S=1:400



- 注 記
- 1) 指示無きアングロは、L50×6 とする。
 - 2) 指示無きプレートは、PL 6 とする。
 - 3) 指示無き部材のゲージは、ゲージ表による。
 - 4) 指示無き部材の材質は、SS400 とする。
 - 5) HL材は、SS540 の山形鋼を示す。
 - 6) ハッチング部分は、コンクリート充填とする。

- ボルト記号
- × M12 高力ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS NT, SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS NT, SW付 (SS490)
 - M16 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ◎ M20 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - ⊗ M24 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)
 - M30 高力ボルト NT, 2PW付 (F8T)

工事名称	防災行政無線線用 多良間中継局鉄塔等改修工事	工事年度	
工事場所	多良間村	図面名称	鉄塔構造図 (24) D柱/C柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20,30
備 考		図面番号	T-32
検 印	管理建築士 設 計 製 図	施 工 者	